
栗東市
男女共同参画社会づくりに関する市民アンケート調査
結果報告書

令和2年3月

栗東市

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の概要	1
3.	調査内容	1
4.	回収結果	2
5.	報告書の見方	2
II	回答者の属性	3
問1	性別	3
問2	年齢	3
問3	居住地域（小学校区別）	4
問4	職業	4
問5	家族構成	5
III	調査結果の概要	6
1.	家庭での役割分担について	6
2.	男女共同参画に関する考え方について	7
3.	防災など、地域活動について	8
4.	仕事と生活について	9
5.	男女間の迷惑行為について	10
6.	男女共同参画社会について	11
IV	調査結果	12
1.	家庭での役割分担について	12
2.	男女共同参画に関する考え方について	38
3.	防災など、地域活動について	55
4.	仕事と生活について	61
5.	男女間の迷惑行為について	74
6.	男女共同参画社会について	83
7.	自由回答	100

I 調査の概要

1. 調査の目的

「栗東市まちづくり女（ひと）と男（ひと）の共同参画プラン（第6版）」の策定にあたり、本市における男女共同参画に関する市民の意識や実態を把握し、今後の方針や施策の参考とすることを目的に、実施しました。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域／栗東市内全域
- (2) 調査対象／市内在住の20歳以上の方、2,000名
- (3) 抽出方法／住民基本台帳及び外国人登録原票から無作為抽出
- (4) 調査方法／調査票による郵送調査・郵送回収
- (5) 調査期間／令和元年12月11日（水）から12月25日（水）まで

3. 調査内容

調査項目	質問項目
回答者の属性について	問1 性別
	問2 年齢
	問3 居住地区（小学校区別）
	問4 職業
	問5 家族構成
家庭での役割分担について	問6 家事にかかる時間
	問7 子育てにかかる時間
	問8 家族の介護にかかる時間
	問9 男性が家事、育児、介護、地域活動などに参加するために必要なこと
	問10 家庭の仕事の役割について、理想と現状
男女共同参画に関する考え方について	問11 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について
	問12 性別による子どもの育て方について
	問13 各分野における男女の平等感
	問14 結婚についての考え方
	問15 L G B Tの認知度
	問16 L G B Tなどの人が住みやすい社会にするために必要なこと
防災など、地域活動について	問17 地域社会の方針決定の場で女性が活躍するために重要なこと
	問18 防災について話し合い、決定する場での女性の参加状況
	問19 災害の備えで重要なこと
	問20 避難所運営における男女の役割

調査項目	質問項目
仕事と生活について	問21 女性が仕事をもつことについての考え
	問22 女性が仕事を続けるために必要なこと
	問23 仕事も生活も大切にしながら栗東市に住み続けるために必要なこと
	問24 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、希望と現実
	問25 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現できているか
	問26 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に必要なこと
男女間の迷惑行為について	問27 セクハラ、DV、ストーカーの被害体験の有無
	問28 セクハラ、DV、ストーカー行為の有無
	問29 誰かに相談したか
	問30 相談しなかった（できなかった）理由
	問31 男女間の迷惑行為をなくすために必要なこと
男女共同参画社会について	問32 関連法などの認知度
	問33 関連事業への参加経験
	問34 関連学習の経験
	問35 市の男女共同参画の進展に対する評価
	問36 市が注力すべきこと

4. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
全体	2,000	582	29.1%
男性	1,000	246	24.6%
女性	1,000	324	32.4%
その他	-	3	-
不明・無回答	-	9	-

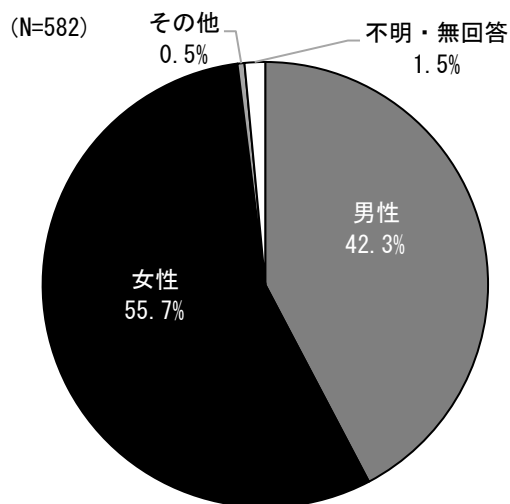
5. 報告書の見方

- (1) 図表上の「N」は、設問に対する回答者数（number of case）のことをさします。
- (2) 回答比率（%）は回答者数（N）を 100%として算出しています。小数点以下第2位を四捨五入しているため、回答比率（%）の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (3) 「SA」は単数回答形式（選択肢の中からあてはまるものを 1 つだけ選択する形式）の設問を、「MA」は複数回答形式の設問（回答選択肢の中から「あてはまるものをすべて」や「あてはまるもの3つまで」を選択する形式）をさします。複数の回答を求める設問では、回答比率（%）の合計は 100.0%を超えます。
- (4) グラフ中の選択肢の表記については、実際の選択肢を簡略化している場合があります。

Ⅱ 回答者の属性

問1 性別。(SA)

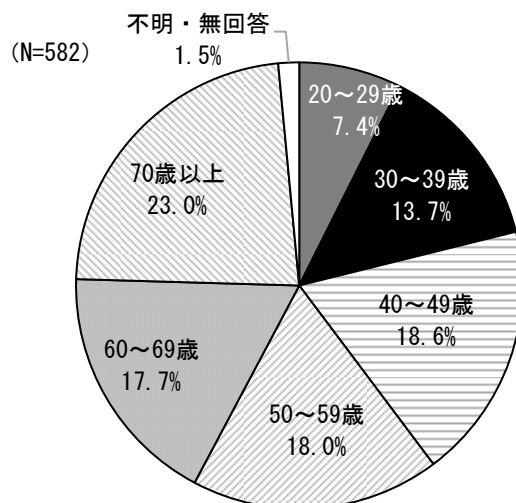
「女性」が55.7%、「男性」が42.3%、「3（その他）」が0.5%となっています。



※LGBTの人などに配慮して、選択肢に「1 男性」「2 女性」に加え、「3」を設けています。

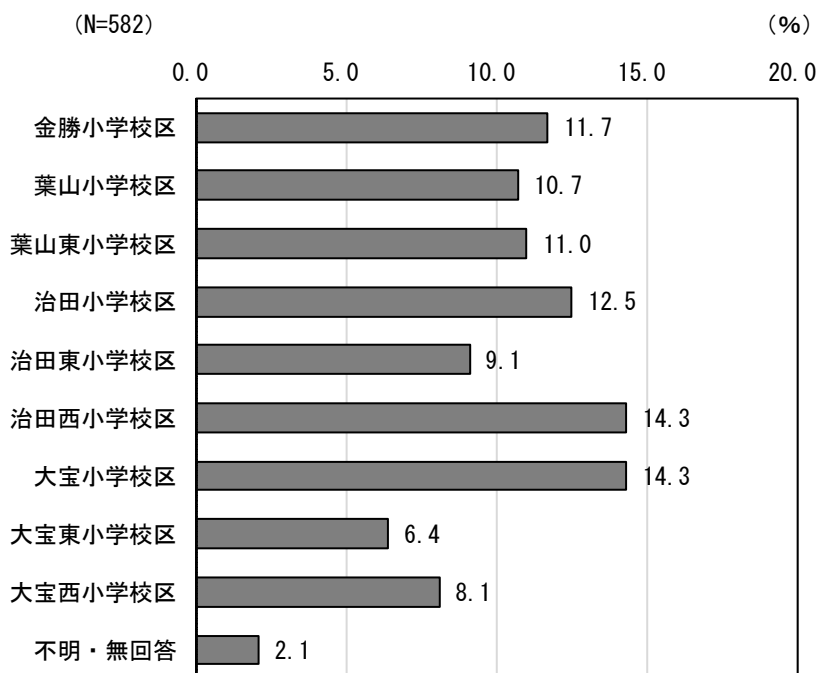
問2 年齢。(SA)

「70歳以上」が23.0%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.6%、「50～59歳」が18.0%となっています。



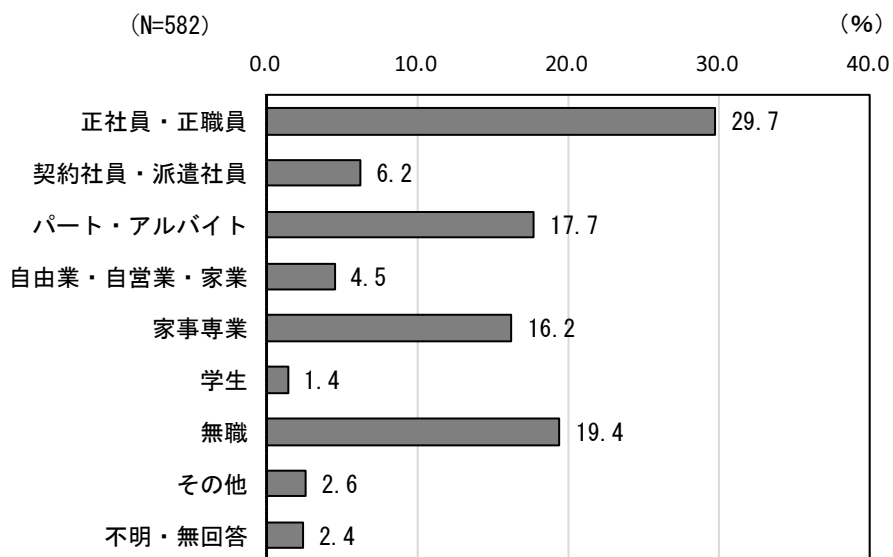
問3 居住地域（小学校区別）。（SA）

「治田西」と「大宝」が14.3%と最も多く、次いで「治田」が12.5%、「金勝」が11.7%となっています。



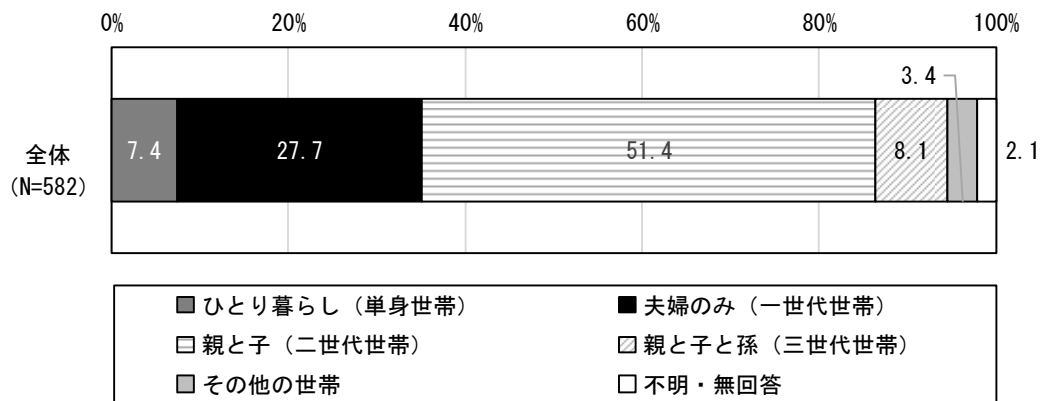
問4 職業。（SA）

「正社員・正職員」が29.7%と最も多く、次いで「無職」が19.4%、「パート・アルバイト」が17.7%となっています。



問5 家族構成。(SA)

「親と子(二世帯世帯)」が51.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ(一世帯世帯)」が27.7%、「親と子と孫(三世帯世帯)」が8.1%となっています。



Ⅲ 調査結果の概要

1. 家庭での役割分担について

※設問や選択肢の表記については、一部省略・簡略化している場合があります。

	報告書掲載頁
<p>●家事・子育て・家族の介護にかかる時間に、男女間で大きな開きがある</p> <p>男性では、本人が家事にかかる時間は「1時間未満」が52.8%なのに対し、パートナー（配偶者等）が家事にかかる時間は「3～4時間未満」が17.9%、「2～3時間未満」が17.5%などと、男女間で大きな開きがあります。</p> <p>これと同様に子育てや家族の介護にかかる時間でも、女性に負担が偏っている様子がうかがえます。</p>	12
<p>●男性が家事、育児などに参加するために必要な条件については、男女とも同傾向</p> <p>「男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくために必要なこと」については、男女とも「労働時間の短縮や休暇を取りやすくする」や「男性の仕事中心の生き方や考え方を变える」「夫婦や家族間のコミュニケーションを図る」などの回答が多くなっており、男女間の大きな差異はみられません。</p> <p>また、男女とも「男性自身が家事などをすることに抵抗感をなくす」も比較的、回答が多くなっています。</p>	15
<p>●家庭の仕事の役割について、理想と現状に大きな開きがある</p> <p>家庭の仕事（全10項目）の役割分担について、理想では男女とも「両方同じ程度の役割」という回答が多くみられますが、現状では「①生活費をかせぐ」で男性に、その他の項目では女性に負担が偏っている様子がうかがえます。</p> <p>ただし「⑩地域活動」においては、現状でも「両方同じ程度の役割」という回答が多くなっています。</p> <p>また、理想に注目すると70歳以上の男性で、「①生活費をかせぐ」は男性の役割、「②日々の家計の管理」「③食事のしたく」「④食事の後かたづけ」「⑤掃除、洗濯」「⑥日常の買い物」は女性の役割と考える人が、他の年代に比べて多い傾向となっています。</p>	17

2. 男女共同参画に関する考え方について

	報告書掲載頁
<p>●「男性は仕事、女性は家庭」という考え方への共感度に、男女間で格差が</p> <p>「男性は仕事、女性は家庭」という考え方に対し、男性では肯定的意見（「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計）が41.8%、否定的意見（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）が43.9%、女性では肯定的意見が31.2%、否定的意見が58.6%と、男性では肯定・否定が拮抗しています。</p> <p>また、男女ともに、70歳以上で肯定的意見が5割を超えています。</p>	38
<p>●「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という子育て感への共感度に、男女間で格差が</p> <p>「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という子どもの育て方に対し、男性では肯定的意見が52.0%、否定的意見が32.9%、女性では肯定的意見が38.9%、否定的意見が47.6%と、男女で肯定・否定が逆転しています。</p> <p>また、男性では60歳代以上、女性では70歳以上で肯定的意見が5割を超えています。</p>	41
<p>●各分野での男女の平等感について、最も平等感が高いのは「学校教育の場」。不平等感が特に強いのは「政治の場」</p> <p>さまざまな分野（全8分野）における男女の平等感について、最も平等感が高かったのは「③学校教育の場で」、「平等である」と回答したのは男性で51.6%、女性で46.3%と、男女とも5割近くとなっています。</p> <p>その一方、「②職場の中で」「⑤政治の場で」「⑦社会通念・慣習・しきたりのうえで」「社会全体でみて」では、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた割合が全体（男女合計）で5割を超えており、中でも「⑤政治の場で」では71.1%と7割を超えています。</p>	43
<p>●「結婚は個人の自由」「必ずしも子どもをもつ必要はない」「結婚したら家族を優先に」などに、肯定的意見が半数を超える</p> <p>結婚について、さまざまな項目（全6項目）における賛否について、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもよい」「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」の4項目で、肯定的意見（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）が5割を超えています。</p> <p>特に①は肯定的意見が68.4%、③は69.8%と、7割近くとなっています。</p> <p>また、①と②において、男性より女性の方が「賛成」の割合が高くなっています。</p>	49

<p>●男性では特に、収入の多寡が結婚に影響を与えている模様</p> <p>結婚と経済力の関係について、「収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚に慎重になるべき」という考え方に対して肯定的意見は33.8%、否定的意見は39.9%となっています。一方、「収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚に慎重になるべき」という考え方に対して肯定的意見は20.3%、否定的意見は51.7%となっています。</p> <p>問11の男女の家庭での役割についての設問(P17)で、生活費を稼ぐのは男性の役割と考える人(「主として男性の役割」と「どちらかといえば男性の役割」の合計)が6割近いことと合わせて考えると、収入の多寡が男性の結婚に影響を与えている様子がうかがえます。</p>	<p>報告書掲載頁 49</p>
<p>●LGBTの認知度は高め。高齢者では低下の傾向も</p> <p>LGBTについて、「ことばも意味も知っている」と回答した人が男女とも6割を超えています。ただし男女とも、60歳以上では認知度が低くなり、特に70歳以上では「ことばも意味も知っている」が男女とも3割台となっています。</p>	<p>53</p>

3. 防災など、地域活動について

<p>●地域で防災について話し合う時、参加者は男性に偏重</p> <p>地域や自主防災組織などで防災について話し合い、決定する時の参加者の状況について、「女性と男性の参加者がほぼ同数」と「参加者の半数以上が男性」がともに約2割となっています。一方、「参加者の半数以上が女性」は約1割、「参加者全員が女性」は1%未満と、参加者が男性に偏っている様子がうかがえます。</p>	<p>報告書掲載頁 56</p>
<p>●災害の備えで重要だと考えることは、男女とも同傾向</p> <p>防災の備えで特に重要だと思うこととしては、男女とも「人々の不安について市民の声を聞き、防災対策に反映させる」「防災訓練や避難訓練は性別により役割を固定しない」「地域で災害について話し合う時、多様な人が参加する」に回答が集中しています。(男女で順位は入れ替わる)</p> <p>市の防災担当部署や防災会議の委員、消防団や自主防災組織への女性の登用については、比較的、回答が少なくなっています。</p>	<p>57</p>

<p>●災害時の避難所運営について、一部でうかがえる男女の役割分担意識</p> <p>災害時の避難所運営について、全5項目のうちほとんどの項目で、男女とも「性別で区別しない方がよい」が8割前後となっています。ただし「①避難所全体の運営に関する決定」では「主として男性がする方がよい」が男性で14.6%、女性で18.5%と他の項目より高く、「重要事項を決定するのは男性」という考えが男女に関わらず根強い様子が見られます。</p> <p>また、「④炊き出し」については、男女とも「主として女性がする方がよい」が2割を超えています。</p>	<p>報告書掲載頁 59</p>
---	----------------------

4. 仕事と生活について

<p>●「女性は家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつ方がよい」が男女とも約4割。女性の50歳代では「ずっと続けた方がよい」が5割超</p> <p>女性が仕事をもつことについて、「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつ方がよい」という回答が男女とも約4割となっています。</p> <p>ただし女性の20歳代では「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつ方がよい」が50.0%と他の年代より多く、女性の50歳代では「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けた方がよい」が52.5%と、他の年代と比べて突出して多くなっています。</p>	<p>報告書掲載頁 61</p>
<p>●女性が働き続けるためには男性の働き方改革が必要との意見も</p> <p>女性が仕事を続けていくために必要な条件としては、男女とも「家族や周囲の理解と協力があること」が最も多くなっています。</p> <p>ただし男性の20歳代では「育児休業や介護休業を取りやすくすること」が約6割、男性の30歳代では「育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること」が約7割で最も多くなっており、女性の就業継続に男性の忙しさが影響している様子が見られます。</p>	<p>64</p>
<p>●仕事と生活の調和について、希望と現実、男性と女性の間で乖離が</p> <p>仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度について、希望では男性で「仕事と家庭生活をともに優先したい」が、女性で「仕事と家庭生活と地域・個人の生活をともに優先したい」がともに2割を超えて最も多くなっています。</p> <p>一方、現実では、男性で「仕事を優先している」が35.0%、女性で「家庭生活を優先している」が26.5%と最も多くなっており、希望と現実、男性と女性との間に乖離が見られます。</p>	<p>68</p>

<p>●ワーク・ライフ・バランスは「ある程度できている」が多数派。一部例外も 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）については、男女とも「ある程度できている」が最も多くなっています。ただし、男性の40歳代では「実現できている部分が少ない」が37.2%と最も多くなっています。</p> <p>また、女性の20歳代、30歳代、60歳代では「実現できていない」が男性より多くなっています。</p>	<p>報告書掲載頁 71</p>
<p>●ワーク・ライフ・バランス推進に必要なのは、制度の充実と職場の雰囲気づくり ワーク・ライフ・バランス推進の条件としては、男女とも制度の充実や、職場の雰囲気づくりなどを望む声が多くなっています。</p>	<p>72</p>

5. 男女間の迷惑行為について

<p>●男女とも存在するセクハラ、DV、ストーカーの被害者 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）、ドメスティック・バイオレンス（DV）、ストーカーについて、「被害の経験がある」が男女とも1割未満ですが、存在します。また、「身近に経験した人がいる」は男女ともにセクハラとDVで約2割、ストーカーで約1割存在しています。</p> <p>男性の被害者もいることから、女性だけでなく、被害男性のための支援策も重要だと考えられます。</p>	<p>報告書掲載頁 74</p>
<p>●セクハラ等を「行ったことがある」はゼロ。「なにが該当するか不明」の声も セクハラ、DV、ストーカーについて、男女とも「行ったことがある」と回答した人はいませんでした。ただし、セクハラとDVについては、「そう受け取られかねない行為があった」という回答が1割未満でしたがありました。</p> <p>また、セクハラ、DV、ストーカーいずれについても「なにが該当するのかわからない」との回答があったことから、いっそうの啓発が重要だと考えられます。</p>	<p>76</p>
<p>●セクハラ等の被害に遭った時、誰にも相談しない（できない）男性が多数に セクハラ等の被害に遭った時、「どこ（誰）にも相談しなかった」と回答した人が男性で54.5%、女性で23.6%と男女間で大きな格差がみられます。男性では誰にも相談しない（できない）人が多数にのぼる様子がうかがえます。</p> <p>相談した人のうち、相談先としては男女とも「家族や親せき」「友人、知人」が多くなっていますが、男性では「専門家や専門機関」「医療関係者」「警察」に相談した人が女性に比べて多くなっています。</p>	<p>78</p>

6. 男女共同参画社会について

<p>●関連法や取組みに対する認知度は低い状況</p> <p>①男女共同参画社会基本法、②男女雇用機会均等法、③女性活躍推進法、④配偶者暴力防止法（DV防止法）、⑤栗東市男女共同参画都市宣言、⑥栗東市まちづくり女（ひと）と男（ひと）の共同参画プラン、⑦SDGsの7項目について、「内容を知っている」という回答が最も多かったのは、②の47.3%となっています。④が31.8%でそれに続いています。</p> <p>栗東市の取組みである⑤と⑥、国際的な取組みである⑦については、「内容を知っている」がいずれも1割未満となっています。</p>	<p>報告書掲載頁</p> <p>83</p>
<p>●参加者が少ない男女共同参画関連事業</p> <p>①きらめきRitto、②市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会、③地域で実施しているセミナーや講演会、の3つの事業について、「参加している」と回答したのは①で2.6%、②で6.7%、③で10.3%と、いずれも少数にとどまっています。</p> <p>いずれの事業も男女とも「知らない」と回答した人が最も多く、いっそうの啓発や事業内容の工夫が重要であると考えられます。</p>	<p>89</p>
<p>●男女共同参画社会実現のために市が最も注力すべきは、ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <p>男女共同参画社会の実現のために栗東市が注力すべきこととしては、男女とも「男女がともに働きやすい労働環境をつくること」が最も多く、「仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める」、「学校における教育・学習を推進する」がそれに続いています。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの推進に向けたいっそうの取組みが重要であると考えられます。</p>	<p>98</p>

IV 調査結果

1. 家庭での役割分担について

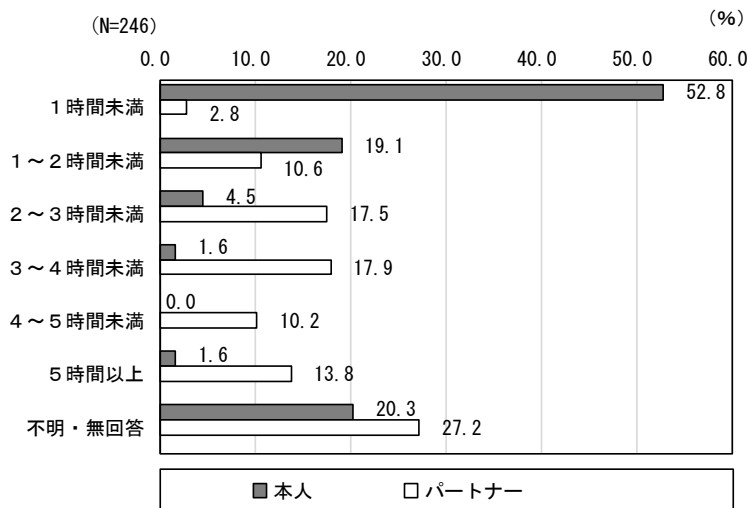
■パートナー（配偶者等）がおられる方への質問。

問6 あなたとパートナー（配偶者等）がそれぞれ家事にかかる時間（1日平均時間）。（SA）

【男性】

本人では、「1時間未満」が52.8%と半数を超えて最も多く、次いで「1～2時間未満」が19.1%、「2～3時間未満」が4.5%となっています。

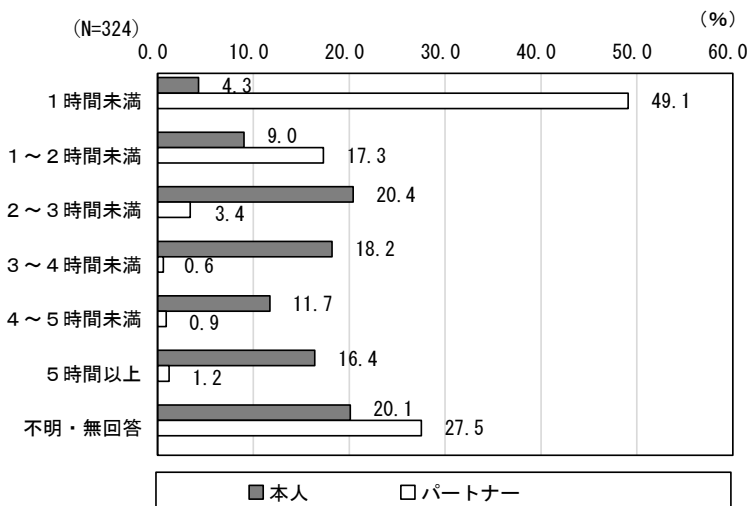
パートナーでは、「3～4時間未満」が17.9%と最も多く、次いで「2～3時間未満」が17.5%、「5時間以上」が13.8%となっています。



【女性】

本人では、「2～3時間未満」が20.4%と最も多く、次いで「3～4時間未満」が18.2%、「5時間以上」が16.4%となっています。

パートナーでは、「1時間未満」が49.1%と最も多く、次いで、「1～2時間未満」が17.3%、「2～3時間未満」が3.4%となっています。



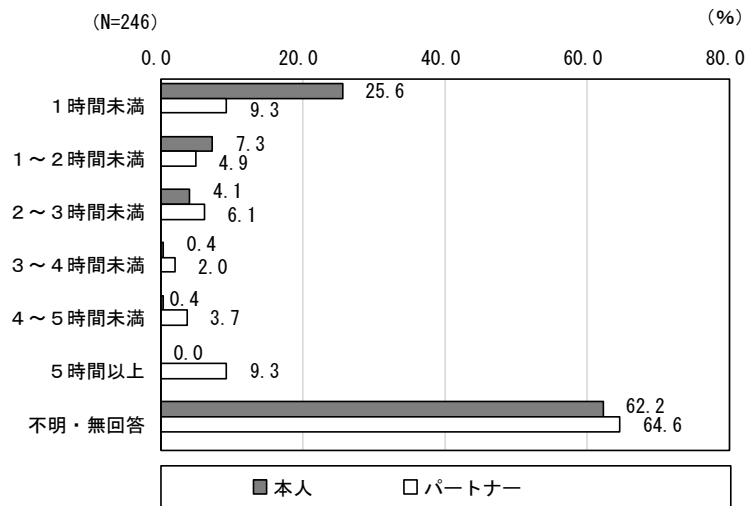
■子育て中で、パートナー（配偶者等）がおられる方への質問。

問7 あなたとパートナー（配偶者等）がそれぞれ子育てにかかる時間（1日平均時間）。（S A）

【男性】

本人では、「1時間未満」が25.6%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が7.3%、「2～3時間未満」が4.1%となっています。

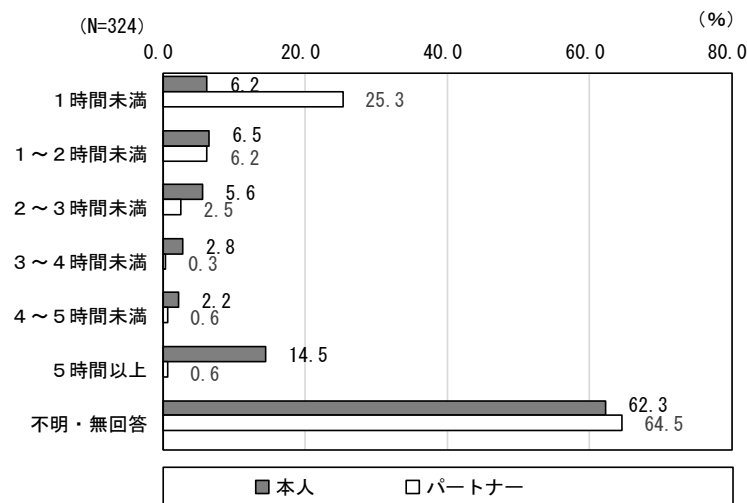
パートナーでは、「1時間未満」と「5時間以上」がともに9.3%と最も多く、次いで、「2～3時間未満」が6.1%となっています。



【女性】

本人では、「5時間以上」が14.5%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が6.5%、「1時間未満」が6.2%となっています。

パートナーでは、「1時間未満」が25.3%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が6.2%、「2～3時間未満」が2.5%となっています。

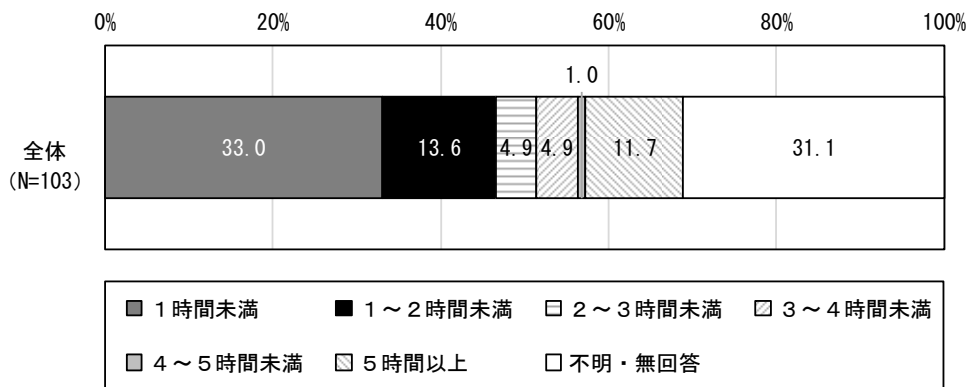


問 8 家族の介護にかかる時間（1日平均時間）。（S A）

※対象の家族は、同居に限らない。

（「介護が必要な家族はいない」という回答を除いて分析）

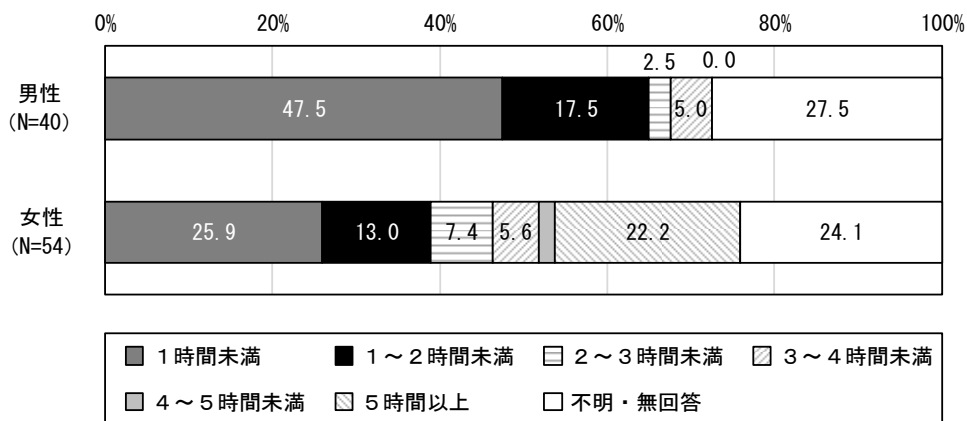
「1時間未満」が33.0%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が13.6%、「5時間以上」が11.7%となっています。



【性別】

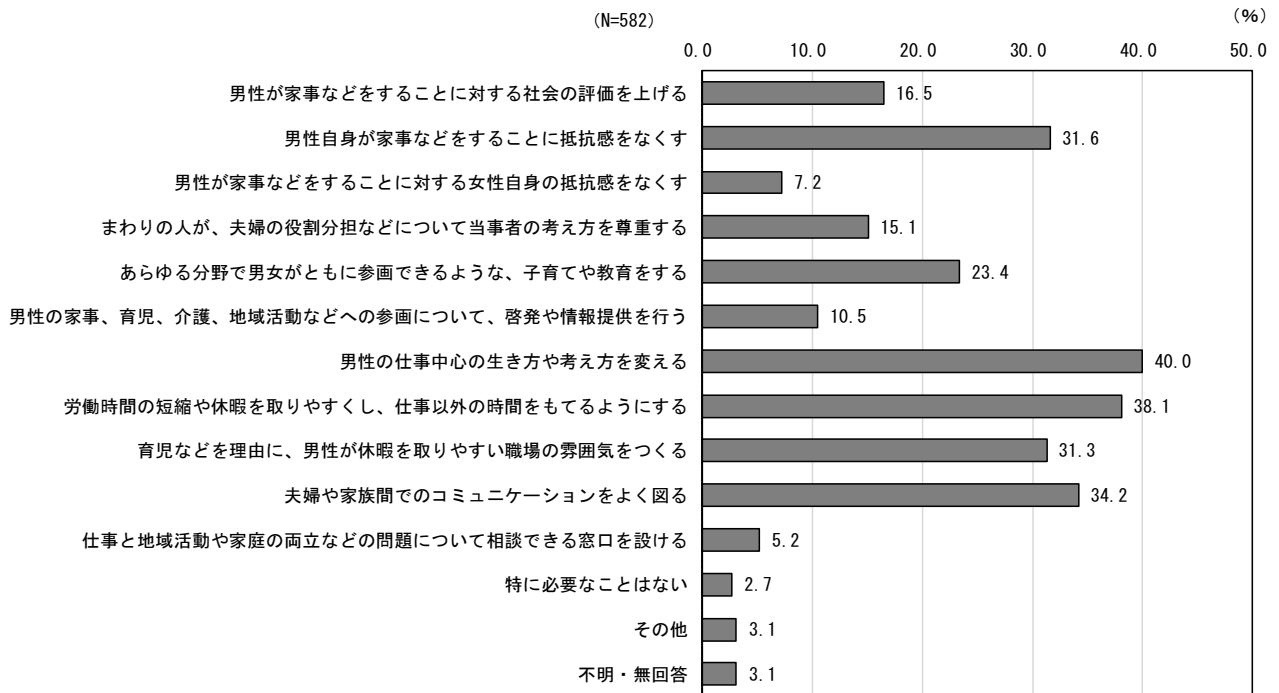
性別で見ると、男性では「1時間未満」が47.5%と最も多く、次いで「1～2時間未満」が17.5%、「3～4時間未満」が5.0%となっています。

女性では「1時間未満」が25.9%と最も多く、次いで「5時間以上」が22.2%、「1～2時間未満」が13.0%となっています。



問9 男性が家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくために必要なこと。(MA)

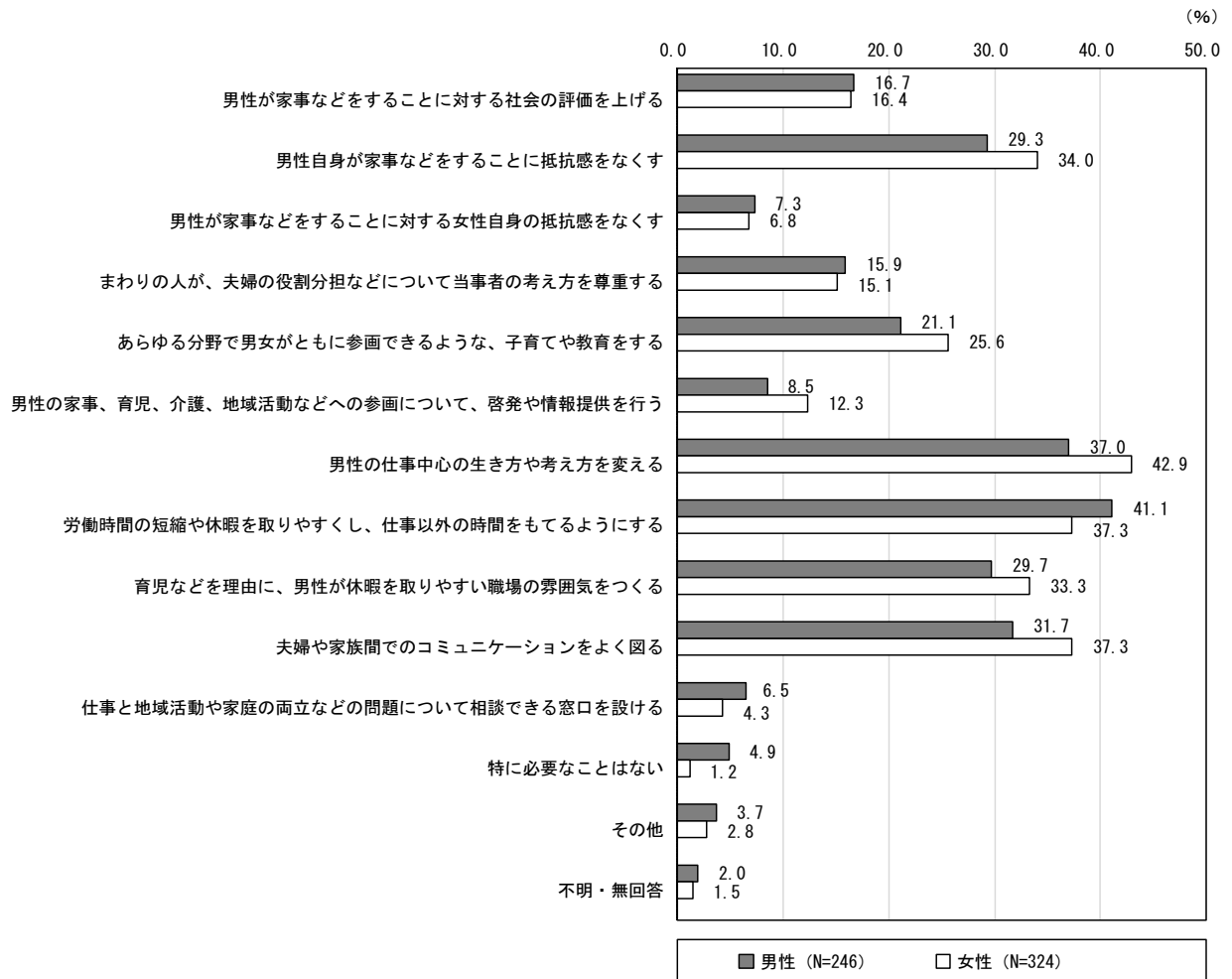
「男性の仕事中心の生き方や考え方を变える」が40.0%と最も多く、次いで「労働時間の短縮や休暇を取りやすくし、仕事以外の時間をもてるようにする」が38.1%、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る」が34.2%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性では「労働時間の短縮や休暇を取りやすくし、仕事以外の時間をもてるようにする」が41.1%と最も多く、次いで「男性の仕事中心の生き方や考え方を考える」が37.0%、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る」が31.7%となっています。

女性では「男性の仕事中心の生き方や考え方を考える」が42.9%と最も多く、次いで「労働時間の短縮や休暇を取りやすくし、仕事以外の時間をもてるようにする」と「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図る」がともに37.3%となっています。



問 10 家庭の仕事の役割について、理想と現状。(SA)

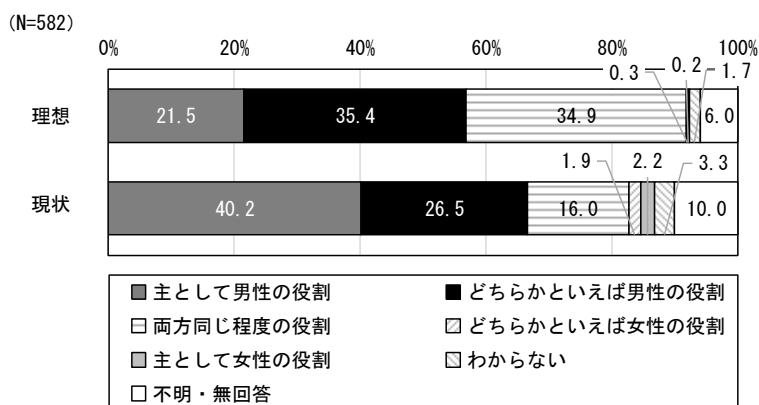
① 生活費をかせぐ

【理想】

「どちらかといえば男性の役割」が 35.4%と最も多く、次いで「両方同じ程度の役割」が 34.9%、「主として男性の役割」が 21.5%となっています。

【現状】

「主として男性の役割」が 40.2%と最も多く、「どちらかといえば男性の役割」が 26.5%、「両方同じ程度の役割」が 16.0%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性の理想では「どちらかといえば男性の役割」と「両方同じ程度の役割」に回答が集中していますが、現状では「主として男性の役割」と「どちらかといえば男性の役割」に回答が集中しています。

女性も同様に、理想では「両方同じ程度の役割」が最も多い年代がみられますが、現状ではすべての年代で「主として男性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	25.2	32.1	34.6	0.4	0.0	1.6	6.1	40.2	27.6	16.3	2.0	0.0	4.5	9.3
20～29歳 (N=17)	17.6	35.3	35.3	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5	29.4	17.6	5.9	0.0	23.5	0.0
30～39歳 (N=31)	16.1	19.4	54.8	0.0	0.0	0.0	9.7	41.9	29.0	16.1	3.2	0.0	0.0	9.7
40～49歳 (N=43)	18.6	41.9	32.6	0.0	0.0	2.3	4.7	34.9	34.9	14.0	0.0	0.0	7.0	9.3
50～59歳 (N=45)	24.4	24.4	46.7	0.0	0.0	0.0	4.4	44.4	33.3	8.9	2.2	0.0	6.7	4.4
60～69歳 (N=52)	25.0	40.4	26.9	0.0	0.0	1.9	5.8	46.2	19.2	19.2	0.0	0.0	0.0	15.4
70歳以上 (N=58)	37.9	29.3	22.4	0.0	0.0	1.7	8.6	39.7	24.1	20.7	3.4	0.0	1.7	10.3

《女性 理想》

《女性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	18.8	37.7	35.2	0.3	0.3	1.9	5.9	40.4	25.3	15.4	1.9	3.7	2.5	10.8
20～29歳 (N=26)	26.9	34.6	38.5	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2	26.9	11.5	3.8	0.0	7.7	3.8
30～39歳 (N=49)	14.3	40.8	32.7	0.0	0.0	6.1	6.1	51.0	18.4	20.4	0.0	2.0	2.0	6.1
40～49歳 (N=14)	21.5	41.5	35.4	0.0	0.0	0.0	1.5	47.7	27.7	12.3	3.1	3.1	3.1	3.1
50～59歳 (N=59)	20.3	30.5	44.1	0.0	0.0	1.7	3.4	40.7	25.4	15.3	1.7	10.2	0.0	6.8
60～69歳 (N=51)	11.8	23.5	52.9	0.0	0.0	2.0	9.8	31.4	27.5	27.5	2.0	0.0	2.0	9.8
70歳以上 (N=73)	19.2	49.3	16.4	1.4	1.4	1.4	11.0	31.5	26.0	8.2	1.4	2.7	2.7	27.4

【地区別】

地区別でみると、理想では「どちらかといえば男性の役割」と「両方同じ程度の役割」に回答が集中していますが、現状では「主として男性の役割」と「どちらかといえば男性の役割」に回答が集中しています。

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	23.5	30.9	32.4	0.0	0.0	4.4	8.8
葉山 (N=62)	32.3	33.9	32.3	0.0	0.0	0.0	1.6
葉山東 (N=64)	29.7	34.4	34.4	0.0	0.0	1.6	0.0
治田 (N=73)	17.8	39.7	35.6	1.4	0.0	0.0	5.5
治田東 (N=53)	11.3	32.1	35.8	0.0	1.9	5.7	13.2
治田西 (N=83)	14.5	39.8	36.1	0.0	0.0	2.4	7.2
大宝 (N=83)	24.1	41.0	27.7	0.0	0.0	0.0	7.2
大宝東 (N=37)	21.6	21.6	48.6	0.0	0.0	2.7	5.4
大宝西 (N=47)	19.1	38.3	36.2	2.1	0.0	0.0	4.3

《理想》

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	41.2	14.7	16.2	1.5	8.8	5.9	11.8
葉山 (N=62)	54.8	19.4	16.1	0.0	0.0	0.0	9.7
葉山東 (N=64)	45.3	29.7	12.5	4.7	0.0	1.6	6.3
治田 (N=73)	32.9	32.9	15.1	4.1	2.7	5.5	6.8
治田東 (N=53)	26.4	28.3	24.5	0.0	1.9	3.8	15.1
治田西 (N=83)	47.0	22.9	16.9	1.2	0.0	2.4	9.6
大宝 (N=83)	41.0	28.9	12.0	2.4	1.2	2.4	12.0
大宝東 (N=37)	37.8	37.8	18.9	0.0	0.0	0.0	5.4
大宝西 (N=47)	27.7	31.9	14.9	2.1	4.3	6.4	12.8

《現状》

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「どちらかといえば男性の役割」と「両方同じ程度の役割」に回答が集中していますが、現状では「主として男性の役割」が最も多くなっています。

- 人口密集地：治田、治田東、治田西、大宝、大宝東、大宝西の各小学校区
- 人口閑散地：金勝、葉山、葉山東の各小学校区

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	18.1	37.0	35.4	0.5	0.3	1.6	7.2
人口閑散地 (N=194)	28.4	33.0	33.0	0.0	0.0	2.1	3.6

《理想》

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	36.7	29.5	16.5	1.9	1.6	3.5	10.4
人口閑散地 (N=194)	46.9	21.1	14.9	2.1	3.1	2.6	9.3

《現状》

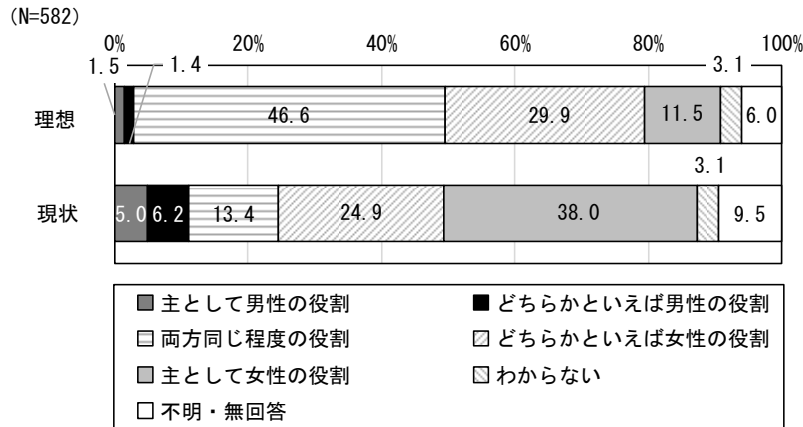
② 日々の家計の管理

【理想】

「両方同じ程度の役割」が46.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が29.9%、「主として女性の役割」が11.5%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が38.0%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が24.9%、「両方同じ程度の役割」が13.4%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性の理想では「両方同じ程度の役割」に回答が集中していますが、現状では「どちらかといえば女性の役割」「主として女性の役割」に回答が集中しています。

女性も同様に、理想では「両方同じ程度の役割」が最も多い年代がみられますが、現状ではすべての年代で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	2.0	1.2	43.5	30.1	13.4	3.3	6.5	6.5	6.5	13.4	27.6	32.5	4.5	8.9
20~29歳 (N=17)	5.9	0.0	29.4	47.1	5.9	11.8	0.0	0.0	11.8	11.8	23.5	23.5	29.4	0.0
30~39歳 (N=31)	0.0	3.2	61.3	19.4	6.5	0.0	9.7	16.1	9.7	9.7	25.8	29.0	0.0	9.7
40~49歳 (N=43)	4.7	2.3	48.8	20.9	14.0	4.7	4.7	4.7	11.6	14.0	18.6	34.9	7.0	9.3
50~59歳 (N=45)	0.0	0.0	60.0	26.7	6.7	2.2	4.4	6.7	4.4	17.8	33.3	28.9	4.4	4.4
60~69歳 (N=52)	1.9	1.9	46.2	26.9	13.5	5.8	3.8	7.7	3.8	17.3	19.2	38.5	1.9	11.5
70歳以上 (N=58)	1.7	0.0	19.0	43.1	24.1	0.0	12.1	3.4	3.4	8.6	39.7	32.8	0.0	12.1

《女性 理想》

《女性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	1.2	1.2	49.4	29.3	10.2	3.1	5.6	3.7	5.9	13.3	22.8	42.3	2.2	9.9
20~29歳 (N=26)	0.0	0.0	38.5	42.3	19.2	0.0	0.0	0.0	19.2	7.7	11.5	46.2	7.7	7.7
30~39歳 (N=49)	0.0	0.0	65.3	14.3	8.2	6.1	6.1	2.0	6.1	18.4	16.3	49.0	2.0	6.1
40~49歳 (N=14)	0.0	1.5	55.4	29.2	7.7	3.1	3.1	3.1	4.6	10.8	26.2	49.2	3.1	3.1
50~59歳 (N=59)	3.4	0.0	54.2	30.5	5.1	3.4	3.4	8.5	6.8	8.5	30.5	39.0	0.0	6.8
60~69歳 (N=51)	2.0	2.0	51.0	23.5	9.8	2.0	9.8	5.9	5.9	17.6	21.6	39.2	0.0	9.8
70歳以上 (N=73)	1.4	2.7	32.9	38.4	15.1	1.4	8.2	1.4	1.4	15.1	23.3	34.2	2.7	21.9

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

《理想》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
	金勝 (N=68)	0.0	0.0	38.2	26.5	17.6	7.4	10.3
葉山 (N=62)	3.2	3.2	54.8	24.2	9.7	1.6	3.2	
葉山東 (N=64)	1.6	1.6	50.0	34.4	12.5	0.0	0.0	
治田 (N=73)	1.4	1.4	46.6	41.1	2.7	1.4	5.5	
治田東 (N=53)	0.0	0.0	43.4	26.4	15.1	1.9	13.2	
治田西 (N=83)	2.4	0.0	38.6	34.9	14.5	3.6	6.0	
大宝 (N=83)	2.4	2.4	45.8	26.5	13.3	3.6	6.0	
大宝東 (N=37)	0.0	2.7	56.8	27.0	5.4	5.4	2.7	
大宝西 (N=47)	2.1	0.0	55.3	23.4	10.6	2.1	6.4	

(%)

《現状》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
	金勝 (N=68)	1.5	7.4	7.4	22.1	47.1	5.9	8.8
葉山 (N=62)	3.2	9.7	6.5	29.0	43.5	0.0	8.1	
葉山東 (N=64)	9.4	6.3	9.4	34.4	35.9	0.0	4.7	
治田 (N=73)	6.8	6.8	17.8	26.0	30.1	5.5	6.8	
治田東 (N=53)	1.9	1.9	11.3	20.8	41.5	3.8	18.9	
治田西 (N=83)	3.6	0.0	15.7	25.3	39.8	3.6	12.0	
大宝 (N=83)	4.8	7.2	15.7	21.7	34.9	3.6	12.0	
大宝東 (N=37)	2.7	10.8	18.9	27.0	37.8	0.0	2.7	
大宝西 (N=47)	8.5	6.4	19.1	19.1	34.0	4.3	8.5	

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

《理想》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
	人口密集地 (N=370)	1.6	1.1	46.3	30.9	10.6	2.9	6.6
人口閑散地 (N=194)	1.5	1.5	47.4	28.4	13.4	3.1	4.6	

(%)

《現状》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
	人口密集地 (N=370)	4.8	5.1	16.2	23.4	36.2	3.7	10.6
人口閑散地 (N=194)	4.6	7.7	7.7	28.4	42.3	2.1	7.2	

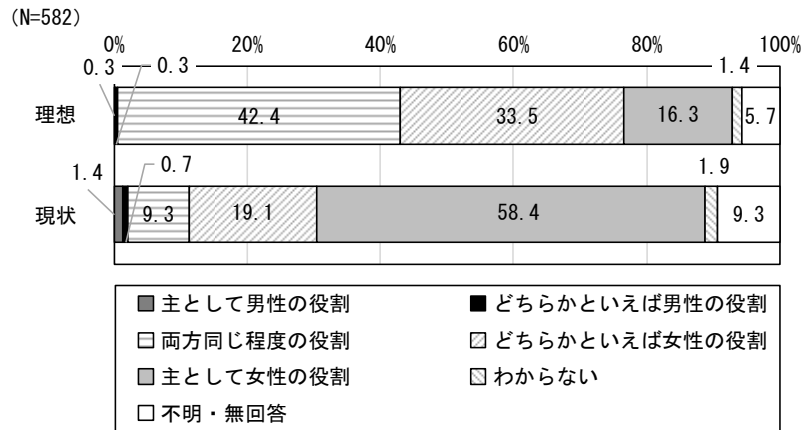
③ 食事のしたく

【理想】

「両方同じ程度の役割」が42.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が33.5%、「主として女性の役割」が16.3%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が58.4%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が19.1%、「両方同じ程度の役割」が9.3%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男女とも理想では70歳以上を除くすべての年代で、「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての世代で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.4	0.4	39.8	32.9	18.3	2.0	6.1	2.8	0.8	11.8	19.9	52.8	2.4	9.3
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	52.9	17.6	17.6	11.8	0.0	5.9	0.0	17.6	11.8	47.1	11.8	5.9
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	64.5	16.1	9.7	0.0	9.7	0.0	0.0	16.1	22.6	51.6	0.0	9.7
40～49歳 (N=43)	0.0	0.0	48.8	25.6	18.6	2.3	4.7	2.3	0.0	18.6	14.0	51.2	4.7	9.3
50～59歳 (N=45)	0.0	2.2	44.4	33.3	15.6	0.0	4.4	4.4	4.4	11.1	15.6	57.8	2.2	4.4
60～69歳 (N=52)	0.0	0.0	40.4	34.6	17.3	3.8	3.8	1.9	0.0	9.6	17.3	59.6	0.0	11.5
70歳以上 (N=58)	1.7	0.0	12.1	50.0	25.9	0.0	10.3	3.4	0.0	5.2	31.0	46.6	1.7	12.1

《女性 理想》

《女性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	0.0	44.8	34.3	14.5	0.9	5.2	0.3	0.6	7.1	17.9	63.3	1.5	9.3
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	46.2	42.3	11.5	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	19.2	57.7	7.7	7.7
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	51.0	30.6	6.1	6.1	6.1	0.0	0.0	8.2	14.3	67.3	4.1	6.1
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	55.4	32.3	9.2	0.0	3.1	0.0	0.0	6.2	10.8	76.9	1.5	4.6
50～59歳 (N=59)	1.7	0.0	52.5	30.5	11.9	0.0	3.4	1.7	1.7	8.5	18.6	62.7	0.0	6.8
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	45.1	31.4	13.7	0.0	9.8	0.0	0.0	5.9	27.5	58.8	0.0	7.8
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	24.7	39.7	28.8	0.0	6.8	0.0	1.4	6.8	19.2	53.4	0.0	19.2

【地区別】

地区別でみると、理想では大宝を除くすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	0.0	0.0	38.2	35.3	16.2	1.5	8.8
葉山 (N=62)	0.0	0.0	41.9	35.5	19.4	0.0	3.2
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	43.8	37.5	17.2	1.6	0.0
治田 (N=73)	1.4	0.0	43.8	38.4	9.6	1.4	5.5
治田東 (N=53)	0.0	0.0	49.1	24.5	13.2	3.8	9.4
治田西 (N=83)	0.0	0.0	43.4	32.5	16.9	1.2	6.0
大宝 (N=83)	1.2	1.2	32.5	36.1	19.3	2.4	7.2
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	48.6	37.8	10.8	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	51.1	21.3	21.3	0.0	6.4

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	2.9	1.5	14.7	19.1	50.0	2.9	8.8
葉山 (N=62)	3.2	0.0	8.1	19.4	59.7	0.0	9.7
葉山東 (N=64)	1.6	1.6	4.7	25.0	60.9	1.6	4.7
治田 (N=73)	1.4	0.0	15.1	19.2	57.5	0.0	6.8
治田東 (N=53)	0.0	1.9	7.5	17.0	52.8	3.8	17.0
治田西 (N=83)	0.0	0.0	8.4	24.1	53.0	3.6	10.8
大宝 (N=83)	2.4	1.2	3.6	12.0	67.5	2.4	10.8
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	10.8	18.9	67.6	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	8.5	17.0	61.7	2.1	10.6

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.5	0.3	43.4	32.4	15.4	1.6	6.4
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.0	41.2	36.1	17.5	1.0	4.1

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.8	0.5	8.8	18.1	59.6	2.1	10.1
人口閑散地 (N=194)	2.6	1.0	9.3	21.1	56.7	1.5	7.7

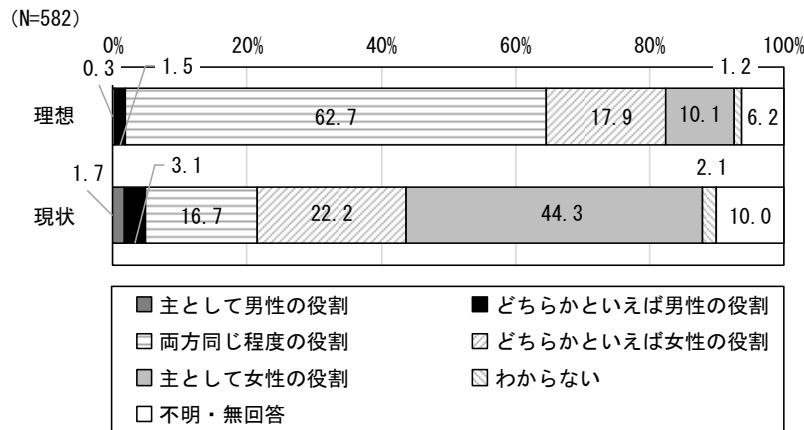
④ 食事の後かたづけ

【理想】

「両方同じ程度の役割」が62.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が17.9%、「主として女性の役割」が10.1%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が44.3%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が22.2%、「両方同じ程度の役割」が16.7%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」に回答が集中しています。

女性も同様に、理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての年代で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.4	1.2	60.2	19.1	10.6	1.6	6.9
20~29歳 (N=17)	0.0	0.0	58.8	17.6	11.8	11.8	0.0
30~39歳 (N=31)	0.0	0.0	77.4	9.7	3.2	0.0	9.7
40~49歳 (N=43)	0.0	4.7	65.1	16.3	7.0	2.3	4.7
50~59歳 (N=45)	0.0	2.2	68.9	17.8	6.7	0.0	4.4
60~69歳 (N=52)	0.0	0.0	67.3	15.4	11.5	1.9	3.8
70歳以上 (N=58)	1.7	0.0	34.5	31.0	19.0	0.0	13.8

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	2.4	3.7	21.5	24.4	35.4	2.8	9.8
20~29歳 (N=17)	0.0	5.9	17.6	23.5	35.3	17.6	0.0
30~39歳 (N=31)	0.0	6.5	29.0	25.8	29.0	0.0	9.7
40~49歳 (N=43)	0.0	4.7	27.9	14.0	39.5	4.7	9.3
50~59歳 (N=45)	6.7	2.2	20.0	24.4	40.0	2.2	4.4
60~69歳 (N=52)	1.9	5.8	21.2	23.1	34.6	0.0	13.5
70歳以上 (N=58)	3.4	0.0	15.5	32.8	32.8	1.7	13.8

《女性 理想》

《女性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	1.5	65.4	17.0	9.6	0.6	5.6
20~29歳 (N=26)	0.0	7.7	76.9	11.5	3.8	0.0	0.0
30~39歳 (N=49)	0.0	0.0	83.7	6.1	2.0	2.0	6.1
40~49歳 (N=14)	0.0	1.5	76.9	12.3	6.2	0.0	3.1
50~59歳 (N=59)	1.7	3.4	69.5	16.9	5.1	0.0	3.4
60~69歳 (N=51)	0.0	0.0	64.7	15.7	11.8	2.0	5.9
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	37.0	30.1	21.9	0.0	11.0

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	1.2	2.8	13.0	20.1	51.2	1.5	10.2
20~29歳 (N=26)	0.0	3.8	23.1	15.4	42.3	7.7	7.7
30~39歳 (N=49)	2.0	4.1	14.3	26.5	42.9	4.1	6.1
40~49歳 (N=14)	1.5	3.1	12.3	18.5	58.5	1.5	4.6
50~59歳 (N=59)	1.7	3.4	8.5	27.1	52.5	0.0	6.8
60~69歳 (N=51)	2.0	2.0	15.7	17.6	54.9	0.0	7.8
70歳以上 (N=73)	0.0	1.4	11.0	15.1	49.3	0.0	23.3

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「主として女性の役割」が最も多くなっています。（葉山東では「どちらかといえば女性の役割」も同率1位）

(%)

《理想》	小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
	金勝 (N=68)	0.0	0.0	60.3	22.1	8.8	1.5	7.4
葉山 (N=62)	0.0	0.0	66.1	17.7	11.3	0.0	4.8	
葉山東 (N=64)	0.0	3.1	71.9	17.2	7.8	0.0	0.0	
治田 (N=73)	1.4	0.0	68.5	12.3	11.0	1.4	5.5	
治田東 (N=53)	0.0	0.0	58.5	11.3	13.2	3.8	13.2	
治田西 (N=83)	0.0	1.2	60.2	21.7	7.2	2.4	7.2	
大宝 (N=83)	1.2	3.6	61.4	13.3	12.0	1.2	7.2	
大宝東 (N=37)	0.0	5.4	54.1	35.1	2.7	0.0	2.7	
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	59.6	19.1	14.9	0.0	6.4	

(%)

《現状》	小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
	金勝 (N=68)	2.9	4.4	20.6	19.1	39.7	4.4	8.8
葉山 (N=62)	1.6	3.2	11.3	22.6	51.6	0.0	9.7	
葉山東 (N=64)	1.6	3.1	17.2	35.9	35.9	1.6	4.7	
治田 (N=73)	4.1	5.5	23.3	13.7	45.2	0.0	8.2	
治田東 (N=53)	0.0	0.0	11.3	24.5	41.5	3.8	18.9	
治田西 (N=83)	0.0	2.4	18.1	20.5	43.4	3.6	12.0	
大宝 (N=83)	3.6	3.6	13.3	20.5	44.6	2.4	12.0	
大宝東 (N=37)	0.0	5.4	10.8	32.4	48.6	0.0	2.7	
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	19.1	14.9	53.2	2.1	10.6	

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

《理想》	小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
	人口密集地 (N=370)	0.5	1.6	61.2	17.6	10.4	1.6	7.2
人口閑散地 (N=194)	0.0	1.0	66.0	19.1	9.3	0.5	4.1	

(%)

《現状》	小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
	人口密集地 (N=370)	1.6	2.9	16.5	20.2	45.5	2.1	11.2
人口閑散地 (N=194)	2.1	3.6	16.5	25.8	42.3	2.1	7.7	

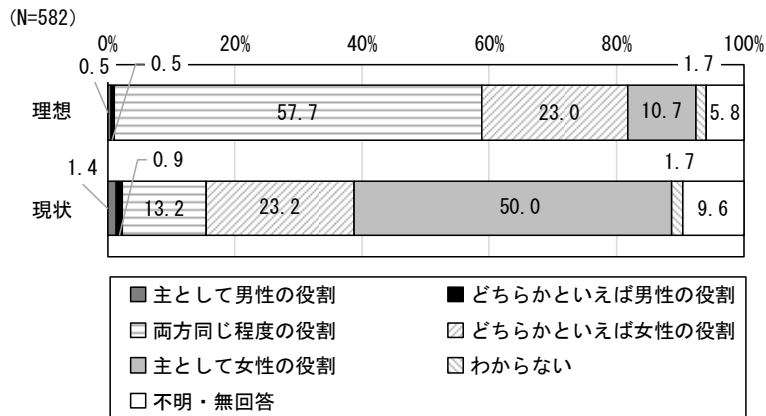
⑤ 掃除、洗濯

【理想】

「両方同じ程度の役割」が57.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が23.0%、「主として女性の役割」が10.7%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が50.0%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が23.2%、「両方同じ程度の役割」が13.2%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想では70歳以上を除くすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」に回答が集中しています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.8	0.4	54.5	23.2	13.0	2.0	6.1
20~29歳 (N=17)	0.0	0.0	70.6	11.8	11.8	5.9	0.0
30~39歳 (N=31)	0.0	3.2	67.7	12.9	6.5	0.0	9.7
40~49歳 (N=43)	0.0	0.0	62.8	20.9	9.3	2.3	4.7
50~59歳 (N=45)	0.0	0.0	66.7	17.8	11.1	2.2	2.2
60~69歳 (N=52)	1.9	0.0	50.0	25.0	13.5	3.8	5.8
70歳以上 (N=58)	1.7	0.0	31.0	36.2	20.7	0.0	10.3

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	2.8	0.8	16.7	26.8	41.1	2.4	9.3
20~29歳 (N=17)	0.0	0.0	17.6	41.2	23.5	17.6	0.0
30~39歳 (N=31)	0.0	3.2	22.6	35.5	29.0	0.0	9.7
40~49歳 (N=43)	2.3	0.0	23.3	14.0	46.5	4.7	9.3
50~59歳 (N=45)	4.4	0.0	11.1	28.9	48.9	2.2	4.4
60~69歳 (N=52)	3.8	1.9	11.5	25.0	44.2	0.0	13.5
70歳以上 (N=58)	3.4	0.0	17.2	27.6	39.7	0.0	12.1

《女性 理想》

《女性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.0	0.6	60.5	23.5	8.3	1.5	5.6
20~29歳 (N=26)	0.0	0.0	69.2	26.9	3.8	0.0	0.0
30~39歳 (N=49)	0.0	0.0	67.3	18.4	2.0	6.1	6.1
40~49歳 (N=14)	0.0	0.0	69.2	21.5	6.2	0.0	3.1
50~59歳 (N=59)	0.0	3.4	59.3	25.4	6.8	1.7	3.4
60~69歳 (N=51)	0.0	0.0	60.8	23.5	5.9	2.0	7.8
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	46.6	24.7	19.2	0.0	9.6

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	0.9	9.6	20.4	57.7	1.2	9.9
20~29歳 (N=26)	0.0	0.0	15.4	19.2	50.0	7.7	7.7
30~39歳 (N=49)	0.0	2.0	10.2	22.4	57.1	2.0	6.1
40~49歳 (N=14)	0.0	0.0	7.7	20.0	66.2	1.5	4.6
50~59歳 (N=59)	0.0	0.0	5.1	23.7	64.4	0.0	6.8
60~69歳 (N=51)	2.0	3.9	13.7	23.5	49.0	0.0	7.8
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	9.6	15.1	53.4	0.0	21.9

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	0.0	0.0	48.5	29.4	11.8	1.5	8.8
葉山 (N=62)	0.0	1.6	61.3	17.7	11.3	1.6	6.5
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	67.2	25.0	6.3	1.6	0.0
治田 (N=73)	1.4	0.0	57.5	26.0	11.0	1.4	2.7
治田東 (N=53)	0.0	0.0	54.7	17.0	13.2	3.8	11.3
治田西 (N=83)	0.0	1.2	57.8	19.3	12.0	2.4	7.2
大宝 (N=83)	0.0	1.2	53.0	27.7	9.6	2.4	6.0
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	59.5	32.4	5.4	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	2.1	0.0	63.8	17.0	10.6	0.0	6.4

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	2.9	1.5	16.2	17.6	48.5	4.4	8.8
葉山 (N=62)	1.6	1.6	9.7	27.4	50.0	0.0	9.7
葉山東 (N=64)	1.6	1.6	10.9	35.9	45.3	0.0	4.7
治田 (N=73)	1.4	1.4	16.4	19.2	54.8	0.0	6.8
治田東 (N=53)	0.0	0.0	5.7	22.6	50.9	3.8	17.0
治田西 (N=83)	1.2	0.0	15.7	24.1	44.6	2.4	12.0
大宝 (N=83)	1.2	0.0	12.0	16.9	55.4	2.4	12.0
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	5.4	40.5	51.4	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	2.1	2.1	14.9	12.8	55.3	2.1	10.6

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	0.5	0.5	57.2	23.1	10.6	1.9	6.1
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.5	58.8	24.2	9.8	1.5	5.2

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	1.1	0.5	12.5	21.5	51.9	1.9	10.6
人口閑散地 (N=194)	2.1	1.5	12.4	26.8	47.9	1.5	7.7

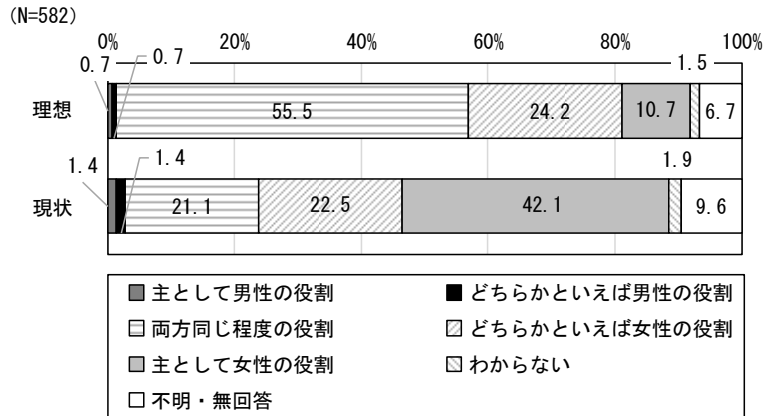
⑥ 日常の買い物

【理想】

「両方同じ程度の役割」が55.5%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が24.2%、「主として女性の役割」が10.7%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が42.1%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が22.5%、「両方同じ程度の役割」が21.1%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」に回答が集中しています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての年代で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.8	0.8	53.3	23.2	12.6	2.0	7.3
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	52.9	29.4	11.8	5.9	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	71.0	16.1	3.2	0.0	9.7
40～49歳 (N=43)	0.0	0.0	48.8	37.2	7.0	2.3	4.7
50～59歳 (N=45)	0.0	0.0	60.0	22.2	13.3	0.0	4.4
60～69歳 (N=52)	1.9	1.9	61.5	11.5	11.5	5.8	5.8
70歳以上 (N=58)	1.7	1.7	34.5	25.9	22.4	0.0	13.8

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	2.8	1.6	24.8	26.4	32.9	2.4	8.9
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	23.5	41.2	17.6	17.6	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	32.3	29.0	29.0	0.0	9.7
40～49歳 (N=43)	0.0	0.0	25.6	25.6	34.9	4.7	9.3
50～59歳 (N=45)	4.4	0.0	26.7	22.2	40.0	2.2	4.4
60～69歳 (N=52)	3.8	3.8	21.2	26.9	30.8	0.0	13.5
70歳以上 (N=58)	5.2	3.4	22.4	24.1	34.5	0.0	10.3

《女性 理想》

《女性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	0.6	58.0	25.0	8.6	1.2	6.2
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	57.7	26.9	11.5	0.0	3.8
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	57.1	26.5	4.1	6.1	6.1
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	61.5	27.7	6.2	0.0	4.6
50～59歳 (N=59)	1.7	0.0	71.2	18.6	5.1	0.0	3.4
60～69歳 (N=51)	0.0	2.0	52.9	23.5	9.8	2.0	9.8
70歳以上 (N=73)	0.0	1.4	47.9	27.4	15.1	0.0	8.2

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	1.2	18.2	19.4	49.1	1.5	10.2
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	23.1	11.5	50.0	7.7	7.7
30～39歳 (N=49)	0.0	2.0	14.3	20.4	51.0	4.1	8.2
40～49歳 (N=14)	0.0	1.5	13.8	16.9	61.5	1.5	4.6
50～59歳 (N=59)	1.7	1.7	22.0	23.7	44.1	0.0	6.8
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	17.6	23.5	49.0	0.0	9.8
70歳以上 (N=73)	0.0	1.4	20.5	17.8	39.7	0.0	20.5

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	0.0	1.5	60.3	16.2	11.8	1.5	8.8
葉山 (N=62)	0.0	0.0	58.1	17.7	12.9	3.2	8.1
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	53.1	28.1	15.6	1.6	1.6
治田 (N=73)	1.4	1.4	56.2	30.1	5.5	0.0	5.5
治田東 (N=53)	0.0	0.0	56.6	17.0	11.3	3.8	11.3
治田西 (N=83)	0.0	1.2	53.0	28.9	8.4	2.4	6.0
大宝 (N=83)	1.2	1.2	48.2	26.5	13.3	1.2	8.4
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	67.6	27.0	2.7	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	2.1	0.0	59.6	23.4	8.5	0.0	6.4

《理想》

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	1.5	1.5	29.4	20.6	30.9	5.9	10.3
葉山 (N=62)	1.6	1.6	25.8	16.1	43.5	0.0	11.3
葉山東 (N=64)	1.6	0.0	14.1	29.7	50.0	0.0	4.7
治田 (N=73)	2.7	1.4	24.7	17.8	46.6	0.0	6.8
治田東 (N=53)	0.0	0.0	15.1	26.4	39.6	3.8	15.1
治田西 (N=83)	0.0	4.8	19.3	24.1	37.3	2.4	12.0
大宝 (N=83)	2.4	1.2	16.9	19.3	47.0	2.4	10.8
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	24.3	35.1	37.8	0.0	2.7
大宝西 (N=47)	2.1	0.0	19.1	19.1	46.8	2.1	10.6

《現状》

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも理想では「両方同じ程度の役割」が最も多く、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.8	0.8	55.3	26.1	8.8	1.3	6.9
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.5	57.2	20.6	13.4	2.1	6.2

《理想》

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	1.3	1.6	19.7	22.6	42.8	1.9	10.1
人口閑散地 (N=194)	1.5	1.0	23.2	22.2	41.2	2.1	8.8

《現状》

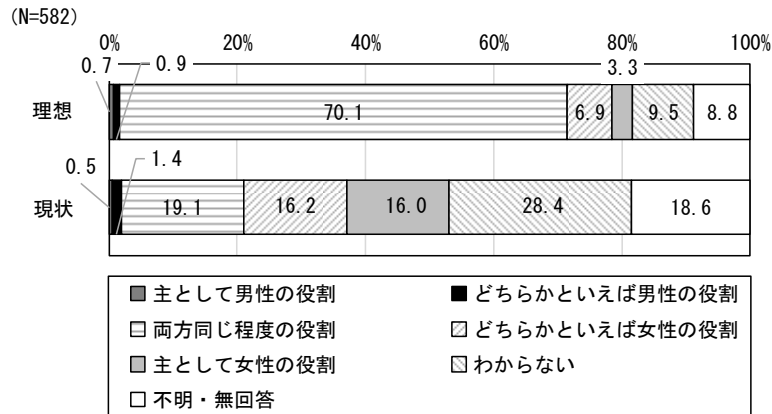
⑦ 介護の必要な高齢者・病人の世話

【理想】

「両方同じ程度の役割」が70.1%と最も多く、次いで「わからない」が9.5%、「どちらかといえば女性の役割」が6.9%となっています。

【現状】

「わからない」が28.4%と最も多く、「両方同じ程度の役割」が19.1%、「どちらかといえば女性の役割」が16.2%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「わからない」に回答が集中しています。「わからない」を除いてみると、「両方同じ程度の役割」に回答が集中しており、理想との乖離は小さくなっています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「わからない」を除いてみると「主として女性の役割」に回答が集中しています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.8	2.0	58.5	8.5	5.3	14.2	10.6
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	58.8	5.9	5.9	29.4	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	3.2	71.0	6.5	3.2	3.2	12.9
40～49歳 (N=43)	0.0	2.3	48.8	11.6	9.3	20.9	7.0
50～59歳 (N=45)	2.2	0.0	66.7	11.1	6.7	8.9	4.4
60～69歳 (N=52)	1.9	3.8	55.8	5.8	5.8	17.3	9.6
70歳以上 (N=58)	0.0	1.7	55.2	8.6	1.7	12.1	20.7

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.8	2.4	24.8	18.7	8.9	25.6	18.7
20～29歳 (N=17)	0.0	5.9	11.8	17.6	11.8	41.2	11.8
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	29.0	16.1	9.7	25.8	19.4
40～49歳 (N=43)	0.0	2.3	25.6	14.0	4.7	39.5	14.0
50～59歳 (N=45)	4.4	4.4	22.2	22.2	11.1	26.7	8.9
60～69歳 (N=52)	0.0	1.9	21.2	21.2	11.5	21.2	23.1
70歳以上 (N=58)	0.0	1.7	31.0	19.0	6.9	13.8	27.6

《女性 理想》

《女性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.6	0.0	78.7	5.6	1.9	5.9	7.4
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	73.1	0.0	3.8	19.2	3.8
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	77.6	6.1	0.0	8.2	8.2
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	81.5	7.7	0.0	6.2	4.6
50～59歳 (N=59)	3.4	0.0	86.4	1.7	0.0	5.1	3.4
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	76.5	5.9	2.0	3.9	11.8
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	74.0	8.2	5.5	1.4	11.0

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.3	0.6	14.5	13.9	21.6	30.2	18.8
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	11.5	11.5	7.7	57.7	11.5
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	10.2	8.2	12.2	61.2	8.2
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	13.8	16.9	26.2	32.3	10.8
50～59歳 (N=59)	1.7	1.7	11.9	15.3	27.1	25.4	16.9
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	17.6	15.7	29.4	19.6	17.6
70歳以上 (N=73)	0.0	1.4	19.2	13.7	17.8	9.6	38.4

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての地区で「わからない」が最も多くなっています。「わからない」を除いてみると、「両方同じ程度の役割」「どちらかといえば女性の役割」「主として女性の役割」に回答が分散しています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	0.0	0.0	64.7	8.8	2.9	11.8	11.8
葉山 (N=62)	1.6	1.6	67.7	4.8	0.0	16.1	8.1
葉山東 (N=64)	0.0	3.1	70.3	7.8	4.7	12.5	1.6
治田 (N=73)	1.4	0.0	69.9	8.2	4.1	9.6	6.8
治田東 (N=53)	0.0	0.0	67.9	9.4	5.7	5.7	11.3
治田西 (N=83)	0.0	1.2	72.3	7.2	1.2	6.0	12.0
大宝 (N=83)	2.4	0.0	69.9	4.8	4.8	7.2	10.8
大宝東 (N=37)	0.0	2.7	73.0	8.1	2.7	8.1	5.4
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	78.7	2.1	4.3	6.4	8.5

《理想》

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	1.5	1.5	19.1	14.7	19.1	26.5	17.6
葉山 (N=62)	0.0	0.0	19.4	11.3	21.0	25.8	22.6
葉山東 (N=64)	1.6	1.6	23.4	21.9	14.1	29.7	7.8
治田 (N=73)	0.0	2.7	24.7	8.2	23.3	27.4	13.7
治田東 (N=53)	0.0	0.0	11.3	20.8	17.0	24.5	26.4
治田西 (N=83)	0.0	1.2	16.9	20.5	13.3	24.1	24.1
大宝 (N=83)	1.2	0.0	18.1	10.8	9.6	37.3	22.9
大宝東 (N=37)	0.0	5.4	24.3	27.0	10.8	27.0	5.4
大宝西 (N=47)	0.0	2.1	14.9	14.9	14.9	29.8	23.4

《現状》

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「わからない」が最も多くなっています。「わからない」を除いてみると、両地域とも「両方同じ程度の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.8	0.5	71.5	6.6	3.7	7.2	9.6
人口閑散地 (N=194)	0.5	1.5	67.5	7.2	2.6	13.4	7.2

《理想》

(%)

小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.3	1.6	18.4	16.0	14.9	28.7	20.2
人口閑散地 (N=194)	1.0	1.0	20.6	16.0	18.0	27.3	16.0

《現状》

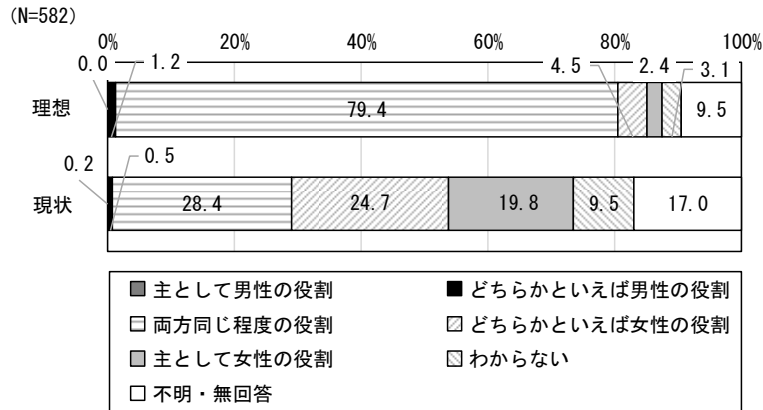
⑧ 子どもの教育・しつけ

【理想】

「両方同じ程度の役割」が79.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が4.5%、「わからない」が3.1%となっています。

【現状】

「両方同じ程度の役割」が28.4%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が24.7%、「主として女性の役割」が19.8%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「両方同じ程度の役割」「どちらかといえば女性の役割」に回答が集中しています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「両方同じ程度の役割」「どちらかといえば女性の役割」「主として女性の役割」に回答が分散しています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.0	1.6	70.7	6.5	4.1	5.7	11.4
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	70.6	17.6	0.0	11.8	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	80.6	6.5	0.0	3.2	9.7
40～49歳 (N=43)	0.0	2.3	69.8	11.6	4.7	7.0	4.7
50～59歳 (N=45)	0.0	2.2	73.3	6.7	6.7	6.7	4.4
60～69歳 (N=52)	0.0	1.9	75.0	1.9	7.7	3.8	9.6
70歳以上 (N=58)	0.0	1.7	60.3	3.4	1.7	5.2	27.6

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.0	0.8	32.5	25.6	12.2	11.8	17.1
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	17.6	35.3	11.8	29.4	5.9
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	32.3	35.5	9.7	9.7	12.9
40～49歳 (N=43)	0.0	2.3	32.6	18.6	23.3	14.0	9.3
50～59歳 (N=45)	0.0	0.0	28.9	40.0	13.3	11.1	6.7
60～69歳 (N=52)	0.0	1.9	34.6	23.1	11.5	7.7	21.2
70歳以上 (N=58)	0.0	0.0	37.9	13.8	5.2	10.3	32.8

《女性 理想》

《女性 現状》

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.0	0.3	86.7	2.8	0.9	1.2	8.0
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	96.2	3.8	0.0	0.0	0.0
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	93.9	0.0	0.0	0.0	6.1
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	89.2	6.2	0.0	0.0	4.6
50～59歳 (N=59)	0.0	1.7	83.1	3.4	0.0	5.1	6.8
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	84.3	2.0	2.0	0.0	11.8
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	80.8	1.4	2.7	1.4	13.7

	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.0	0.3	24.7	23.8	25.9	8.0	17.3
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	34.6	15.4	19.2	23.1	7.7
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	18.4	36.7	26.5	12.2	6.1
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	23.1	27.7	30.8	7.7	10.8
50～59歳 (N=59)	0.0	0.0	20.3	22.0	30.5	11.9	15.3
60～69歳 (N=51)	0.0	2.0	29.4	21.6	27.5	0.0	19.6
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	27.4	17.8	17.8	2.7	34.2

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「両方同じ程度の役割」「どちらかといえば女性の役割」「主として女性の役割」に回答が分散しています。

(%)

小学校区	《理想》						
	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	0.0	0.0	69.1	7.4	5.9	2.9	14.7
葉山 (N=62)	0.0	0.0	75.8	8.1	3.2	4.8	8.1
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	93.8	3.1	1.6	0.0	1.6
治田 (N=73)	0.0	1.4	83.6	4.1	0.0	4.1	6.8
治田東 (N=53)	0.0	0.0	71.7	7.5	5.7	1.9	13.2
治田西 (N=83)	0.0	3.6	81.9	1.2	0.0	3.6	9.6
大宝 (N=83)	0.0	0.0	78.3	1.2	2.4	2.4	15.7
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	78.4	10.8	0.0	5.4	5.4
大宝西 (N=47)	0.0	2.1	87.2	0.0	2.1	2.1	6.4

(%)

小学校区	《現状》						
	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	0.0	0.0	25.0	14.7	20.6	16.2	23.5
葉山 (N=62)	0.0	0.0	21.0	22.6	32.3	4.8	19.4
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	37.5	29.7	15.6	9.4	7.8
治田 (N=73)	0.0	2.7	38.4	20.5	16.4	9.6	12.3
治田東 (N=53)	0.0	0.0	20.8	26.4	18.9	13.2	20.8
治田西 (N=83)	0.0	0.0	28.9	25.3	18.1	7.2	20.5
大宝 (N=83)	0.0	0.0	27.7	21.7	20.5	8.4	21.7
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	21.6	45.9	16.2	10.8	5.4
大宝西 (N=47)	0.0	2.1	31.9	23.4	19.1	6.4	17.0

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、理想、現状とも「両方同じ程度の役割」が両地域で最も多くなっています。

(%)

小学校区	《理想》						
	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.0	1.3	80.3	3.5	1.6	3.2	10.1
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.0	79.4	6.2	3.6	2.6	8.2

(%)

小学校区	《現状》						
	主として 男性の 役割	どちらか といえば 男性の 役割	両方同じ 程度の 役割	どちらか といえば 女性の 役割	主として 女性の 役割	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	0.0	0.8	29.0	25.5	18.4	9.0	17.3
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.0	27.8	22.2	22.7	10.3	17.0

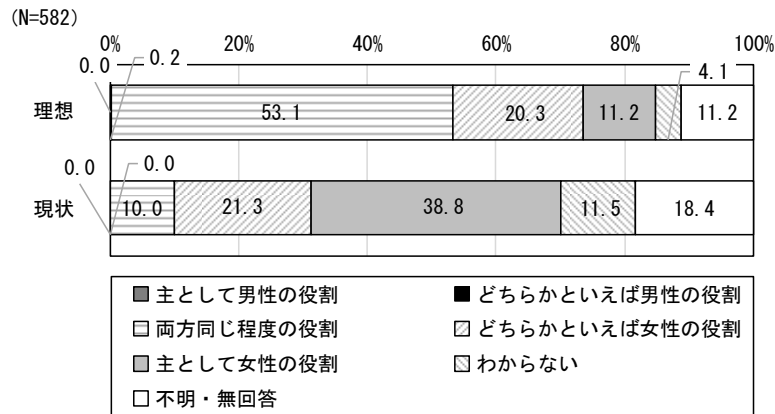
⑨ 育児

【理想】

「両方同じ程度の役割」が53.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば女性の役割」が20.3%、「主として女性の役割」が11.2%となっています。

【現状】

「主として女性の役割」が38.8%と最も多く、「どちらかといえば女性の役割」が21.3%、「わからない」が11.5%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっています（40～49歳では「どちらかといえば女性の役割」が同率1位）が、現状では「主として女性の役割」に回答が集中しています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状ではすべての年代で「主として女性の役割」が最も多くなっています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.0	0.4	43.9	22.4	13.8	7.7	11.8	0.0	0.0	10.2	24.8	32.1	14.6	18.3
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	52.9	29.4	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5	35.3	29.4	5.9
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	58.1	19.4	9.7	3.2	9.7	0.0	0.0	3.2	38.7	35.5	12.9	9.7
40～49歳 (N=43)	0.0	0.0	37.2	37.2	14.0	7.0	4.7	0.0	0.0	20.9	18.6	34.9	16.3	9.3
50～59歳 (N=45)	0.0	0.0	57.8	15.6	15.6	6.7	4.4	0.0	0.0	11.1	33.3	33.3	15.6	6.7
60～69歳 (N=52)	0.0	1.9	44.2	19.2	13.5	11.5	9.6	0.0	0.0	5.8	21.2	32.7	13.5	26.9
70歳以上 (N=58)	0.0	0.0	27.6	19.0	17.2	6.9	29.3	0.0	0.0	10.3	19.0	25.9	10.3	34.5

《女性 理想》

《女性 現状》

	理想 (%)							現状 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.0	0.0	60.5	18.2	9.0	1.5	10.8	0.0	0.0	9.6	18.2	43.8	9.6	18.8
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	69.2	26.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	15.4	38.5	23.1	11.5
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	71.4	12.2	10.2	0.0	6.1	0.0	0.0	4.1	30.6	44.9	14.3	6.1
40～49歳 (N=14)	0.0	0.0	72.3	21.5	1.5	0.0	4.6	0.0	0.0	12.3	13.8	55.4	9.2	9.2
50～59歳 (N=59)	0.0	0.0	61.0	11.9	11.9	6.8	8.5	0.0	0.0	8.5	16.9	44.1	13.6	16.9
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	52.9	21.6	5.9	2.0	17.6	0.0	0.0	11.8	15.7	45.1	2.0	25.5
70歳以上 (N=73)	0.0	0.0	43.8	19.2	16.4	0.0	20.5	0.0	0.0	9.6	17.8	32.9	4.1	35.6

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「どちらかといえば女性の役割」と「主として女性の役割」に回答が集中しています。

(%)

《理想》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性 の 役割	主として 女性 の 役割	わか ら な い	不明・ 無回 答
	金勝 (N=68)	0.0	0.0	55.9	16.2	10.3	2.9	14.7
葉山 (N=62)	0.0	0.0	46.8	22.6	17.7	4.8	8.1	
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	57.8	25.0	12.5	3.1	1.6	
治田 (N=73)	0.0	0.0	56.2	19.2	12.3	5.5	6.8	
治田東 (N=53)	0.0	0.0	50.9	18.9	9.4	3.8	17.0	
治田西 (N=83)	0.0	0.0	54.2	19.3	10.8	3.6	12.0	
大宝 (N=83)	0.0	0.0	48.2	20.5	7.2	3.6	20.5	
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	64.9	16.2	5.4	8.1	5.4	
大宝西 (N=47)	0.0	2.1	51.1	21.3	12.8	2.1	10.6	

(%)

《現状》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性 の 役割	主として 女性 の 役割	わか ら な い	不明・ 無回 答
	金勝 (N=68)	0.0	0.0	13.2	14.7	30.9	16.2	25.0
葉山 (N=62)	0.0	0.0	6.5	21.0	46.8	8.1	17.7	
葉山東 (N=64)	0.0	0.0	12.5	32.8	31.3	14.1	9.4	
治田 (N=73)	0.0	0.0	12.3	21.9	39.7	12.3	13.7	
治田東 (N=53)	0.0	0.0	7.5	15.1	37.7	13.2	26.4	
治田西 (N=83)	0.0	0.0	8.4	20.5	41.0	9.6	20.5	
大宝 (N=83)	0.0	0.0	7.2	18.1	39.8	10.8	24.1	
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	8.1	37.8	37.8	10.8	5.4	
大宝西 (N=47)	0.0	0.0	14.9	14.9	42.6	8.5	19.1	

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域も理想では「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では「主として女性の役割」が最も多くなっています。

(%)

《理想》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性 の 役割	主として 女性 の 役割	わか ら な い	不明・ 無回 答
	人口密集地 (N=370)	0.0	0.3	53.5	19.4	9.8	4.3	12.8
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.0	53.6	21.1	13.4	3.6	8.2	

(%)

《現状》	小学校区	主として 男性の 役割	どちらか といえ ば 男性の 役割	両方同じ 程度 の 役割	どちらか といえ ば 女性 の 役割	主として 女性 の 役割	わか ら な い	不明・ 無回 答
	人口密集地 (N=370)	0.0	0.0	9.6	20.5	39.9	10.9	19.1
人口閑散地 (N=194)	0.0	0.0	10.8	22.7	36.1	12.9	17.5	

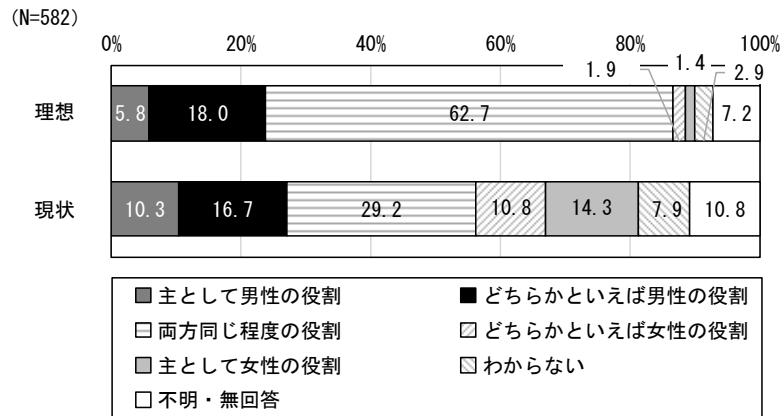
⑩ 地域活動

【理想】

「両方同じ程度の役割」が62.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性の役割」が18.0%、「主として男性の役割」が5.8%となっています。

【現状】

「両方同じ程度の役割」が29.2%と最も多く、「どちらかといえば男性の役割」が16.7%、「主として女性の役割」が14.3%となっています。



【性年代別】

性年代別で見ると、男性の理想、現状ともすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっています。

女性の理想ではすべての年代で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっており、現状でも両方同じ程度の役割」に回答が集中しています。

《男性 理想》

《男性 現状》

	《男性 理想》 (%)							《男性 現状》 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	6.9	14.6	60.6	2.0	2.0	5.7	8.1	13.4	18.3	31.3	10.6	5.3	10.2	11.0
20～29歳 (N=17)	17.6	0.0	70.6	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	17.6	23.5	11.8	5.9	41.2	0.0
30～39歳 (N=31)	6.5	6.5	67.7	3.2	3.2	3.2	9.7	3.2	19.4	32.3	19.4	3.2	9.7	12.9
40～49歳 (N=43)	2.3	14.0	62.8	9.3	2.3	4.7	4.7	9.3	16.3	37.2	9.3	11.6	7.0	9.3
50～59歳 (N=45)	2.2	11.1	77.8	0.0	4.4	0.0	4.4	22.2	15.6	35.6	13.3	4.4	4.4	4.4
60～69歳 (N=52)	7.7	23.1	53.8	0.0	0.0	9.6	5.8	11.5	23.1	28.8	7.7	5.8	9.6	13.5
70歳以上 (N=58)	10.3	19.0	44.8	0.0	1.7	6.9	17.2	20.7	17.2	27.6	6.9	1.7	8.6	17.2

《女性 理想》

《女性 現状》

	《女性 理想》 (%)							《女性 現状》 (%)						
	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	4.6	21.0	64.5	1.9	0.6	0.9	6.5	7.7	15.7	27.5	11.1	21.3	5.9	10.8
20～29歳 (N=26)	7.7	34.6	53.8	0.0	0.0	3.8	0.0	11.5	19.2	26.9	0.0	7.7	26.9	7.7
30～39歳 (N=49)	6.1	16.3	69.4	2.0	0.0	0.0	6.1	8.2	14.3	26.5	8.2	20.4	14.3	8.2
40～49歳 (N=14)	6.2	24.6	63.1	3.1	0.0	0.0	3.1	4.6	12.3	24.6	15.4	32.3	4.6	6.2
50～59歳 (N=59)	6.8	13.6	76.3	0.0	0.0	0.0	3.4	6.8	11.9	27.1	16.9	28.8	1.7	6.8
60～69歳 (N=51)	2.0	25.5	56.9	2.0	2.0	0.0	11.8	9.8	19.6	35.3	9.8	15.7	0.0	9.8
70歳以上 (N=73)	1.4	19.2	61.6	2.7	1.4	2.7	11.0	8.2	19.2	26.0	9.6	13.7	1.4	21.9

【地区別】

地区別でみると、理想ではすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっていますが、現状では金勝を除くすべての地区で「両方同じ程度の役割」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	7.4	13.2	58.8	2.9	1.5	2.9	13.2
葉山 (N=62)	6.5	19.4	61.3	0.0	1.6	6.5	4.8
葉山東 (N=64)	4.7	20.3	70.3	1.6	0.0	3.1	0.0
治田 (N=73)	5.5	19.2	64.4	1.4	0.0	5.5	4.1
治田東 (N=53)	7.5	17.0	50.9	1.9	5.7	1.9	15.1
治田西 (N=83)	2.4	14.5	71.1	2.4	1.2	1.2	7.2
大宝 (N=83)	9.6	21.7	54.2	2.4	1.2	1.2	9.6
大宝東 (N=37)	2.7	21.6	67.6	0.0	0.0	5.4	2.7
大宝西 (N=47)	4.3	19.1	66.0	4.3	0.0	0.0	6.4

《理想》

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	11.8	13.2	19.1	8.8	23.5	8.8	14.7
葉山 (N=62)	4.8	21.0	30.6	12.9	11.3	9.7	9.7
葉山東 (N=64)	12.5	25.0	31.3	9.4	12.5	4.7	4.7
治田 (N=73)	9.6	12.3	31.5	13.7	15.1	9.6	8.2
治田東 (N=53)	7.5	13.2	24.5	5.7	15.1	15.1	18.9
治田西 (N=83)	8.4	12.0	32.5	12.0	14.5	8.4	12.0
大宝 (N=83)	10.8	19.3	27.7	10.8	15.7	3.6	12.0
大宝東 (N=37)	8.1	21.6	32.4	16.2	5.4	10.8	5.4
大宝西 (N=47)	19.1	19.1	29.8	8.5	10.6	2.1	10.6

《現状》

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、理想、現状とも、「両方同じ程度の役割」が両地域で最も多くなっています。

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	5.6	18.6	62.2	2.1	1.3	2.4	7.7
人口閑散地 (N=194)	6.2	17.5	63.4	1.5	1.0	4.1	6.2

《理想》

(%)

小学校区	主として男性の役割	どちらかといえば男性の役割	両方同じ程度の役割	どちらかといえば女性の役割	主として女性の役割	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	10.4	15.7	29.8	11.2	13.6	8.0	11.4
人口閑散地 (N=194)	9.8	19.6	26.8	10.3	16.0	7.7	9.8

《現状》

【問10 ①～⑩のまとめ】

①～⑩のいずれの項目とも、理想と現状との間に大きな格差がみられます。

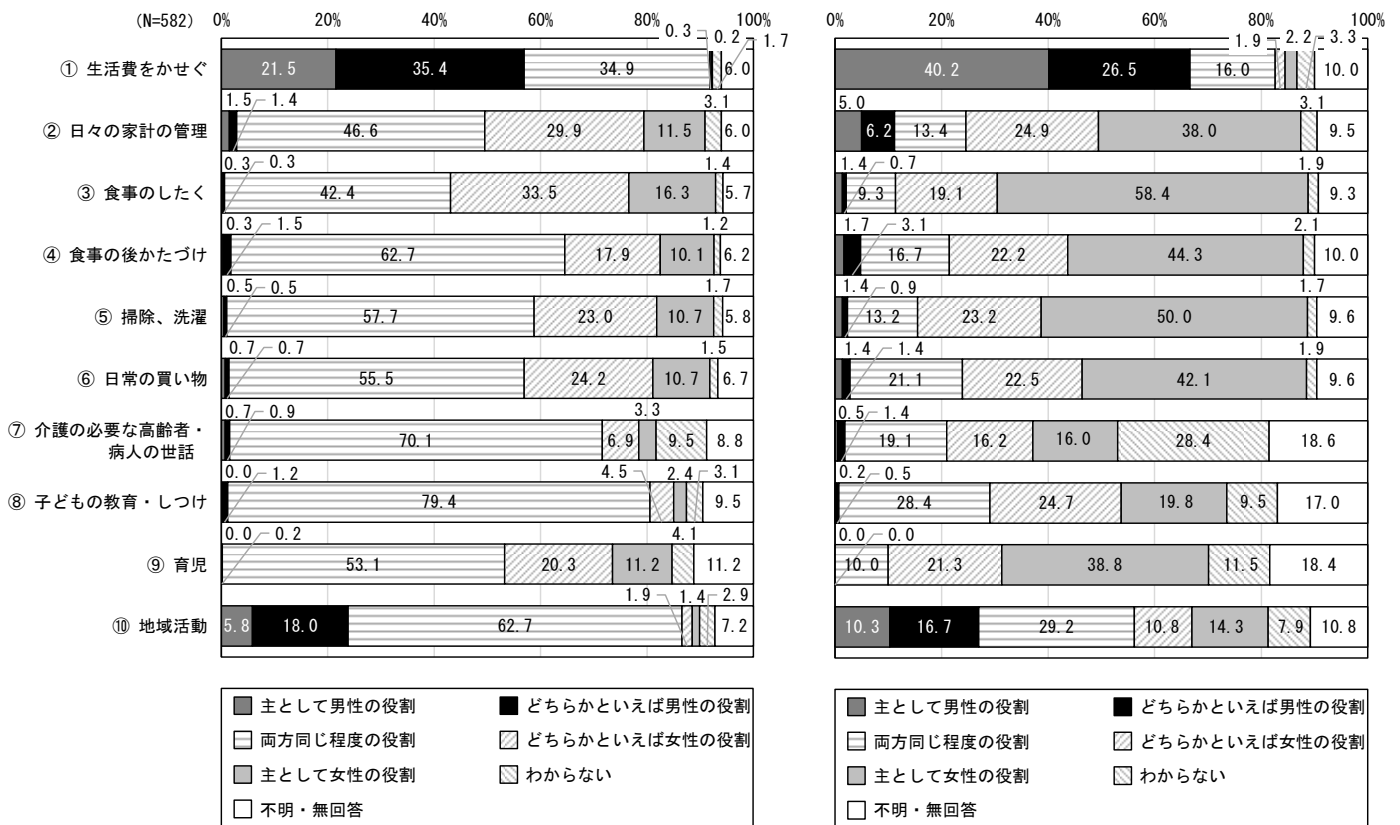
現状では、「①生活費をかせぐ」において「主として男性の役割」と「どちらかといえば男性の役割」の合計が6割を超えており、「②日々の家計の管理」「③食事のしたく」「④食事の後かたづけ」「⑤掃除、洗濯」「⑥日常の買い物」「⑨育児」の各項目において「主として女性の役割」と「どちらかといえば女性の役割」の合計が6割を超えています。

中でも「③食事のしたく」と「⑤掃除、洗濯」では、「主として女性の役割」と「どちらかといえば女性の役割」の合計が7割を超えています。

全体的に「男性は仕事、女性は家庭」といった役割分担が、根強く残っている様子がうかがえます。

《理想》

《現状》



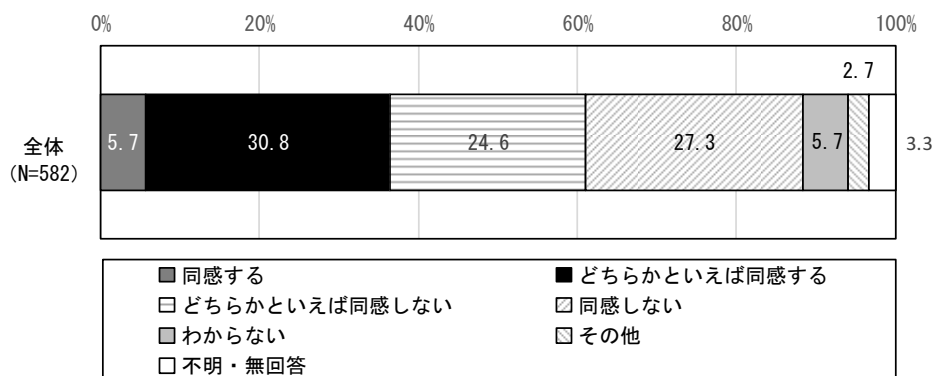
《「現状」における男女の役割分担》

	「主として男性の役割」と「どちらかといえば男性の役割」の合計	「主として女性の役割」と「どちらかといえば女性の役割」の合計
① 生活費をかせぐ	66.7	4.1
② 日々の家計の管理	11.2	62.9
③ 食事のしたく	2.1	77.5
④ 食事の後かたづけ	4.8	66.5
⑤ 掃除、洗濯	2.3	73.2
⑥ 日常の買い物	2.8	64.6
⑦ 介護の必要な高齢者・病人の世話	1.9	32.2
⑧ 子どもの教育・しつけ	0.7	44.5
⑨ 育児	0.0	60.1
⑩ 地域活動	27.0	25.1

2. 男女共同参画に関する考え方について

問 11 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、どう思うか。(SA)

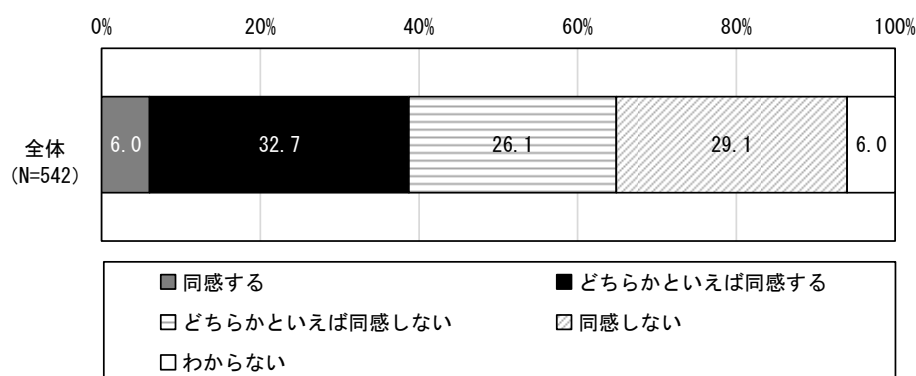
「どちらかといえば同感する」が30.8%と最も多く、次いで「同感しない」が27.3%、「どちらかといえば同感しない」が24.6%となっています。



肯定的意見（「同意する」と「どちらかといえば同感する」の合計）	36.5%
否定的意見（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）	51.9%

前回調査（平成26年実施）と基準を統一するために「その他」と「不明・無回答」を除いた割合をみると、「どちらかといえば同感する」が32.7%と最も多く、次いで「同感しない」が29.1%、「どちらかといえば同感しない」が28.1%となっています。

《「その他」と「不明・無回答」を除いた割合》



肯定的意見（「同意する」と「どちらかといえば同感する」の合計）	38.7%
否定的意見（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）	55.2%

【性年代別】

性年代別でみると、男性では20～29歳、60～69歳、70歳以上で「どちらかといえば同感する」が、30～39歳、50～59歳で「同感しない」が、40～49歳で「どちらかといえば同感する」と「どちらかといえば同感しない」がともに最も多くなっています。

女性では20～29歳、40～50歳代で「同感しない」が、30～39歳、60～69歳で「どちらかといえば同感しない」が、70歳以上で「どちらかといえば同感する」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	8.5	33.3	19.1	24.8	6.5	4.5	3.3
20～29歳 (N=17)	0.0	47.1	17.6	11.8	11.8	11.8	0.0
30～39歳 (N=31)	9.7	22.6	6.5	51.6	3.2	0.0	6.5
40～49歳 (N=43)	2.3	25.6	25.6	23.3	11.6	9.3	2.3
50～59歳 (N=45)	8.9	22.2	24.4	31.1	6.7	4.4	2.2
60～69歳 (N=52)	9.6	28.8	21.2	23.1	7.7	5.8	3.8
70歳以上 (N=58)	13.8	53.4	15.5	12.1	1.7	0.0	3.4

	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	3.1	28.1	29.6	29.0	5.2	1.5	3.4
20～29歳 (N=26)	3.8	26.9	23.1	34.6	3.8	7.7	0.0
30～39歳 (N=49)	2.0	22.4	32.7	30.6	8.2	0.0	4.1
40～49歳 (N=65)	3.1	20.0	27.7	38.5	4.6	3.1	3.1
50～59歳 (N=59)	0.0	18.6	28.8	40.7	8.5	0.0	3.4
60～69歳 (N=51)	2.0	29.4	35.3	27.5	2.0	2.0	2.0
70歳以上 (N=73)	6.8	46.6	27.4	9.6	4.1	0.0	5.5

	(%)
同感する	8.5
どちらかといえば同感する	33.3
どちらかといえば同感しない	19.1
同感しない	24.8
わからない	6.5
その他	4.5
不明・無回答	3.3

肯定的意見 41.8%

否定的意見 43.9%

	(%)
同感する	3.1
どちらかといえば同感する	28.1
どちらかといえば同感しない	29.6
同感しない	29.0
わからない	5.2
その他	1.5
不明・無回答	3.4

肯定的意見 31.2%

否定的意見 58.6%

【地区別】

地区別でみると、金勝では「どちらかといえば同感しない」が、葉山、葉山東、治田、治田東、治田西、大宝では「どちらかといえば同感する」が、大宝東では「同感しない」が、大宝西では「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」が最も多くなっています。

小学校区	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
金勝 (N=68)	11.8	16.2	32.4	26.5	5.9	5.9	1.5
葉山 (N=62)	6.5	38.7	19.4	29.0	3.2	1.6	1.6
葉山東 (N=64)	6.3	35.9	32.8	18.8	3.1	3.1	0.0
治田 (N=73)	2.7	32.9	19.2	30.1	6.8	5.5	2.7
治田東 (N=53)	7.5	26.4	24.5	22.6	11.3	0.0	7.5
治田西 (N=83)	1.2	37.3	20.5	30.1	4.8	1.2	4.8
大宝 (N=83)	8.4	31.3	24.1	22.9	4.8	2.4	6.0
大宝東 (N=37)	0.0	29.7	21.6	37.8	5.4	2.7	2.7
大宝西 (N=47)	2.1	23.4	31.9	31.9	8.5	2.1	0.0

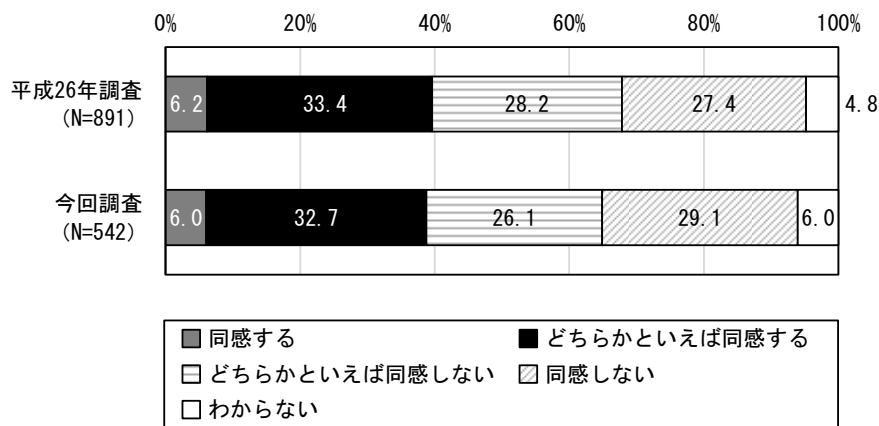
人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも「どちらかといえば同感する」が最も多くなっています。

(%)

	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	4.0	31.1	23.1	28.5	6.6	2.4	4.3
人口閑散地 (N=194)	8.2	29.9	28.4	24.7	4.1	3.6	1.0

【経年比較】

前回調査（平成26年実施）との比較でみると、「同感する」が0.2ポイント、「どちらかといえば同感する」が0.7ポイント、それぞれ減少しています。

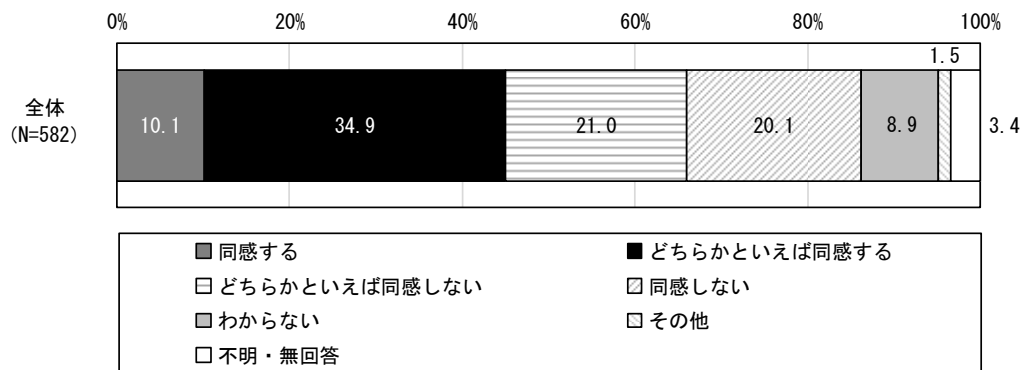


※前回調査と基準を統一するため、今回調査の結果は「その他」「不明・無回答」を除いた割合。

問 12 「女の子は女の子らしく、男の子は男の子らしく」という子どもの育て方について。

(SA)

「どちらかといえば同感する」が 34.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば同感しない」が 21.0%、「同感しない」が 20.1%となっています。



肯定的意見（「同感する」と「どちらかといえば同感する」の合計）	45.0%
否定的意見（「同感しない」と「どちらかといえば同感しない」の合計）	41.1%

【性年代別】

性年代別でみると、男性では 20～29 歳で「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」が、30～39 歳で「同感しない」が、40 歳代以上で「どちらかといえば同感する」が最も多くなっています。

女性では 20～30 歳代で「どちらかといえば同感しない」が、40 歳代以上で「どちらかといえば同感しない」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

	男性 (%)							女性 (%)						
	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	14.2	37.8	13.8	19.1	9.3	2.4	3.3	7.1	31.8	26.9	20.7	9.0	0.9	3.7
20～29歳 (N=17)	0.0	23.5	29.4	29.4	11.8	5.9	0.0	3.8	26.9	30.8	23.1	7.7	7.7	0.0
30～39歳 (N=31)	9.7	22.6	22.6	25.8	12.9	0.0	6.5	0.0	28.6	40.8	14.3	12.2	0.0	4.1
40～49歳 (N=43)	16.3	30.2	7.0	25.6	14.0	4.7	2.3	6.2	29.2	23.1	27.7	7.7	1.5	4.6
50～59歳 (N=45)	8.9	40.0	15.6	20.0	11.1	2.2	2.2	3.4	30.5	18.6	23.7	20.3	0.0	3.4
60～69歳 (N=52)	11.5	42.3	9.6	17.3	11.5	3.8	3.8	13.7	31.4	29.4	21.6	2.0	0.0	2.0
70歳以上 (N=58)	25.9	50.0	12.1	8.6	0.0	0.0	3.4	12.3	39.7	23.3	15.1	4.1	0.0	5.5

	(%)	
同感する	14.2	肯定的意見 52.0%
どちらかといえば同感する	37.8	
どちらかといえば同感しない	13.8	否定的意見 32.9%
同感しない	19.1	
わからない	9.3	
その他	2.4	
不明・無回答	3.3	

	(%)	
同感する	7.1	肯定的意見 38.9%
どちらかといえば同感する	31.8	
どちらかといえば同感しない	26.9	否定的意見 47.6%
同感しない	20.7	
わからない	9.0	
その他	0.9	
不明・無回答	3.7	

【地区別】

地区別でみると、葉山東を除くすべての地区で「どちらかといえば同感する」が、葉山東では「どちらかといえば同感しない」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
金勝 (N=68)	10.3	33.8	20.6	19.1	13.2	1.5	1.5
葉山 (N=62)	6.5	35.5	22.6	21.0	9.7	1.6	3.2
葉山東 (N=64)	14.1	28.1	29.7	17.2	7.8	1.6	1.6
治田 (N=73)	8.2	34.2	23.3	19.2	11.0	1.4	2.7
治田東 (N=53)	13.2	32.1	13.2	24.5	9.4	0.0	7.5
治田西 (N=83)	13.3	37.3	24.1	15.7	4.8	0.0	4.8
大宝 (N=83)	10.8	37.3	20.5	15.7	7.2	3.6	4.8
大宝東 (N=37)	0.0	37.8	16.2	27.0	13.5	2.7	2.7
大宝西 (N=47)	12.8	31.9	17.0	27.7	8.5	2.1	0.0

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも「どちらかといえば同感する」が最も多くなっています。

(%)

	同感する	どちらかといえば同感する	どちらかといえば同感しない	同感しない	わからない	その他	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	10.4	35.4	19.9	20.2	8.5	1.6	4.0
人口閑散地 (N=194)	10.3	32.5	24.2	19.1	10.3	1.5	2.1

問 13 次にあげるそれぞれの分野で、男女は平等になっていると思うか。(S A)

【①家庭生活で】

「どちらかといえば男性が優遇されている」が38.0%と最も多く、次いで「平等である」が34.9%、「男性が優遇されている」が9.8%となっています。

【②職場の中で】

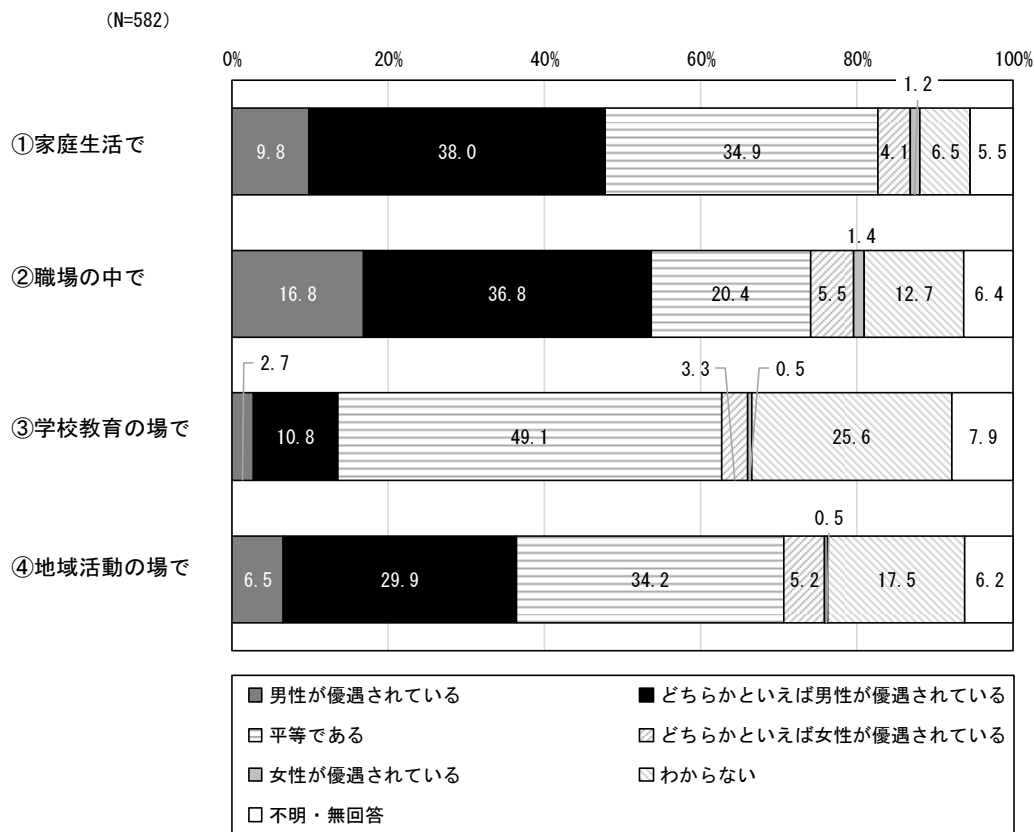
「どちらかといえば男性が優遇されている」が36.8と最も多く、次いで「平等である」が20.4%、「男性が優遇されている」が16.8%となっています。

【③学校教育の場で】

「平等である」が49.1%と最も多く、次いで「わからない」が25.6%、「どちらかといえば男性が優遇されている」が10.8%となっています。

【④地域活動の場で】

「平等である」が34.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が29.9%、「わからない」が17.5%となっています。



【⑤政治の場で】

「男性が優遇されている」が36.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性が優遇されている」が34.5%、「平等である」が11.5%となっています。

【⑥法律や制度のうえで】

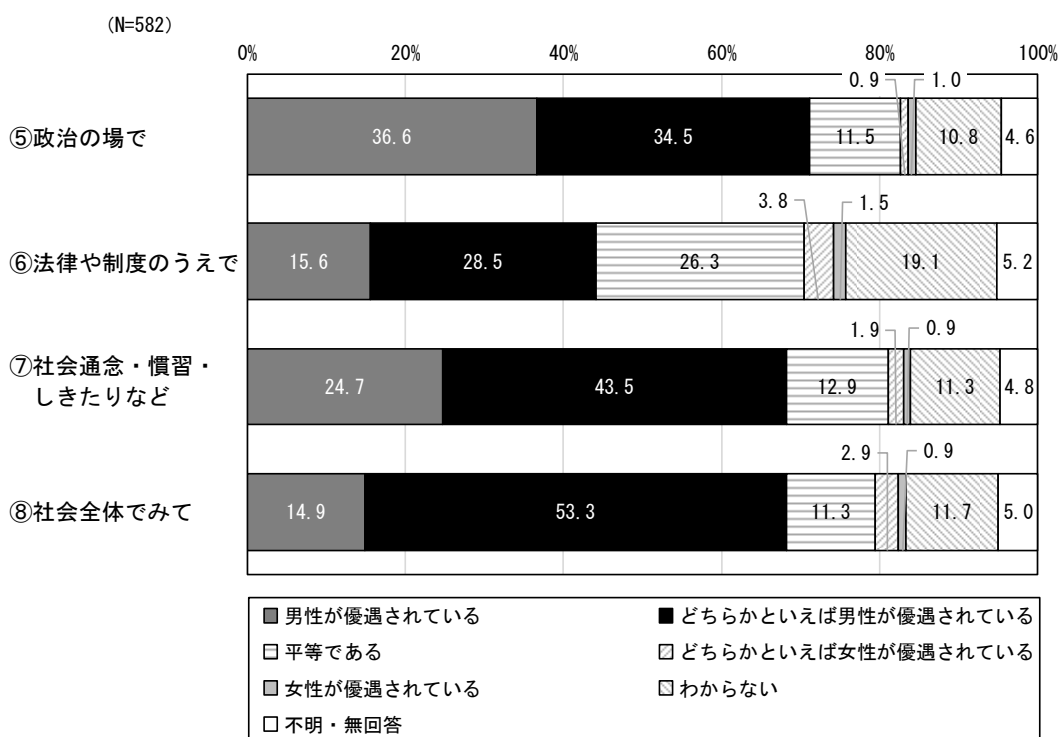
「どちらかといえば男性が優遇されている」が28.5%と最も高く、次いで「平等である」が26.3%、「わからない」が19.1%となっています。

【⑦社会通念・慣習・しきたりなど】

「どちらかといえば男性が優遇されている」が43.5%と最も高く、次いで「男性が優遇されている」が24.7%、「平等である」が12.9%となっています。

【⑧社会全体でみて】

「どちらかといえば男性が優遇されている」が53.3%と最も多く、次いで「男性が優遇されている」が14.9%、「わからない」が11.7%となっています。



①～⑧のすべての分野の中で、「平等である」が最も多かったのは、「③学校教育の場で」となっています。

「男性が優遇されている」が最も多かったのは、「⑤政治の場で」となっています。

「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」の合計が最も多かったのは、「⑤政治の場で」となっており、僅差で「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」と「⑧社会全体でみて」が続いています。

【性別】

性別でみると、男性では「①家庭生活で」「③学校教育の場で」「④地域活動の場で」「⑥法律や制度のうえで」において、「平等である」が最も多くなっています。「②職場の中で」「⑤政治の場で」「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」「⑧社会全体でみて」において、「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

(N=246)	男性が優遇 されている	どちらかとい えば男性 が優遇され ている	平等である	どちらかとい えば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	わからない	不明・ 無回答
① 家庭生活で	8.1	32.5	39.8	5.3	0.8	9.3	4.1
② 職場の中で	14.2	37.0	23.2	8.5	1.6	8.5	6.9
③ 学校教育の場で	2.8	7.3	51.6	5.3	0.8	24.0	8.1
④ 地域活動の場で	4.1	27.6	37.0	7.7	1.2	16.3	6.1
⑤ 政治の場で	28.5	37.4	17.1	0.8	1.6	11.0	3.7
⑥ 法律や制度のうえで	12.6	23.6	35.0	5.7	2.4	16.3	4.5
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど	22.4	43.1	16.7	2.8	1.6	9.3	4.1
⑧ 社会全体でみて	12.2	52.8	16.3	4.1	0.8	9.3	4.5

女性では「①家庭生活で」「②職場の中で」「④地域活動の場で」「⑥法律や制度のうえで」「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」「⑧社会全体でみて」において、「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。「③学校教育の場で」において、「平等である」が最も多くなっています。「⑤政治の場で」において、「男性が優遇されている」が最も多くなっています。

《女性》

(%)

(N=324)	男性が優遇 されている	どちらかとい えば男性 が優遇され ている	平等である	どちらかとい えば女性 が優遇され ている	女性が優遇 されている	わからない	不明・ 無回答
① 家庭生活で	11.4	42.0	30.6	3.4	1.2	4.6	6.8
② 職場の中で	19.1	37.0	17.9	3.1	0.9	15.7	6.2
③ 学校教育の場で	2.8	13.9	46.3	1.9	0.3	26.9	8.0
④ 地域活動の場で	8.6	32.1	30.6	3.4	0.0	18.8	6.5
⑤ 政治の場で	42.9	33.0	6.5	0.9	0.6	10.5	5.6
⑥ 法律や制度のうえで	18.5	33.0	18.2	2.2	0.9	21.3	5.9
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど	27.2	43.5	9.0	1.2	0.3	13.3	5.6
⑧ 社会全体でみて	17.6	52.8	7.1	2.2	0.9	13.9	5.6

【地区別】

地区別でみると、「①家庭生活で」において、金勝、治田、大宝西で「平等である」が最も多くなっています。（治田は「どちらかといえば男性が優遇されている」も同率1位） その他の地区では「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

「②職場の中で」において、すべての地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

《① 家庭生活で》

《② 職場の中で》

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	11.8	35.3	38.2	4.4	0.0	5.9	4.4
葉山 (N=62)	11.3	35.5	33.9	3.2	3.2	6.5	6.5
葉山東 (N=64)	14.1	37.5	35.9	3.1	0.0	6.3	3.1
治田 (N=73)	6.8	39.7	39.7	2.7	0.0	5.5	5.5
治田東 (N=53)	9.4	41.5	30.2	1.9	3.8	7.5	5.7
治田西 (N=83)	8.4	45.8	25.3	8.4	0.0	4.8	7.2
大宝 (N=83)	8.4	36.1	34.9	3.6	1.2	7.2	8.4
大宝東 (N=37)	8.1	37.8	35.1	2.7	0.0	10.8	5.4
大宝西 (N=47)	12.8	31.9	40.4	6.4	2.1	6.4	0.0

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	25.0	29.4	16.2	5.9	1.5	14.7	7.4
葉山 (N=62)	12.9	41.9	24.2	3.2	0.0	14.5	3.2
葉山東 (N=64)	17.2	40.6	18.8	6.3	0.0	12.5	4.7
治田 (N=73)	13.7	42.5	23.3	6.8	1.4	8.2	4.1
治田東 (N=53)	15.1	41.5	17.0	1.9	3.8	11.3	9.4
治田西 (N=83)	20.5	30.1	16.9	7.2	1.2	16.9	7.2
大宝 (N=83)	20.5	32.5	20.5	4.8	0.0	12.0	9.6
大宝東 (N=37)	10.8	40.5	27.0	5.4	2.7	5.4	8.1
大宝西 (N=47)	10.6	42.6	21.3	6.4	2.1	14.9	2.1

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	8.8	39.4	33.8	4.5	1.1	6.6	5.9
人口開散地 (N=194)	12.4	36.1	36.1	3.6	1.0	6.2	4.6

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	16.2	37.2	20.5	5.6	1.6	12.0	6.9
人口開散地 (N=194)	18.6	37.1	19.6	5.2	0.5	13.9	5.2

「③学校教育の場で」において、すべての地区で「平等である」が最も多くなっています。

「④地域活動の場で」において、葉山、葉山東、大宝東、大宝西で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。（葉山東と大宝西は「平等である」も同率1位）

《③ 学校教育の場で》

《④ 地域活動の場で》

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	2.9	7.4	51.5	5.9	1.5	22.1	8.8
葉山 (N=62)	4.8	6.5	53.2	1.6	0.0	21.0	12.9
葉山東 (N=64)	3.1	6.3	53.1	0.0	0.0	32.8	4.7
治田 (N=73)	2.7	8.2	56.2	6.8	0.0	20.5	5.5
治田東 (N=53)	3.8	18.9	37.7	1.9	1.9	30.2	5.7
治田西 (N=83)	3.6	13.3	45.8	6.0	0.0	22.9	8.4
大宝 (N=83)	0.0	12.0	44.6	3.6	0.0	28.9	10.8
大宝東 (N=37)	0.0	10.8	48.6	0.0	2.7	27.0	10.8
大宝西 (N=47)	4.3	17.0	51.1	0.0	0.0	25.5	2.1

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	8.8	26.5	29.4	5.9	0.0	23.5	5.9
葉山 (N=62)	9.7	38.7	25.8	3.2	0.0	11.3	11.3
葉山東 (N=64)	9.4	31.3	31.3	7.8	1.6	15.6	3.1
治田 (N=73)	4.1	31.5	34.2	9.6	1.4	15.1	4.1
治田東 (N=53)	5.7	26.4	39.6	1.9	1.9	15.1	9.4
治田西 (N=83)	8.4	26.5	34.9	4.8	0.0	20.5	4.8
大宝 (N=83)	2.4	24.1	39.8	2.4	0.0	20.5	10.8
大宝東 (N=37)	0.0	37.8	29.7	5.4	0.0	24.3	2.7
大宝西 (N=47)	10.6	36.2	36.2	6.4	0.0	10.6	0.0

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	2.4	13.0	47.3	3.7	0.5	25.5	7.4
人口開散地 (N=194)	3.6	6.7	52.6	2.6	0.5	25.3	8.8

(%)

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	5.3	29.3	36.2	5.1	0.5	17.8	5.9
人口開散地 (N=194)	9.3	32.0	28.9	5.7	0.5	17.0	6.7

「⑤政治の場で」において、金勝、葉山東、治田西、大宝、大宝東、大宝西で「男性が優遇されている」が最も多くなっています。(大宝は「どちらかといえば男性が優遇されている」も同率1位) 葉山、治田、治田東で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

「⑥法律や制度のうえで」において、治田、治田東、治田西、大宝、大宝東で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。金勝、葉山、葉山東、大宝西で「平等である」が最も多くなっています。

《⑤ 政治の場で》

《⑥ 法律や制度のうえで》

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	30.9	27.9	19.1	0.0	1.5	14.7	5.9
葉山 (N=62)	29.0	45.2	11.3	0.0	1.6	8.1	4.8
葉山東 (N=64)	40.6	29.7	15.6	1.6	0.0	10.9	1.6
治田 (N=73)	35.6	38.4	11.0	1.4	1.4	8.2	4.1
治田東 (N=53)	24.5	41.5	13.2	0.0	3.8	11.3	5.7
治田西 (N=83)	44.6	28.9	9.6	1.2	0.0	9.6	6.0
大宝 (N=83)	37.3	37.3	6.0	1.2	1.2	9.6	7.2
大宝東 (N=37)	43.2	32.4	5.4	2.7	0.0	13.5	2.7
大宝西 (N=47)	44.7	36.2	8.5	0.0	0.0	10.6	0.0

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	14.7	14.7	32.4	2.9	4.4	23.5	7.4
葉山 (N=62)	17.7	25.8	27.4	6.5	1.6	16.1	4.8
葉山東 (N=64)	15.6	23.4	35.9	6.3	0.0	17.2	1.6
治田 (N=73)	13.7	37.0	21.9	5.5	0.0	17.8	4.1
治田東 (N=53)	15.1	32.1	13.2	5.7	3.8	22.6	7.5
治田西 (N=83)	14.5	34.9	24.1	2.4	0.0	18.1	6.0
大宝 (N=83)	12.0	33.7	21.7	2.4	3.6	19.3	7.2
大宝東 (N=37)	13.5	32.4	27.0	0.0	0.0	21.6	5.4
大宝西 (N=47)	31.9	23.4	29.8	0.0	0.0	14.9	0.0

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	38.3	35.6	9.0	1.1	1.1	10.1	4.8
人口開散地 (N=194)	33.5	34.0	15.5	0.5	1.0	11.3	4.1

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	16.0	33.0	22.6	2.9	1.3	18.9	5.3
人口開散地 (N=194)	16.0	21.1	32.0	5.2	2.1	19.1	4.6

「⑦社会通念・慣習・しきたりなど」と「⑧社会全体でみて」において、いずれもすべての地区で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

《⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど》

《⑧ 社会全体でみて》

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	26.5	27.9	19.1	0.0	1.5	19.1	5.9
葉山 (N=62)	27.4	48.4	9.7	1.6	0.0	6.5	6.5
葉山東 (N=64)	23.4	45.3	10.9	9.4	0.0	9.4	1.6
治田 (N=73)	27.4	43.8	12.3	1.4	1.4	11.0	2.7
治田東 (N=53)	18.9	47.2	9.4	0.0	1.9	15.1	7.5
治田西 (N=83)	25.3	38.6	12.0	1.2	1.2	15.7	6.0
大宝 (N=83)	24.1	45.8	12.0	1.2	1.2	8.4	7.2
大宝東 (N=37)	29.7	48.6	8.1	2.7	0.0	8.1	2.7
大宝西 (N=47)	21.3	55.3	19.1	0.0	0.0	4.3	0.0

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	16.2	39.7	14.7	2.9	1.5	19.1	5.9
葉山 (N=62)	17.7	51.6	14.5	3.2	0.0	8.1	4.8
葉山東 (N=64)	12.5	56.3	10.9	4.7	0.0	14.1	1.6
治田 (N=73)	19.2	57.5	5.5	1.4	1.4	11.0	4.1
治田東 (N=53)	17.0	47.2	9.4	1.9	1.9	15.1	7.5
治田西 (N=83)	10.8	54.2	12.0	4.8	1.2	10.8	6.0
大宝 (N=83)	13.3	56.6	10.8	2.4	1.2	8.4	7.2
大宝東 (N=37)	10.8	62.2	8.1	5.4	0.0	10.8	2.7
大宝西 (N=47)	19.1	57.4	14.9	0.0	0.0	6.4	2.1

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	24.5	45.5	12.2	1.1	1.1	10.9	4.8
人口開散地 (N=194)	25.8	40.2	13.4	3.6	0.5	11.9	4.6

小学校区	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	14.9	55.6	10.1	2.7	1.1	10.4	5.3
人口開散地 (N=194)	15.5	49.0	13.4	3.6	0.5	13.9	4.1

人口密集地と人口閑散地との比較では、おおむね大きな差異はみられませんが、「④地域活動の場で」において、人口密集地で「平等である」が最も多く、人口閑散地で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

「⑤政治の場で」において、人口密集地で「男性が優遇されている」が最も多く、人口閑散地で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっていますが、その差はわずかなものとなっています。

「⑥法律や制度のうえで」において、人口密集地で「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多く、人口閑散地で「平等である」が最も多くなっています。

問 14 結婚についての次 (①~⑥) のような考え方をどう思うか。(S A)

【「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」について】

「賛成」が 42.8%と最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が 25.6%、「どちらかといえば反対」が 18.0%となっています。

【「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」について】

「賛成」が 36.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば賛成」が 22.0%、「どちらかといえば反対」が 20.8%となっています。

【「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」について】

「どちらかといえば賛成」が 50.7%と最も多く、次いで「賛成」が 19.1%、「どちらかといえば反対」が 12.9%となっています。

【「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」について】

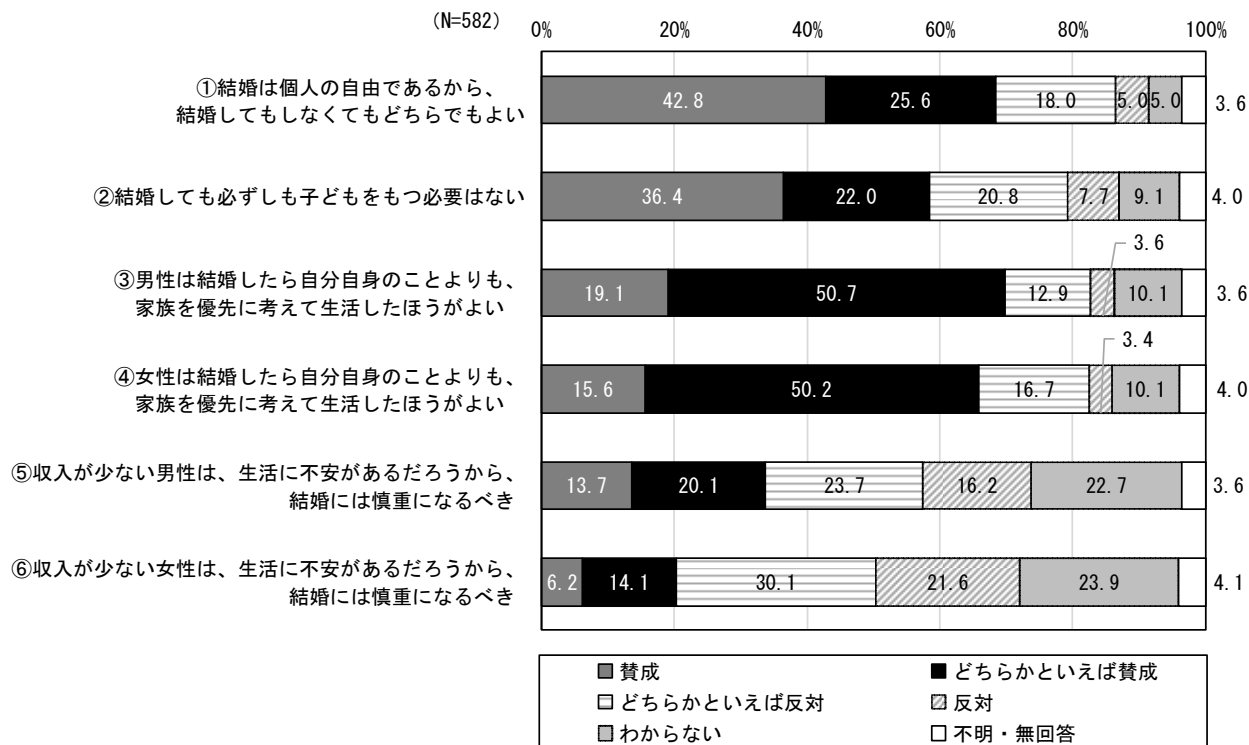
「どちらかといえば賛成」が 50.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば反対」が 16.7%、「賛成」が 15.6%となっています。

【「⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」について】

「どちらかといえば反対」が 23.7%と最も多く、次いで「わからない」が 22.7%、「どちらかといえば賛成」が 20.1%となっています。

【「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」について】

「どちらかといえば反対」が 30.1%と最も多く、次いで「わからない」が 23.9%、「反対」が 21.6%となっています。



【性別】

性別でみると、男性では「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」で、「賛成」が最も多くなっています。

「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」で、「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。

「⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」で、「どちらかといえば反対」が最も多くなっています。

《男性》

	(%)						
	(N=246)	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明・無回答
① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい		37.0	24.0	22.0	8.1	6.1	2.8
② 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない		29.3	20.3	24.0	10.6	11.8	4.1
③ 男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい		20.7	52.4	12.6	4.9	5.3	4.1
④ 女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい		17.5	48.4	15.4	4.5	9.3	4.9
⑤ 収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき		15.4	20.7	23.2	16.7	20.3	3.7
⑥ 収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき		6.1	14.2	29.7	22.4	23.2	4.5

女性では「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」で、「賛成」が最も多くなっています。

「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」で、「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。

「⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」で、「わからない」が最も多くなっています。

「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」で、「どちらかといえば反対」が最も多くなっています。

《女性》

	(%)						
	(N=324)	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	不明・無回答
① 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい		47.8	26.2	14.8	2.5	4.3	4.3
② 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない		42.3	23.8	17.3	5.6	7.1	4.0
③ 男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい		17.9	49.1	13.0	2.8	13.9	3.4
④ 女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい		13.9	51.2	17.9	2.8	10.8	3.4
⑤ 収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき		12.0	19.8	23.8	15.4	25.3	3.7
⑥ 収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき		5.9	14.2	30.2	20.4	25.3	4.0

【地区別】

地区別でみると、「①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」において、すべての地区で「賛成」が最も多くなっています。

「②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」において、大宝、大宝東を除くすべての地区で「賛成」が最も多くなっています。大宝、大宝東では「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。

《①結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	41.2	26.5	14.7	8.8	5.9	2.9
葉山 (N=62)	43.5	30.6	16.1	3.2	4.8	1.6
葉山東 (N=64)	39.1	28.1	26.6	3.1	3.1	0.0
治田 (N=73)	41.1	20.5	24.7	4.1	6.8	2.7
治田東 (N=53)	47.2	24.5	15.1	3.8	3.8	5.7
治田西 (N=83)	47.0	24.1	14.5	2.4	7.2	4.8
大宝 (N=83)	33.7	28.9	18.1	7.2	4.8	7.2
大宝東 (N=37)	48.6	18.9	21.6	5.4	0.0	5.4
大宝西 (N=47)	55.3	23.4	10.6	6.4	4.3	0.0

《②結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	42.6	22.1	16.2	7.4	5.9	5.9
葉山 (N=62)	37.1	19.4	21.0	6.5	14.5	1.6
葉山東 (N=64)	32.8	26.6	25.0	7.8	7.8	0.0
治田 (N=73)	32.9	23.3	15.1	9.6	13.7	5.5
治田東 (N=53)	37.7	13.2	26.4	11.3	5.7	5.7
治田西 (N=83)	39.8	19.3	20.5	8.4	7.2	4.8
大宝 (N=83)	26.5	28.9	24.1	7.2	8.4	4.8
大宝東 (N=37)	29.7	35.1	16.2	2.7	10.8	5.4
大宝西 (N=47)	53.2	10.6	21.3	6.4	8.5	0.0

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	44.1	23.9	17.6	4.8	5.1	4.5
人口閑散地 (N=194)	41.2	28.4	19.1	5.2	4.6	1.5

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	35.9	21.8	20.7	8.0	9.0	4.5
人口閑散地 (N=194)	37.6	22.7	20.6	7.2	9.3	2.6

「③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」において、すべての地区で「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。

「④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい」において、すべての地区で「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。

《③男性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	20.6	54.4	10.3	2.9	8.8	2.9
葉山 (N=62)	19.4	54.8	6.5	3.2	12.9	3.2
葉山東 (N=64)	20.3	48.4	20.3	4.7	6.3	0.0
治田 (N=73)	13.7	52.1	13.7	5.5	11.0	4.1
治田東 (N=53)	26.4	45.3	18.9	1.9	1.9	5.7
治田西 (N=83)	21.7	47.0	12.0	2.4	12.0	4.8
大宝 (N=83)	18.1	48.2	10.8	2.4	15.7	4.8
大宝東 (N=37)	8.1	59.5	16.2	5.4	5.4	5.4
大宝西 (N=47)	21.3	51.1	10.6	6.4	10.6	0.0

《④女性は結婚したら自分自身のことよりも、家族を優先に考えて生活したほうがよい》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	20.6	45.6	17.6	4.4	8.8	2.9
葉山 (N=62)	14.5	51.6	14.5	3.2	14.5	1.6
葉山東 (N=64)	12.5	54.7	23.4	4.7	4.7	0.0
治田 (N=73)	12.3	57.5	13.7	2.7	8.2	5.5
治田東 (N=53)	22.6	49.1	15.1	3.8	3.8	5.7
治田西 (N=83)	19.3	39.8	20.5	1.2	12.0	7.2
大宝 (N=83)	13.3	48.2	14.5	3.6	15.7	4.8
大宝東 (N=37)	2.7	56.8	21.6	5.4	8.1	5.4
大宝西 (N=47)	19.1	55.3	10.6	4.3	10.6	0.0

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	18.6	49.7	13.3	3.7	10.4	4.3
人口閑散地 (N=194)	20.1	52.6	12.4	3.6	9.3	2.1

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	15.4	50.0	16.0	3.2	10.4	5.1
人口閑散地 (N=194)	16.0	50.5	18.6	4.1	9.3	1.5

⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」において、金勝、葉山、治田、大宝東で「わからない」が最も多くなっています。(治田は「どちらかといえば反対」も同率1位) 葉山東、治田東で「どちらかといえば賛成」が最も多くなっています。治田西、大宝、大宝西で「どちらかといえば反対」が最も多くなっています。

「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」において、金勝、葉山、大宝東で「わからない」が最も多くなっています。葉山東、治田、治田東、治田西、大宝、大宝西で「どちらかといえば反対」が最も多くなっています。

《⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	19.1	19.1	13.2	16.2	29.4	2.9
葉山 (N=62)	14.5	25.8	17.7	12.9	27.4	1.6
葉山東 (N=64)	10.9	25.0	20.3	23.4	18.8	1.6
治田 (N=73)	12.3	16.4	26.0	15.1	26.0	4.1
治田東 (N=53)	13.2	24.5	22.6	11.3	22.6	5.7
治田西 (N=83)	12.0	21.7	26.5	16.9	18.1	4.8
大宝 (N=83)	15.7	16.9	26.5	15.7	20.5	4.8
大宝東 (N=37)	5.4	18.9	29.7	5.4	35.1	5.4
大宝西 (N=47)	19.1	12.8	31.9	23.4	12.8	0.0

《⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき》

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
金勝 (N=68)	8.8	17.6	19.1	22.1	27.9	4.4
葉山 (N=62)	4.8	16.1	24.2	16.1	37.1	1.6
葉山東 (N=64)	7.8	9.4	32.8	26.6	21.9	1.6
治田 (N=73)	4.1	9.6	32.9	26.0	21.9	5.5
治田東 (N=53)	11.3	20.8	26.4	15.1	20.8	5.7
治田西 (N=83)	3.6	13.3	32.5	25.3	19.3	6.0
大宝 (N=83)	6.0	15.7	30.1	20.5	22.9	4.8
大宝東 (N=37)	5.4	10.8	35.1	5.4	37.8	5.4
大宝西 (N=47)	6.4	17.0	38.3	25.5	12.8	0.0

(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	13.3	18.6	26.9	15.2	21.8	4.3
人口閑散地 (N=194)	14.9	23.2	17.0	17.5	25.3	2.1

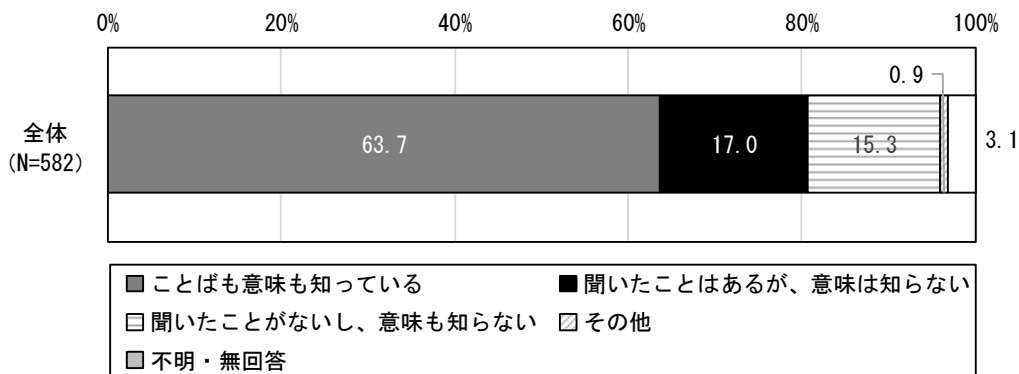
(%)

小学校区	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	わから ない	不明・ 無回答
人口密集地 (N=370)	5.9	14.4	32.2	21.0	21.8	4.8
人口閑散地 (N=194)	7.2	14.4	25.3	21.6	28.9	2.6

人口密集地と人口閑散地との比較では、おおむね大きな差異はみられませんが、「⑤収入が少ない男性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」と「⑥収入が少ない女性は、生活に不安があるだろうから、結婚には慎重になるべき」において、人口密集地で「どちらかといえば反対」が、人口閑散地で「わからない」がそれぞれ最も多くなっています。

問 15 LGBTということばを知っているか。(SA)

「ことばも意味も知っている」が63.7と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らない」が17.0%、「聞いたことがないし、意味も知らない」が15.3%となっています。



【性別】

性別で見ると、男女とも「ことばも意味も知っている」が最も多くなっています。ただし70歳以上では、男女とも「ことばも意味も知っている」が3割台となっています。

《男性》

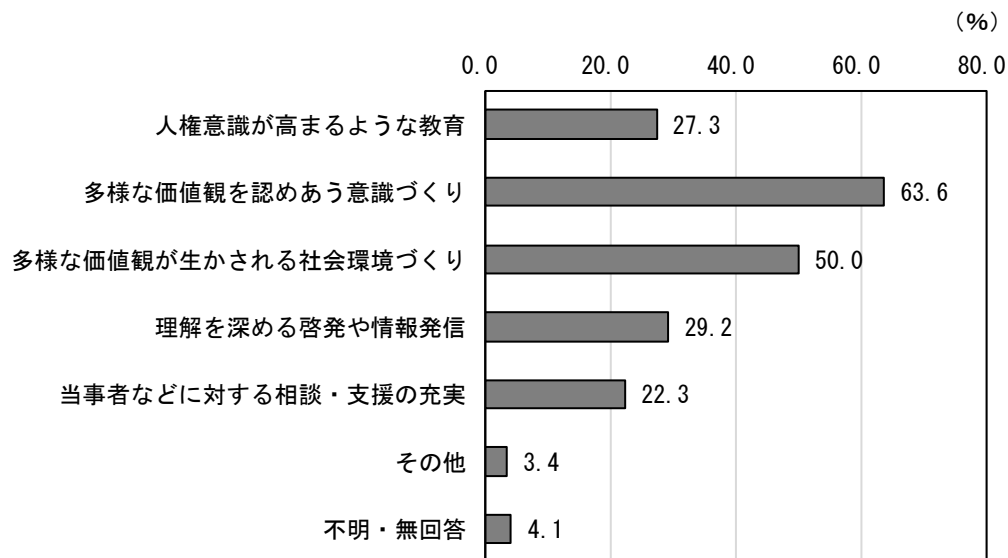
《女性》

	ことばも意味も知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがないし、意味も知らない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	63.0	18.3	15.4	0.8	2.4
20～29歳 (N=17)	64.7	23.5	11.8	0.0	0.0
30～39歳 (N=31)	83.9	6.5	9.7	0.0	0.0
40～49歳 (N=43)	79.1	7.0	9.3	2.3	2.3
50～59歳 (N=45)	77.8	13.3	6.7	0.0	2.2
60～69歳 (N=52)	51.9	25.0	19.2	0.0	3.8
70歳以上 (N=58)	37.9	29.3	27.6	1.7	3.4

	ことばも意味も知っている	聞いたことはあるが、意味は知らない	聞いたことがないし、意味も知らない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	65.4	16.0	14.2	0.9	3.4
20～29歳 (N=26)	73.1	11.5	15.4	0.0	0.0
30～39歳 (N=49)	77.6	8.2	12.2	0.0	2.0
40～49歳 (N=65)	76.9	10.8	12.3	0.0	0.0
50～59歳 (N=59)	76.3	10.2	10.2	0.0	3.4
60～69歳 (N=51)	62.7	13.7	15.7	2.0	5.9
70歳以上 (N=73)	37.0	34.2	19.2	2.7	6.8

問 16 LGBTなどの人が住みやすい社会にするためには、なにが必要だと思うか。(MA)

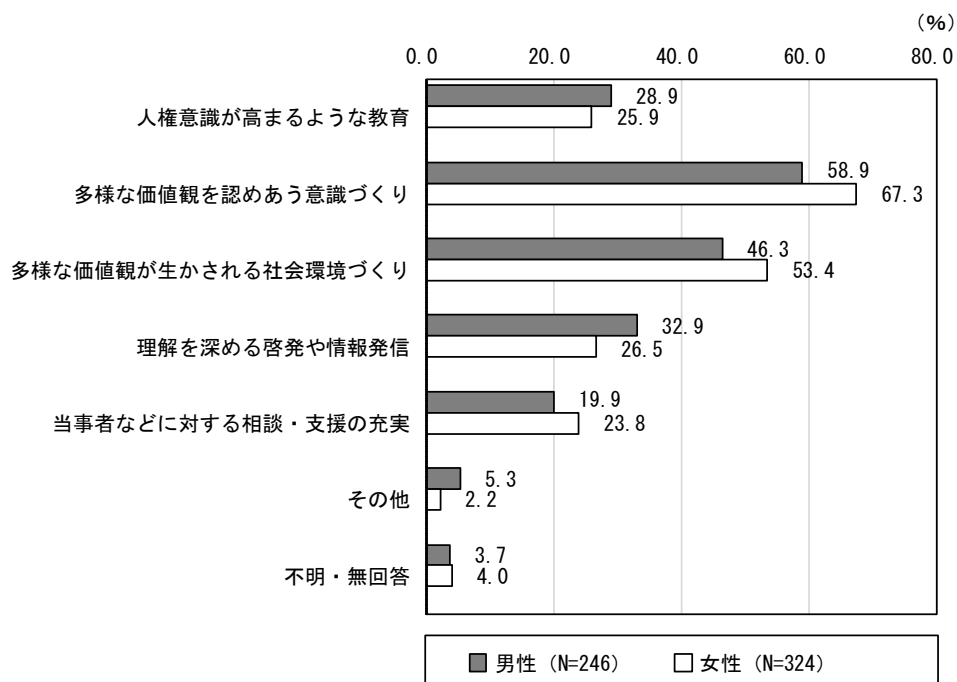
「多様な価値観を認めあう意識づくり」が63.6%と最も多く、次いで「多様な価値観が活かされる社会環境づくり」が50.0%、「理解を深める啓発や情報発信」が29.2%となっています。



【性別】

性別でみると、男性では「多様な価値観を認めあう意識づくり」が58.9%と最も多く、次いで「多様な価値観が活かされる社会環境づくり」が46.3%、「理解を深める啓発や情報発信」が32.9%となっています。

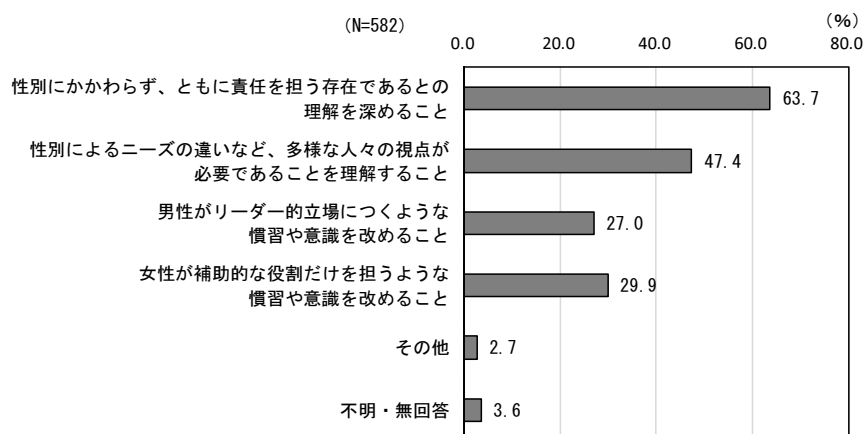
女性では「多様な価値観を認めあう意識づくり」が67.3%と最も多く、次いで「多様な価値観が活かされる社会環境づくり」が53.4%、「理解を深める啓発や情報発信」が26.5%となっています。



3. 防災など、地域活動について

問17 様々な場において、方針決定の場で女性が活躍するために重要なこと。(MA)

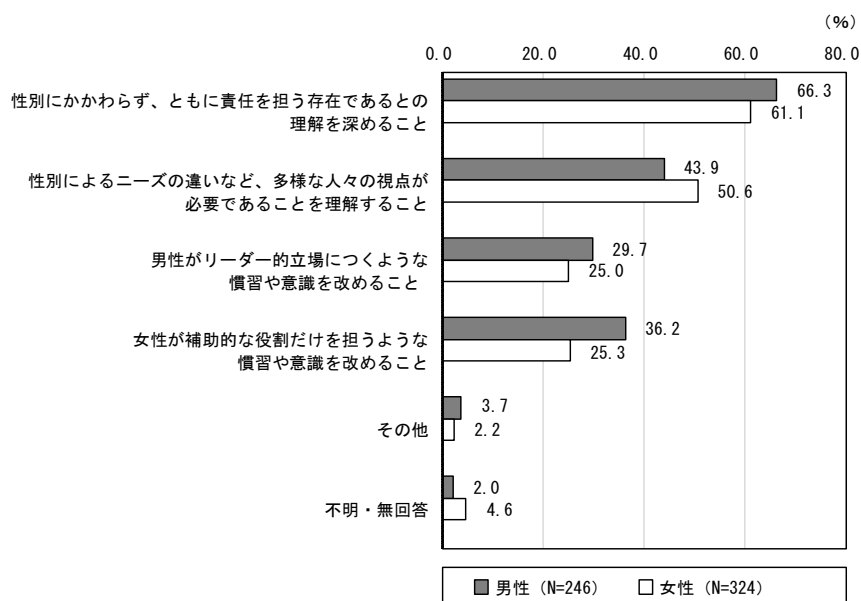
「性別にかかわらず、ともに責任を担う存在であるとの理解を深めること」が63.7%と最も多く、次いで「性別によるニーズの違いなど、多様な人々の視点が必要であることを理解すること」が47.4%、「女性が補助的な役割だけを担うような慣習や意識を改めること」が29.9%となっています。



【性別】

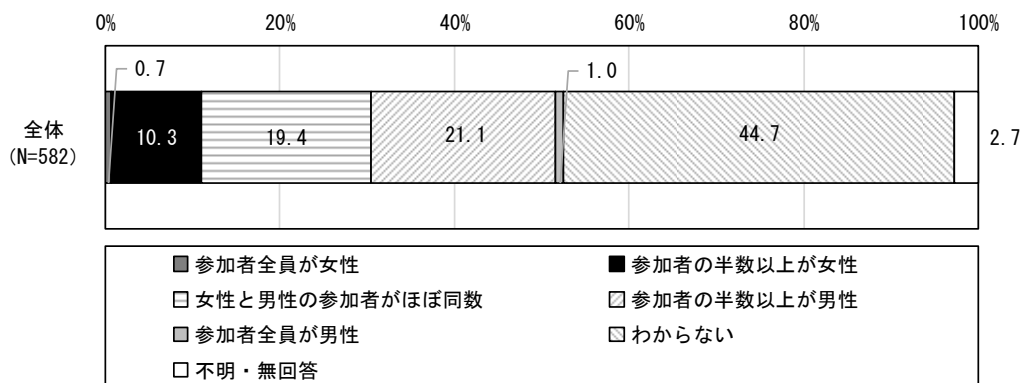
性別でみると、男性では「性別にかかわらず、ともに責任を担う存在であるとの理解を深めること」が66.3%と最も多く、次いで「性別によるニーズの違いなど、多様な人々の視点が必要であることを理解すること」が43.9%、「女性が補助的な役割だけを担うような慣習や意識を改めること」が36.2%となっています。

女性では「性別にかかわらず、ともに責任を担う存在であるとの理解を深めること」が61.1%と最も多く、次いで「性別によるニーズの違いなど、多様な人々の視点が必要であることを理解すること」が50.6%、「女性が補助的な役割だけを担うような慣習や意識を改めること」が25.3%となっています。



問 18 地域や自主防災組織などで防災について話しあい、決定する時、女性はどの程度参加しているか。(SA)

「わからない」が44.7%と最も多く、次いで「参加者の半数以上が男性」が21.1%、「女性と男性の参加者がほぼ同数」が19.4%となっています。



【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「わからない」が最も多くなっています。「わからない」を除いてみると、金勝、治田東、大宝で「女性と男性の参加者がほぼ同数」が最も多くなっています。葉山、葉山東、治田、治田西、大宝東、大宝西で「参加者の半数以上が男性」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	参加者全員が女性	参加者の半数以上が女性	女性と男性の参加者がほぼ同数	参加者の半数以上が男性	参加者全員が男性	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	0.0	11.8	22.1	19.1	1.5	44.1	1.5
葉山 (N=62)	0.0	11.3	16.1	27.4	0.0	41.9	3.2
葉山東 (N=64)	0.0	9.4	17.2	23.4	1.6	45.3	3.1
治田 (N=73)	1.4	8.2	17.8	23.3	1.4	45.2	2.7
治田東 (N=53)	0.0	13.2	24.5	18.9	0.0	39.6	3.8
治田西 (N=83)	1.2	9.6	16.9	19.3	1.2	48.2	3.6
大宝 (N=83)	1.2	12.0	21.7	14.5	2.4	47.0	1.2
大宝東 (N=37)	0.0	8.1	16.2	27.0	0.0	48.6	0.0
大宝西 (N=47)	2.1	10.6	21.3	25.5	0.0	36.2	4.3

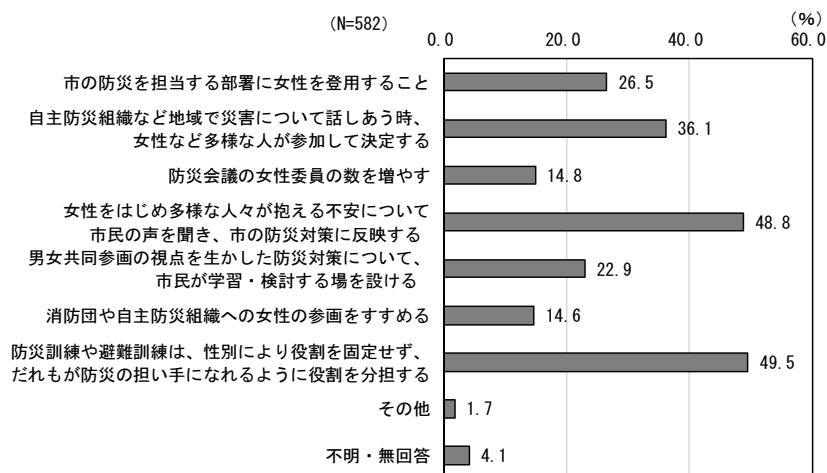
人口密集地と人口閑散地との比較では、いずれの地域も「わからない」が最も多くなっています。「わからない」を除いてみると、いずれの地域も「参加者の半数以上が男性」が最も多くなっています。

(%)

	参加者全員が女性	参加者の半数以上が女性	女性と男性の参加者がほぼ同数	参加者の半数以上が男性	参加者全員が男性	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	1.1	10.4	19.7	20.5	1.1	44.7	2.7
人口閑散地 (N=194)	0.0	10.8	18.6	23.2	1.0	43.8	2.6

問 19 男女共同参画の観点から、災害の備えで特に重要だと思うのはどれか。(MA)

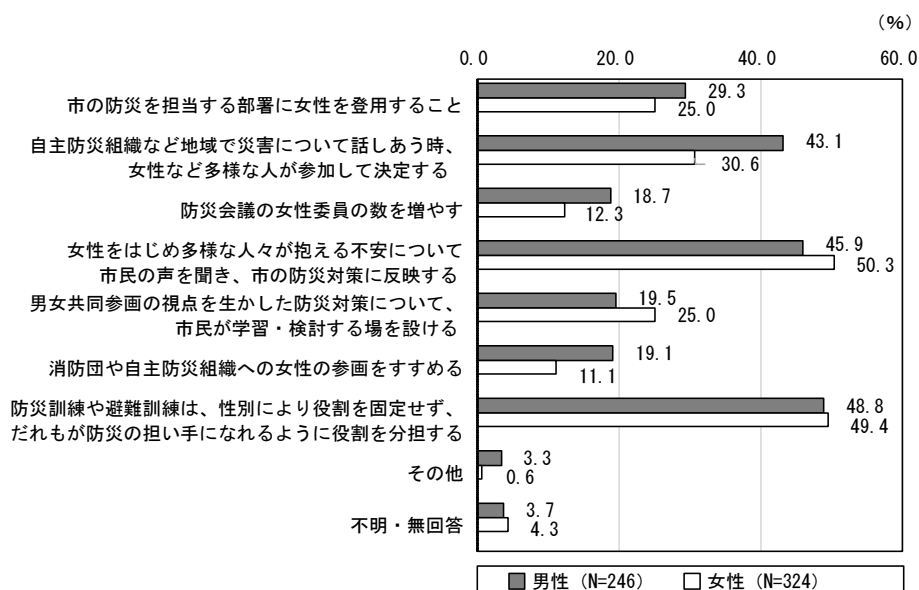
「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が49.5%と最も多く、次いで「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が48.8%、「自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する」が36.1%となっています。



【性別】

性別でみると、男性では「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が48.8%と最も多く、次いで「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が45.9%、「自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する」が43.1%となっています。

女性では「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が50.3%と最も多く、次いで「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が49.4%、「自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する」が30.6%となっています。



【地区別】

地区別でみると、金勝、葉山、治田東、大宝東、大宝西で「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が最も多くなっています。葉山東、治田、治田西、大宝で「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	市の防災を担当する部署に女性を登用すること	自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する	防災会議（防災計画をつくったり実施したりする市の組織）の女性委員の数を増やす	女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する	男女共同参画の視点を生かした防災対策について、市民が学習・検討する場を設ける	消防団や自主防災組織への女性の参画をすすめる	防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する	その他	不明・無回答
金勝 (N=68)	41.2	27.9	22.1	39.7	23.5	13.2	47.1	2.9	1.5
葉山 (N=62)	22.6	41.9	3.2	46.8	29.0	12.9	54.8	1.6	1.6
葉山東 (N=64)	25.0	40.6	18.8	48.4	15.6	12.5	46.9	1.6	6.3
治田 (N=73)	26.0	38.4	9.6	57.5	17.8	19.2	56.2	1.4	2.7
治田東 (N=53)	24.5	28.3	11.3	35.8	30.2	9.4	45.3	1.9	5.7
治田西 (N=83)	27.7	39.8	15.7	56.6	19.3	12.0	54.2	1.2	4.8
大宝 (N=83)	28.9	33.7	16.9	54.2	22.9	15.7	44.6	2.4	0.0
大宝東 (N=37)	18.9	37.8	21.6	40.5	29.7	21.6	45.9	2.7	5.4
大宝西 (N=47)	21.3	40.4	19.1	42.6	21.3	17.0	46.8	0.0	10.6

人口密集地と人口閑散地との比較では、人口密集地で「女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する」が、人口閑散地で「防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する」が、それぞれ最も多くなっています。

(%)

	市の防災を担当する部署に女性を登用すること	自主防災組織など地域で災害について話しあう時、女性など多様な人が参加して決定する	防災会議（防災計画をつくったり実施したりする市の組織）の女性委員の数を増やす	女性をはじめ多様な人々が抱える不安について市民の声を聞き、市の防災対策に反映する	男女共同参画の視点を生かした防災対策について、市民が学習・検討する場を設ける	消防団や自主防災組織への女性の参画をすすめる	防災訓練や避難訓練は、性別により役割を固定せず、だれもが防災の担い手になれるように役割を分担する
人口密集地 (N=376)	25.5	36.4	15.2	50.0	22.6	15.4	49.5
人口閑散地 (N=194)	29.9	36.6	14.9	44.8	22.7	12.9	49.5

問 20 万一の災害時の、避難所運営における男女などの役割について。(S A)

【①避難所全体の運営に関する決定】

「性別で区別しない方がよい」が78.9%と最も多く、次いで「主として男性がする方がよい」が17.2%、「主として女性がする方がよい」が1.4%となっています。

【②困りごとなどへの対応】

「性別で区別しない方がよい」が78.0%、「主として女性がする方がよい」が16.0%、「主として男性がする方がよい」が3.1%となっています。

【③支援物資の配給の仕方の決定】

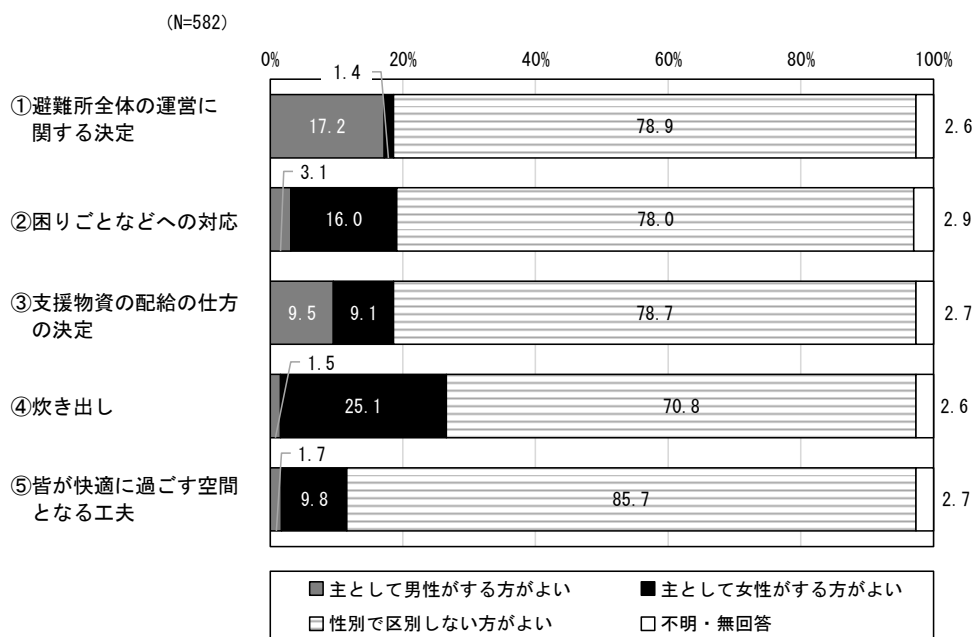
「性別で区別しない方がよい」が78.7%、「主として男性がする方がよい」が9.5%、「主として女性がする方がよい」が9.1%となっています。

【④炊き出し】

「性別で区別しない方がよい」が70.8%と最も多く、次いで「主として女性がする方がよい」が25.1%、「主として男性がする方がよい」が1.5%となっています。

【⑤皆が快適に過ごす空間となる工夫】

「性別で区別しない方がよい」が85.7%と最も多く、「主として女性がする方がよい」が9.8%、「主として男性がする方がよい」が1.7%となっています。



①～⑤のすべての分野で、「性別で区別しない方がよい」が最も多くなっています。

「①避難所全体の運営に関する決定」と「③支援物資の配給の仕方の決定」では、「主として男性がする方がよい」が「主として女性がする方がよい」を上回っています。

「②困りごとなどへの対応」と「④炊き出し」「⑤皆が快適に過ごす空間となる工夫」では、「主として女性がする方がよい」が「主として男性がする方がよい」を上回っています。

【性別】

性別で見ると、男女ともすべての項目で「性別で区別しない方がよい」が最も多くなっています。「④炊き出し」においては、男女とも「主として女性がする方がよい」が2割を超えています。

《男性》

(%)

(N=246)	主として男性がする方がよい	主として女性がする方がよい	性別で区別しない方がよい	不明・無回答
① 避難所全体の運営に関する決定	14.6	3.3	80.1	2.0
② 困りごとなどへの対応	5.3	14.2	77.6	2.8
③ 支援物資の配給の仕方の決定	9.8	8.1	79.7	2.4
④ 炊き出し	1.6	24.8	71.5	2.0
⑤ 皆が快適に過ごす空間となる工夫	1.6	10.6	85.8	2.0

《女性》

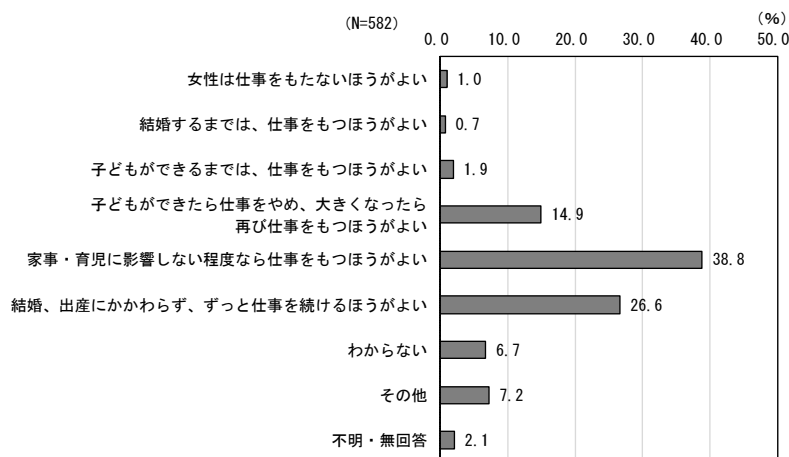
(%)

(N=324)	主として男性がする方がよい	主として女性がする方がよい	性別で区別しない方がよい	不明・無回答
① 避難所全体の運営に関する決定	18.5	0.0	78.7	2.8
② 困りごとなどへの対応	1.5	17.3	78.4	2.8
③ 支援物資の配給の仕方の決定	9.0	9.9	78.4	2.8
④ 炊き出し	1.5	25.0	70.7	2.8
⑤ 皆が快適に過ごす空間となる工夫	1.9	9.6	85.5	3.1

4. 仕事と生活について

問 21 女性が仕事をもつことについての考え。(SA)

「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が 38.8%と最も多く、次いで「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」が 26.6%、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい」が 14.9%となっています。



【性年代別】

性別でみると、男性ではすべての年代で「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が最も多くなっています。

女性では 50 歳代を除くすべての年代で「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が最も多くなっています。50 歳代では「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」が最も多くなっています。

《男性》

	女性は仕事をもたないほうがよい	結婚するまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい	家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい	結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	1.6	0.8	2.4	17.1	40.7	21.1	7.3	7.7	1.2
20～29歳 (N=17)	0.0	0.0	0.0	29.4	35.3	17.6	11.8	5.9	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	3.2	3.2	38.7	35.5	0.0	19.4	0.0
40～49歳 (N=43)	0.0	0.0	0.0	14.0	39.5	23.3	14.0	7.0	2.3
50～59歳 (N=45)	2.2	0.0	0.0	13.3	35.6	26.7	11.1	8.9	2.2
60～69歳 (N=52)	5.8	0.0	3.8	15.4	42.3	17.3	5.8	7.7	1.9
70歳以上 (N=58)	0.0	3.4	5.2	27.6	46.6	12.1	3.4	1.7	0.0

《女性》

	女性は仕事をもたないほうがよい	結婚するまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい	家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい	結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	0.6	0.6	1.5	12.7	37.7	31.2	6.5	6.8	2.5
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	0.0	7.7	50.0	26.9	3.8	11.5	0.0
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	2.0	10.2	36.7	30.6	10.2	8.2	2.0
40～49歳 (N=65)	1.5	0.0	0.0	10.8	41.5	30.8	6.2	9.2	0.0
50～59歳 (N=59)	0.0	0.0	1.7	3.4	20.3	52.5	6.8	10.2	5.1
60～69歳 (N=51)	0.0	0.0	0.0	21.6	41.2	29.4	2.0	5.9	0.0
70歳以上 (N=73)	0.0	2.7	4.1	19.2	42.5	17.8	8.2	0.0	5.5

【地区別】

地区別でみると、大宝西を除くすべての地区で「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が最も多くなっています。大宝西では「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	女性は仕事をもたないほうがよい	結婚するまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい	家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい	結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい	わからない	その他	不明・無回答
金勝 (N=68)	0.0	1.5	1.5	13.2	44.1	22.1	8.8	7.4	1.5
葉山 (N=62)	0.0	0.0	6.5	12.9	41.9	21.0	8.1	9.7	0.0
葉山東 (N=64)	0.0	1.6	0.0	14.1	42.2	26.6	4.7	9.4	1.6
治田 (N=73)	0.0	1.4	1.4	17.8	38.4	23.3	8.2	6.8	2.7
治田東 (N=53)	1.9	0.0	0.0	17.0	35.8	30.2	3.8	5.7	5.7
治田西 (N=83)	1.2	0.0	2.4	19.3	41.0	26.5	4.8	3.6	1.2
大宝 (N=83)	3.6	1.2	1.2	13.3	33.7	32.5	7.2	6.0	1.2
大宝東 (N=37)	0.0	0.0	0.0	5.4	48.6	24.3	8.1	13.5	0.0
大宝西 (N=47)	2.1	0.0	4.3	14.9	29.8	34.0	4.3	6.4	4.3

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも「家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が最も多くなっています。

(%)

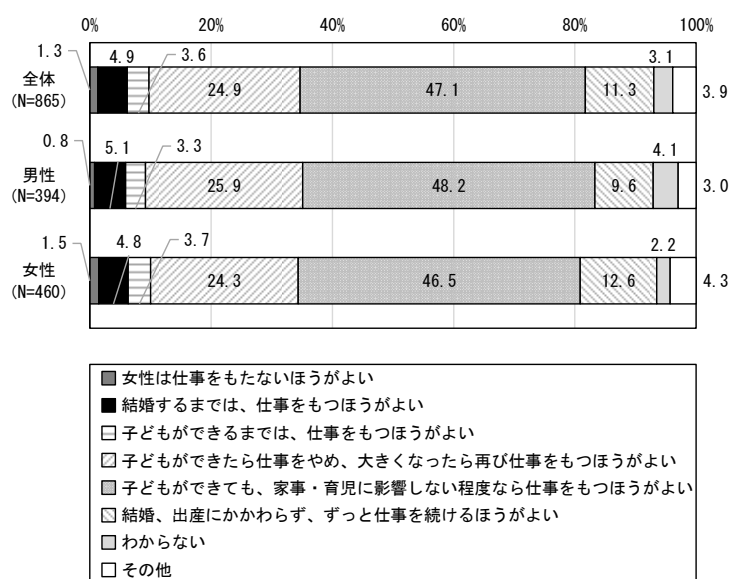
	女性は仕事をもたないほうがよい	結婚するまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい	子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい	家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい	結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい	わからない	その他	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	1.6	0.5	1.6	15.4	37.5	28.5	6.1	6.4	2.4
人口閑散地 (N=194)	0.0	1.0	2.6	13.4	42.8	23.2	7.2	8.8	1.0

【経年比較】

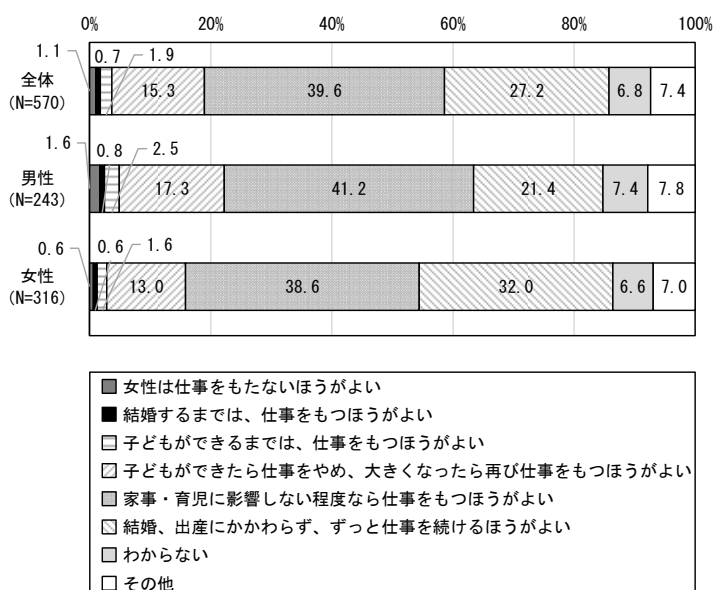
前回調査（平成 26 年実施）との比較でみると、全体では「女性は仕事をもたないほうがよい」が 0.2 ポイント、「結婚するまでは、仕事をもつほうがよい」が 4.2 ポイント、「子どもができるまでは、仕事をもつほうがよい」が 1.7 ポイント、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつほうがよい」9.6 ポイント、「子どもができて（も）家事・育児に影響しない程度なら仕事をもつほうがよい」が 7.5 ポイント、それぞれ減少しています。「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」が 15.9 ポイント増加しています。

男性よりも女性の方が、「結婚、出産にかかわらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の伸び率が大きくなっています。

《平成 26 年調査》

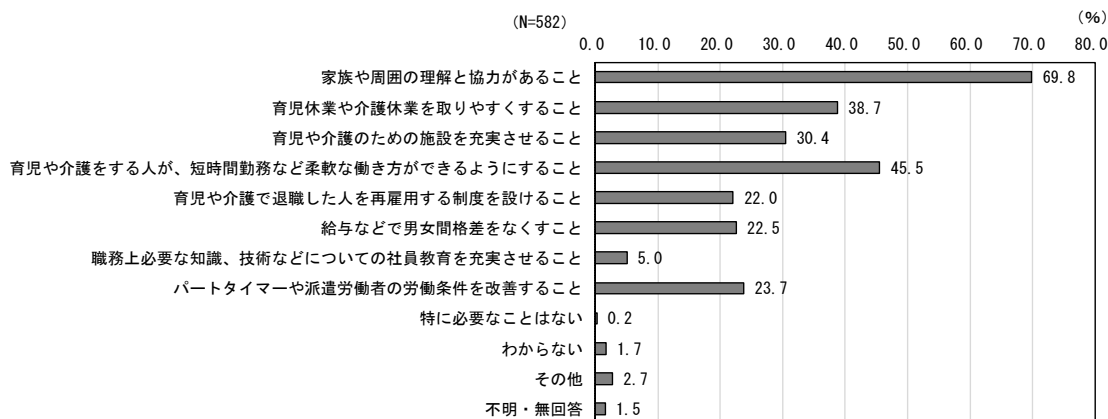


《今回調査》



問 22 女性が仕事を続けていくためには、必要だと思うこと。(MA)

「家族や周囲の理解と協力があること」が 69.8%と最も多く、次いで「育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること」が 45.5%、「育児休業や介護休業を取りやすくすること」が 38.7%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性では 20～29 歳で「育児休業や介護休業を取りやすくすること」が、30～39 歳で「育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること」が、40 歳代以上では「家族や周囲の理解と協力があること」が最も多くなっています。

女性ではすべての年代で「家族や周囲の理解と協力があること」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	家族や周囲の理解と協力があること	育児休業や介護休業を取りやすくすること	育児や介護のための施設を充実させること	育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること	育児や介護で退職した人を再雇用する制度を設けること	給与などで男女間格差をなくすこと	職務上必要な知識、技術などについての社員教育を充実させること	パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること	特に必要なことはない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	65.0	40.7	28.9	43.1	22.8	26.4	4.9	17.9	0.4	2.8	3.3	0.8
20～29歳 (N=17)	41.2	58.8	29.4	29.4	23.5	47.1	5.9	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0
30～39歳 (N=31)	64.5	48.4	25.8	71.0	29.0	19.4	6.5	9.7	0.0	0.0	6.5	0.0
40～49歳 (N=43)	67.4	20.9	16.3	37.2	20.9	27.9	7.0	23.3	2.3	4.7	7.0	2.3
50～59歳 (N=45)	57.8	37.8	24.4	35.6	22.2	33.3	4.4	20.0	0.0	4.4	6.7	0.0
60～69歳 (N=52)	67.3	42.3	40.4	36.5	19.2	17.3	1.9	17.3	0.0	1.9	0.0	1.9
70歳以上 (N=58)	74.1	46.6	32.8	48.3	24.1	25.9	5.2	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《女性》

(%)

	家族や周囲の理解と協力があること	育児休業や介護休業を取りやすくすること	育児や介護のための施設を充実させること	育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること	育児や介護で退職した人を再雇用する制度を設けること	給与などで男女間格差をなくすこと	職務上必要な知識、技術などについての社員教育を充実させること	パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること	特に必要なことはない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	73.5	36.7	31.5	48.5	21.6	19.4	4.9	28.1	0.0	0.9	2.5	1.9
20～29歳 (N=26)	57.7	50.0	19.2	34.6	15.4	34.6	0.0	26.9	0.0	3.8	11.5	0.0
30～39歳 (N=49)	75.5	26.5	40.8	61.2	16.3	14.3	4.1	26.5	0.0	2.0	2.0	2.0
40～49歳 (N=65)	73.8	43.1	32.3	47.7	13.8	24.6	4.6	24.6	0.0	1.5	4.6	0.0
50～59歳 (N=59)	79.7	39.0	40.7	44.1	20.3	18.6	1.7	22.0	0.0	0.0	0.0	3.4
60～69歳 (N=51)	58.8	39.2	29.4	56.9	31.4	21.6	9.8	37.3	0.0	0.0	2.0	0.0
70歳以上 (N=73)	82.2	30.1	23.3	43.8	28.8	12.3	6.8	31.5	0.0	0.0	0.0	4.1

【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「家族や周囲の理解と協力があること」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	家族や周囲の理解と協力があること	育児休業や介護休業を取りやすくすること	育児や介護のための施設を充実させること	育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること	育児や介護で退職した人を再雇用する制度を設けること	給与などで男女間格差をなくすこと	職務上必要な知識、技術などについての社員教育を充実させること	パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること	特に必要なことはない	わからない	その他	不明・無回答
金勝 (N=68)	72.1	27.9	26.5	29.4	22.1	26.5	7.4	22.1	0.0	1.5	7.4	1.5
葉山 (N=62)	77.4	33.9	30.6	54.8	14.5	19.4	6.5	25.8	0.0	0.0	1.6	0.0
葉山東 (N=64)	54.7	45.3	25.0	40.6	26.6	23.4	7.8	15.6	1.6	1.6	7.8	1.6
治田 (N=73)	72.6	53.4	34.2	45.2	13.7	20.5	6.8	24.7	0.0	4.1	1.4	0.0
治田東 (N=53)	71.7	37.7	32.1	41.5	41.5	22.6	1.9	20.8	0.0	0.0	0.0	3.8
治田西 (N=83)	65.1	34.9	27.7	50.6	27.7	16.9	4.8	31.3	0.0	1.2	1.2	2.4
大宝 (N=83)	73.5	39.8	31.3	53.0	18.1	28.9	1.2	28.9	0.0	0.0	1.2	0.0
大宝東 (N=37)	67.6	35.1	43.2	48.6	16.2	18.9	2.7	16.2	0.0	5.4	2.7	0.0
大宝西 (N=47)	76.6	34.0	25.5	48.9	23.4	25.5	4.3	23.4	0.0	2.1	2.1	4.3

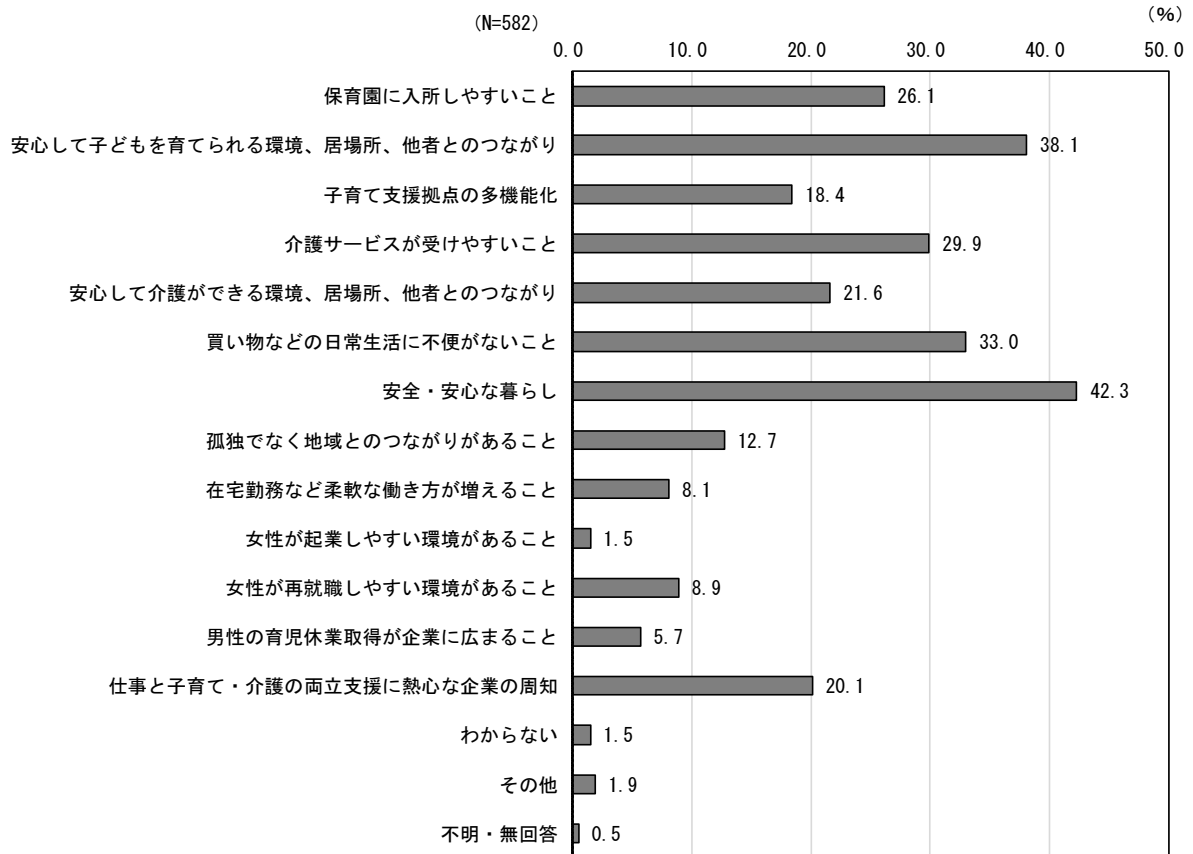
人口密集地と人口閑散地との比較でみると、いずれの地域とも「家族や周囲の理解と協力があること」が最も多くなっています。

(%)

	家族や周囲の理解と協力があること	育児休業や介護休業を取りやすくすること	育児や介護のための施設を充実させること	育児や介護をする人が、短時間勤務など柔軟な働き方ができるようにすること	育児や介護で退職した人を再雇用する制度を設けること	給与などで男女間格差をなくすこと	職務上必要な知識、技術などについての社員教育を充実させること	パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること	特に必要なことはない	わからない	その他	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	71.0	39.9	31.6	48.4	23.1	22.3	3.7	25.5	0.0	1.9	1.3	1.6
人口閑散地 (N=194)	68.0	35.6	27.3	41.2	21.1	23.2	7.2	21.1	0.5	1.0	5.7	1.0

問 23 性別に関係なく、仕事も生活も大切にしながら栗東市に住み続けたいと感じるために必要だと思うこと。(MA)

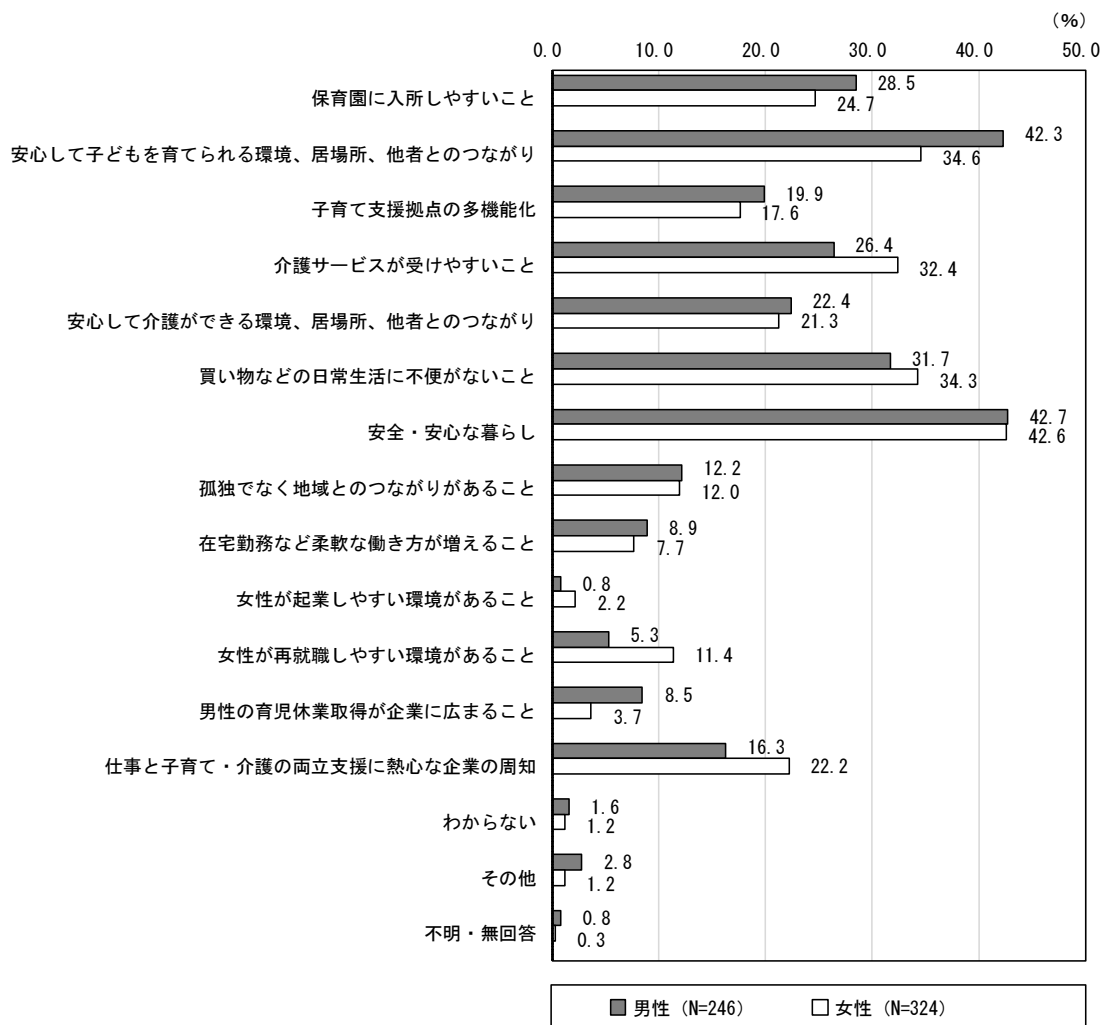
「安全・安心な暮らし」が42.3%と最も多く、次いで「安心して子どもを育てられる環境、居場所、他者とのつながり」が38.1%、「買い物などの日常生活に不便がないこと」が33.0%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性では「安全・安心な暮らし」が42.7%と最も多く、次いで「安心して子どもを育てられる環境、居場所、他者とのつながり」が42.3%、「買い物などの日常生活に不便がないこと」が31.7%となっています。

女性では「安全・安心な暮らし」が42.6%と最も多く、次いで「安心して子どもを育てられる環境、居場所、他者とのつながり」が34.6%、「買い物などの日常生活に不便がないこと」が34.3%となっています。



問 24 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、希望と現実（現状）に最も近いもの。（SA）

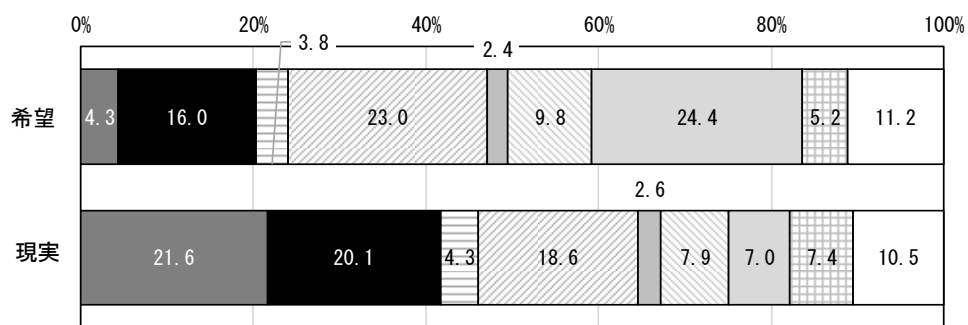
【希望】

「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が 24.4%と最も多く、次いで「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が 23.0%、「『家庭生活』を優先したい」が 16.0%となっています。

【現実】

「『仕事』を優先している」が 21.6%と最も多く、次いで「『家庭生活』を優先している」が 20.1%、「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が 18.6%となっています。

(N=582)



- 「仕事」を優先したい（している）
- 「家庭生活」を優先したい（している）
- 「地域・個人の生活」を優先したい（している）
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい（している）
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい（している）
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい（している）
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい（している）
- わからない
- 不明・無回答

【性年代別】

性年代別でみると、男性の希望では20～50歳代で「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が最も多くなっています。60～69歳で「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が最も多くなっています。70歳以上では「『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が最も多くなっています。

現状では20歳代～60歳代で「『仕事』を優先している」が最も多くなっています。（30～39歳では「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」も同率1位）70歳以上で「『家庭生活』を優先している」が最も多くなっています。

《男性 希望》

(%)

	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	6.1	14.6	4.5	26.4	2.4	8.1	22.0	4.5	11.4
20～29歳 (N=17)	11.8	11.8	5.9	47.1	0.0	0.0	11.8	5.9	5.9
30～39歳 (N=31)	6.5	16.1	0.0	41.9	3.2	3.2	25.8	0.0	3.2
40～49歳 (N=43)	4.7	20.9	2.3	30.2	2.3	0.0	25.6	4.7	9.3
50～59歳 (N=45)	4.4	8.9	6.7	31.1	6.7	8.9	15.6	8.9	8.9
60～69歳 (N=52)	3.8	17.3	1.9	19.2	1.9	3.8	26.9	3.8	21.2
70歳以上 (N=58)	8.6	12.1	8.6	12.1	0.0	22.4	20.7	3.4	12.1

《男性 現状》

(%)

	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	35.0	12.2	4.5	17.9	2.8	5.3	6.1	5.7	10.6
20～29歳 (N=17)	35.3	5.9	5.9	17.6	5.9	0.0	5.9	17.6	5.9
30～39歳 (N=31)	32.3	9.7	0.0	32.3	3.2	6.5	6.5	3.2	6.5
40～49歳 (N=43)	65.1	2.3	0.0	16.3	2.3	0.0	2.3	4.7	7.0
50～59歳 (N=45)	46.7	6.7	2.2	22.2	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
60～69歳 (N=52)	23.1	13.5	5.8	17.3	1.9	3.8	9.6	5.8	19.2
70歳以上 (N=58)	15.5	25.9	10.3	8.6	1.7	12.1	6.9	5.2	13.8

女性の希望では20～29歳で「『仕事』と『家庭生活』をともに優先したい」が最も多くなっています。30～50歳代、70歳以上で「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先したい」が最も多くなっています。60～69歳で「『家庭生活』を優先したい」が最も多くなっています。

現状では20～40歳代、70歳以上で「『家庭生活』を優先している」が最も多くなっています。50～59歳で「『仕事』と『家庭生活』をともに優先している」が最も多くなっています。60～69歳で「『仕事』と『家庭生活』と『地域・個人の生活』をともに優先している」が最も多くなっています。

《女性 希望》

(%)

	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	2.8	17.6	3.4	20.7	2.5	11.4	25.6	5.6	10.5
20～29歳 (N=26)	0.0	23.1	0.0	42.3	0.0	7.7	15.4	7.7	3.8
30～39歳 (N=49)	0.0	18.4	0.0	32.7	2.0	8.2	36.7	2.0	0.0
40～49歳 (N=65)	3.1	23.1	1.5	26.2	0.0	9.2	27.7	3.1	6.2
50～59歳 (N=59)	3.4	15.3	3.4	22.0	6.8	8.5	30.5	5.1	5.1
60～69歳 (N=51)	5.9	19.6	5.9	11.8	3.9	19.6	17.6	3.9	11.8
70歳以上 (N=73)	2.7	11.0	6.8	5.5	1.4	13.7	21.9	9.6	27.4

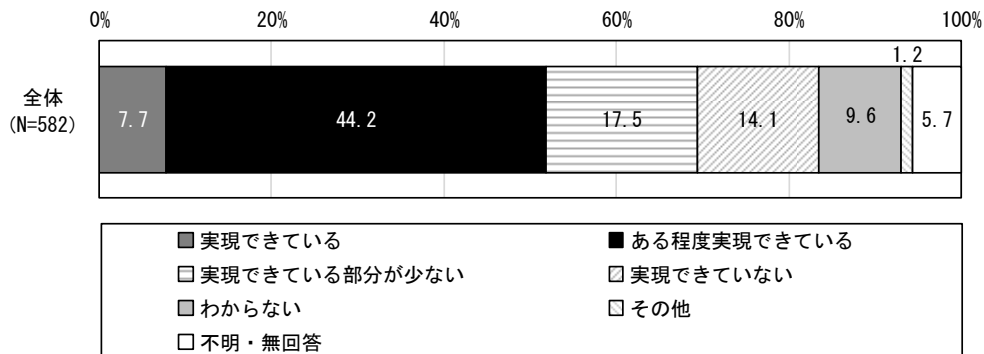
《女性 現状》

(%)

	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	12.0	26.5	3.7	19.1	2.2	10.2	7.4	9.0	9.9
20～29歳 (N=26)	19.2	26.9	7.7	23.1	0.0	0.0	0.0	19.2	3.8
30～39歳 (N=49)	14.3	34.7	0.0	30.6	4.1	4.1	8.2	4.1	0.0
40～49歳 (N=65)	9.2	38.5	1.5	23.1	0.0	4.6	9.2	6.2	7.7
50～59歳 (N=59)	22.0	15.3	0.0	28.8	3.4	8.5	10.2	10.2	1.7
60～69歳 (N=51)	9.8	23.5	2.0	11.8	3.9	27.5	7.8	3.9	9.8
70歳以上 (N=73)	4.1	21.9	11.0	4.1	1.4	12.3	5.5	12.3	27.4

問 25 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が実現できていると思うか。(S A)

「ある程度実現できている」が 44.2%と最も多く、次いで「実現できている部分が少ない」が 17.5%、「実現できていない」が 14.1%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性では 40 歳代を除くすべての年代で「ある程度実現できている」が最も多くなっています。40 歳代では「実現できている部分が少ない」が最も多くなっています。

女性ではすべての年代で「ある程度実現できている」が最も多くなっています。

《男性》

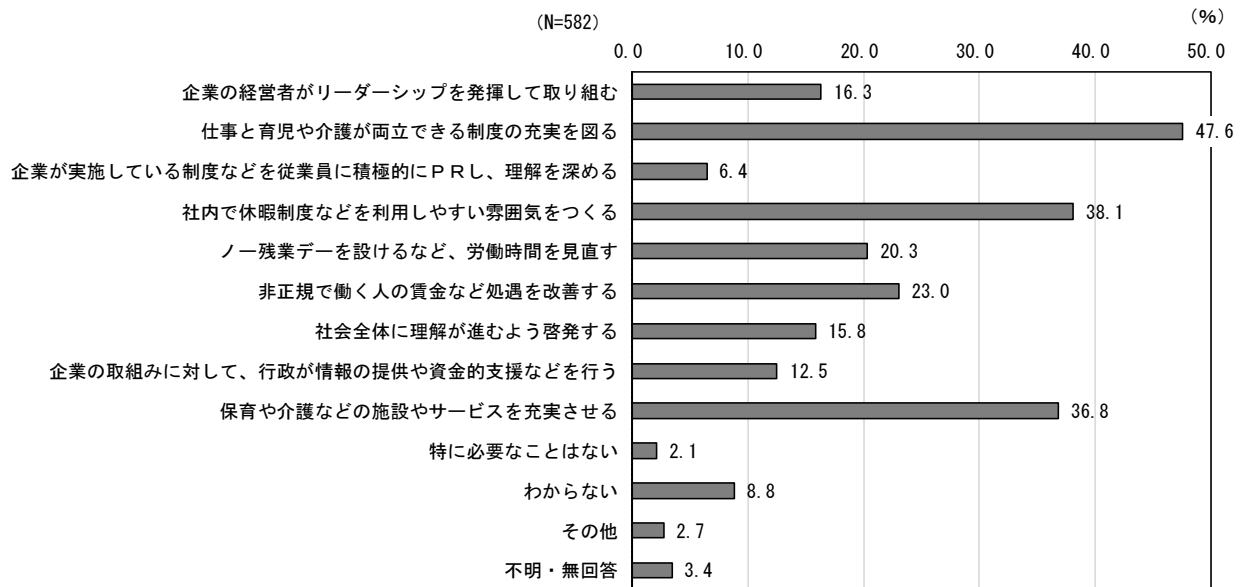
	(%)						
	実現できている	ある程度実現できている	実現できている部分が少ない	実現できていない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	6.5	41.1	23.2	13.4	8.9	0.4	6.5
20~29歳 (N=17)	0.0	41.2	35.3	0.0	23.5	0.0	0.0
30~39歳 (N=31)	3.2	58.1	29.0	3.2	3.2	0.0	3.2
40~49歳 (N=43)	4.7	23.3	37.2	25.6	7.0	0.0	2.3
50~59歳 (N=45)	11.1	33.3	26.7	15.6	11.1	0.0	2.2
60~69歳 (N=52)	5.8	53.8	17.3	7.7	5.8	0.0	9.6
70歳以上 (N=58)	8.6	39.7	8.6	17.2	10.3	1.7	13.8

《女性》

	(%)						
	実現できている	ある程度実現できている	実現できている部分が少ない	実現できていない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	8.6	46.0	13.9	14.2	10.2	1.9	5.2
20~29歳 (N=26)	7.7	38.5	15.4	19.2	19.2	0.0	0.0
30~39歳 (N=49)	8.2	40.8	14.3	24.5	12.2	0.0	0.0
40~49歳 (N=65)	7.7	61.5	13.8	7.7	7.7	0.0	1.5
50~59歳 (N=59)	11.9	47.5	15.3	11.9	10.2	0.0	3.4
60~69歳 (N=51)	5.9	43.1	21.6	15.7	2.0	5.9	5.9
70歳以上 (N=73)	8.2	39.7	6.8	12.3	13.7	4.1	15.1

問 26 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を推進するために、どのような取り組みが必要だと思うか。(MA)

「仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る」が47.6と最も多く、次いで「社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる」が38.1%、「保育や介護などの施設やサービスを充実させる」が36.8%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性では20～50歳代で「社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる」が、60歳代以上で「仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る」が最も多くなっています。

女性では20～40歳代、70歳以上で「仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る」が、50～59歳で「社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる」が、60～69歳で「保育や介護などの施設やサービスを充実させる」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	企業の経営者がリーダーシップを発揮して取り組む	仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る	企業が実施している制度などを従業員に積極的にPRし、理解を深める	社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる	ノー残業デーを設けるなど、労働時間を見直す	非正規で働く人の賃金など処遇を改善する	社会全体に理解が進むよう啓発する	企業の取組みに対して、行政が情報の提供や資金的支援などを行う	保育や介護などの施設やサービスを充実させる	特に必要はない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	23.2	41.9	11.4	39.4	19.5	20.7	19.5	15.4	27.2	3.3	7.3	4.9	2.4
20～29歳 (N=17)	5.9	23.5	5.9	52.9	35.3	5.9	29.4	17.6	17.6	0.0	17.6	11.8	0.0
30～39歳 (N=31)	22.6	48.4	6.5	54.8	29.0	12.9	22.6	9.7	29.0	6.5	0.0	6.5	3.2
40～49歳 (N=43)	39.5	32.6	0.0	48.8	18.6	14.0	14.0	18.6	23.3	2.3	4.7	7.0	0.0
50～59歳 (N=45)	37.8	33.3	17.8	42.2	13.3	15.6	22.2	22.2	15.6	6.7	4.4	4.4	2.2
60～69歳 (N=52)	15.4	55.8	11.5	26.9	15.4	26.9	13.5	7.7	42.3	1.9	9.6	3.8	3.8
70歳以上 (N=58)	12.1	44.8	19.0	29.3	19.0	32.8	22.4	17.2	27.6	1.7	10.3	1.7	3.4

《女性》

(%)

	企業の経営者がリーダーシップを発揮して取り組む	仕事と育児や介護が両立できる制度の充実を図る	企業が実施している制度などを従業員に積極的にPRし、理解を深める	社内で休暇制度などを利用しやすい雰囲気をつくる	ノー残業デーを設けるなど、労働時間を見直す	非正規で働く人の賃金など処遇を改善する	社会全体に理解が進むよう啓発する	企業の取組みに対して、行政が情報の提供や資金的支援などを行う	保育や介護などの施設やサービスを充実させる	特に必要はない	わからない	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	11.1	51.9	2.5	37.7	21.3	24.7	13.0	10.5	42.9	1.2	10.2	1.2	4.0
20～29歳 (N=26)	7.7	57.7	11.5	50.0	30.8	11.5	11.5	15.4	23.1	0.0	11.5	0.0	0.0
30～39歳 (N=49)	12.2	65.3	2.0	44.9	24.5	20.4	8.2	10.2	53.1	2.0	4.1	4.1	0.0
40～49歳 (N=65)	13.8	61.5	1.5	40.0	24.6	26.2	12.3	12.3	47.7	1.5	3.1	1.5	0.0
50～59歳 (N=59)	11.9	42.4	1.7	50.8	16.9	35.6	13.6	13.6	32.2	0.0	5.1	0.0	1.7
60～69歳 (N=51)	11.8	47.1	0.0	35.3	21.6	23.5	15.7	5.9	52.9	0.0	15.7	2.0	3.9
70歳以上 (N=73)	8.2	43.8	2.7	17.8	16.4	23.3	15.1	8.2	41.1	2.7	19.2	0.0	13.7

5. 男女間の迷惑行為について

問 27 次の①～③について、自分自身が被害に遭ったり、身近に見聞きしたことがあるか。(S A)

【①セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）】

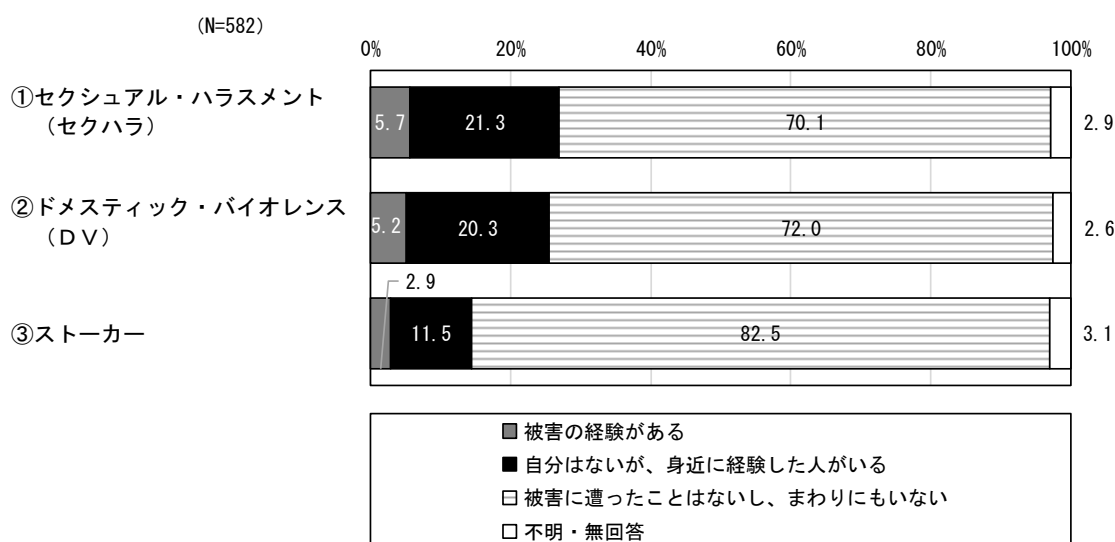
「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が70.1%と最も多く、次いで「自分はないが、身近に経験した人がいる」が21.3%、「被害の経験がある」が5.7%となっています。

【②ドメスティック・バイオレンス（DV）】

「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が72.0%と最も多く、次いで「自分はないが、身近に経験した人がいる」が20.3%、「被害の経験がある」が5.2%となっています。

【③ストーカー】

「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が82.5%と最も多く、次いで「自分はないが、身近に経験した人がいる」が11.5%、「被害の経験がある」が2.9%となっています。



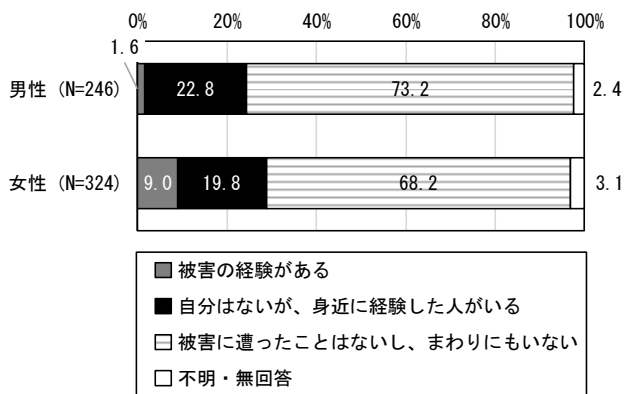
《性別》

性別では、「①セクシュアル・ハラスメント」において、男女とも「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が最も多くなっています。「被害の経験がある」は男性で1.6%、女性で9.0%となっています。

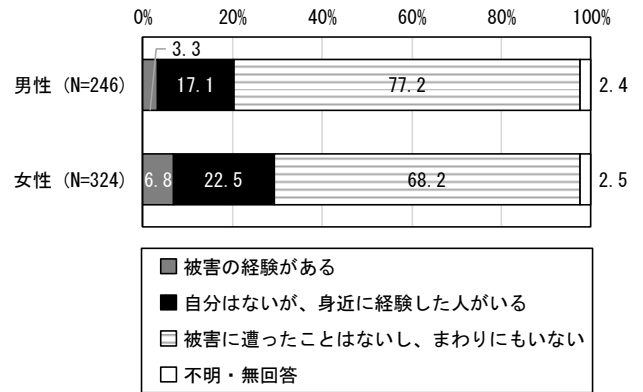
「②ドメスティック・バイオレンス」において、男女とも「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が最も多くなっています。「被害の経験がある」は男性で3.3%、女性で6.8%となっています。

「③ストーカー」において、男女とも「被害に遭ったことはないし、まわりにもいない」が最も多くなっています。「被害の経験がある」は男性で1.2%、女性で4.3%となっています。

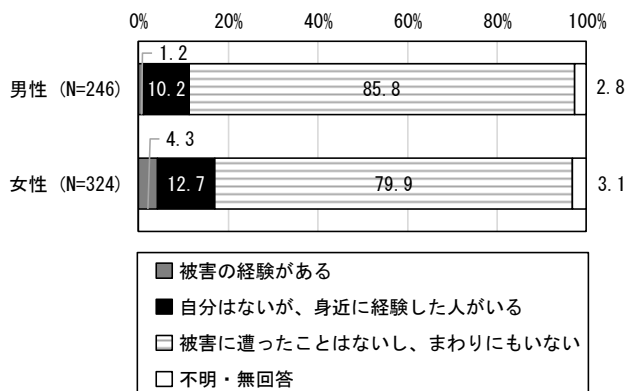
《① セクシュアル・ハラスメント》



《② ドメスティック・バイオレンス》



《③ ストーカー》



問 28 自分自身が、次の①～③の行為をしたことがあるか。(SA)

【①セクシュアル・ハラスメント (セクハラ)】

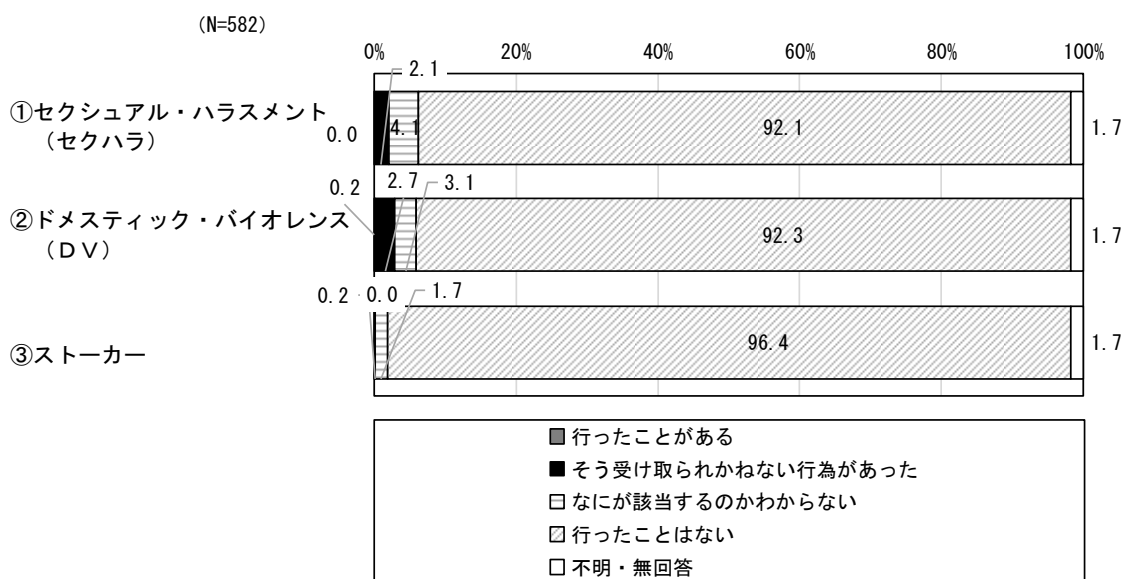
「行ったことはない」が92.1%と最も多く、次いで「なにが該当するのかわからない」が4.1%、「そう受け取られかねない行為があった」が2.1%となっています。

【②ドメスティック・バイオレンス (DV)】

「行ったことはない」が92.3%と最も多く、次いで「なにが該当するのかわからない」が3.1%、「そう受け取られかねない行為があった」が2.7%となっています。

【③ストーカー】

「行ったことはない」が96.4%と最も多く、次いで「なにが該当するのかわからない」が1.7%、「行ったことがある」が0.2%となっています。



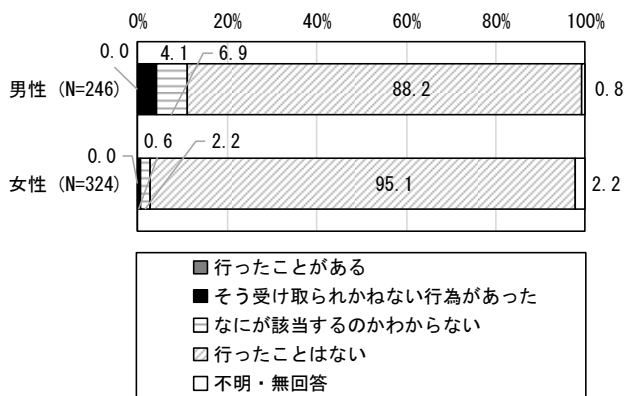
《性別》

性別では、「①セクシュアル・ハラスメント」において、男女とも「行ったことはない」が最も多くなっています。「行ったことがある」と回答した人は男女ともありませんが、「そう受け取られかねない行為があった」は男性で4.1%、女性で0.6%となっています。

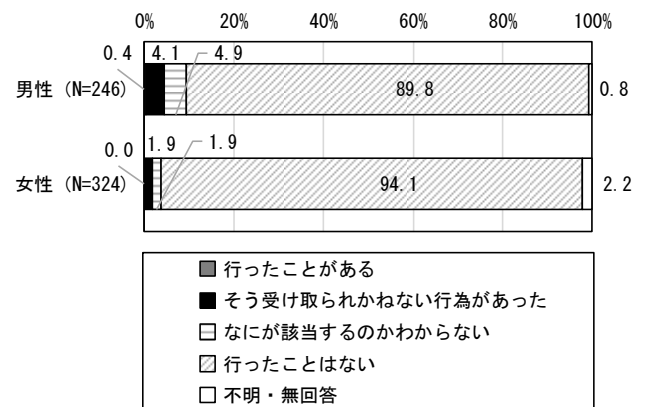
「②ドメスティック・バイオレンス」において、男女とも「行ったことはない」が最も多くなっています。「行ったことがある」と回答した人は男性で0.4%、女性で0.0%となっており、「そう受け取られかねない行為があった」は男性で4.1%、女性で1.9%となっています。

「③ストーカー」において、男女とも「行ったことはない」が最も多くなっています。「行ったことがある」「そう受け取られかねない行為があった」と回答した人は男女ともありません。

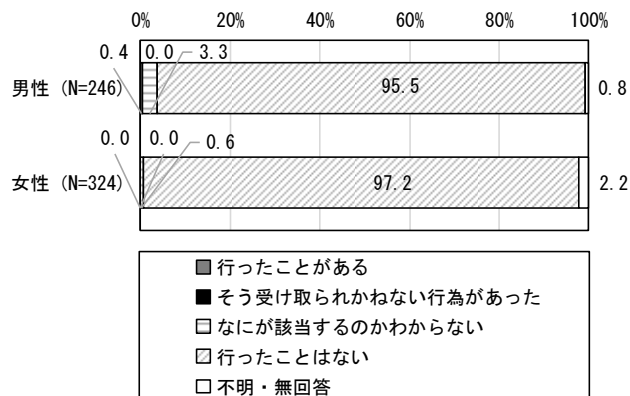
《① セクシュアル・ハラスメント》



《② ドメスティック・バイオレンス》



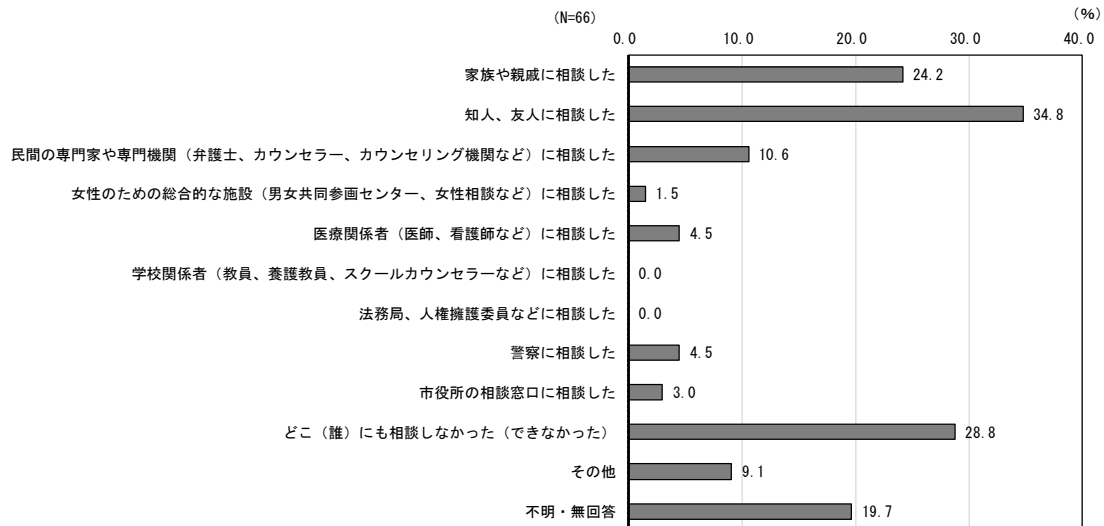
《③ ストーカー》



■問 27 の①～③で「被害の経験がある」と答えた方への質問。

問 29 そのことを誰かに相談したか。それはどこ（誰）か。（MA）

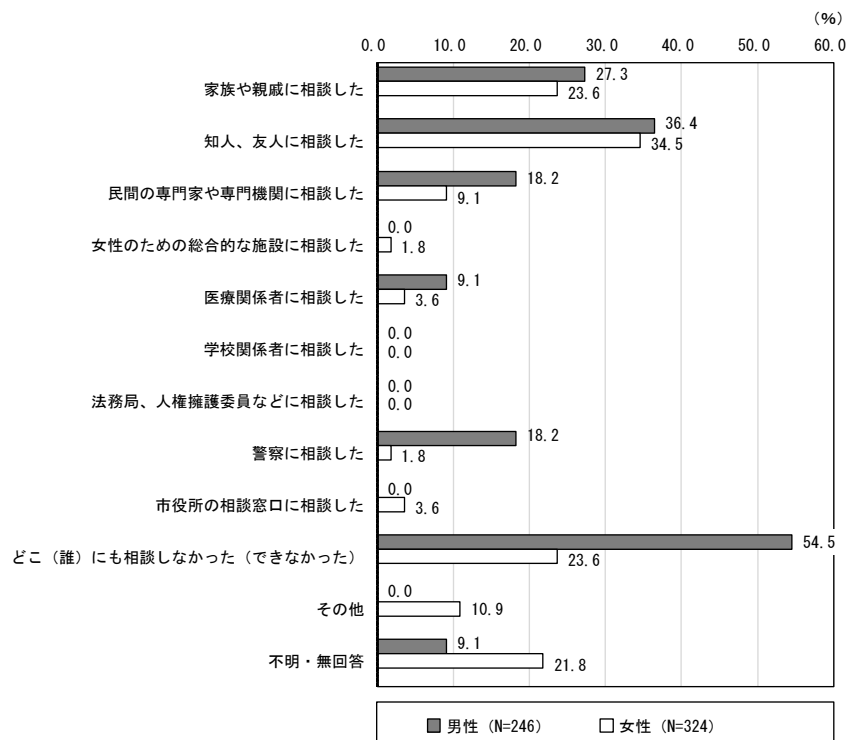
「知人、友人に相談した」が34.8%と最も多く、次いで「どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）」が28.8%、「家族や親戚に相談した」が24.2%となっています。



【性別】

性別でみると、男性では「どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）」が54.5%と最も多く、次いで「知人、友人に相談した」が36.4%、「家族や親戚に相談した」が27.3%となっています。

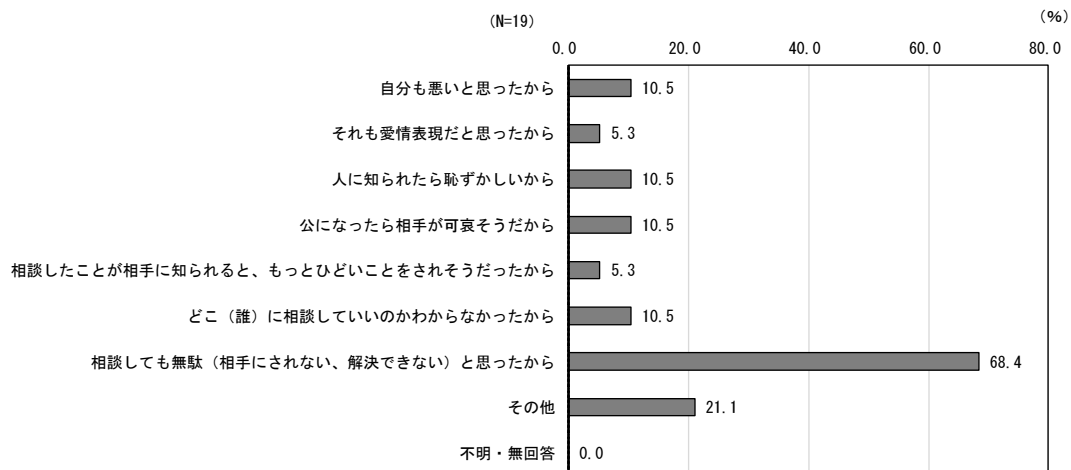
女性では「知人、友人に相談した」が34.5%と最も多く、次いで「家族や親戚に相談した」「どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）」がともに23.6%となっています。



■問 29 で「どこ（誰）にも相談しなかった（できなかった）」と答えた方への質問。

問 30 どこ（誰）にも相談しなかった理由。（MA）

「相談しても無駄（相手にされない、解決できない）と思ったから」あ 68.4%と最も多く、次いで「その他」が 21.1%、「自分も悪いと思ったから」と「人に知られたら恥ずかしいから」「公になったら相手が可哀そうだから」「どこ（誰）に相談していいのかわからなかったから」がそれぞれ 10.5%となっています。



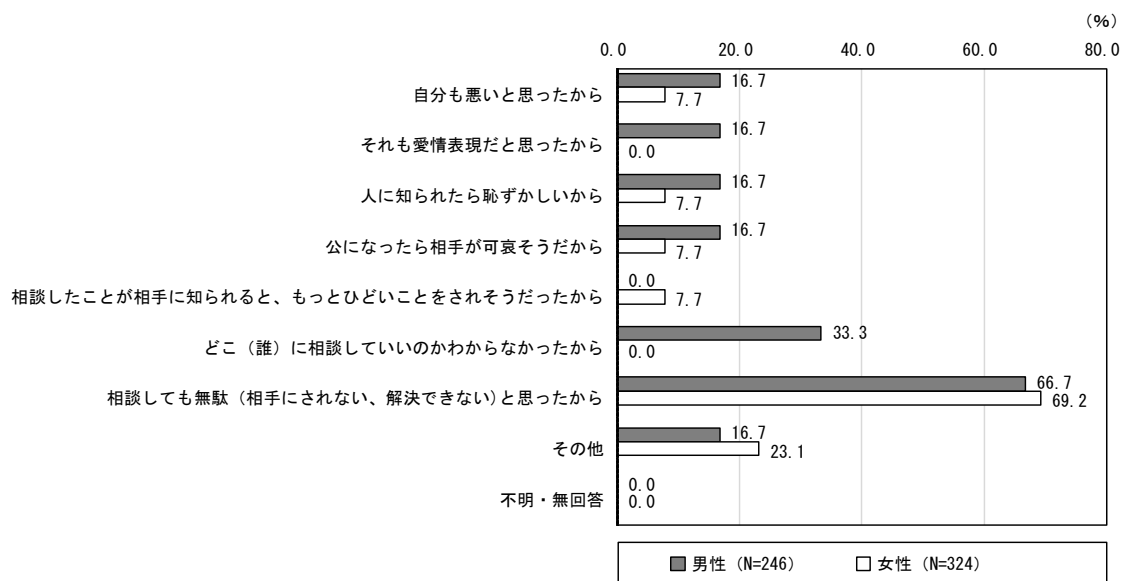
— 問 30 の「その他」の回答内容 —

- 心配かけたくなかったから。（女性、40 歳代）
- 多少不快になる程度で言うほどではなかったから。（女性、30 歳代）
- 父親だったから。家族みんな被害者。自分が幼児だったため。（男性、20 歳代）
- 仕事を辞めさせられると思ったから。（女性、40 歳代）

【性別】

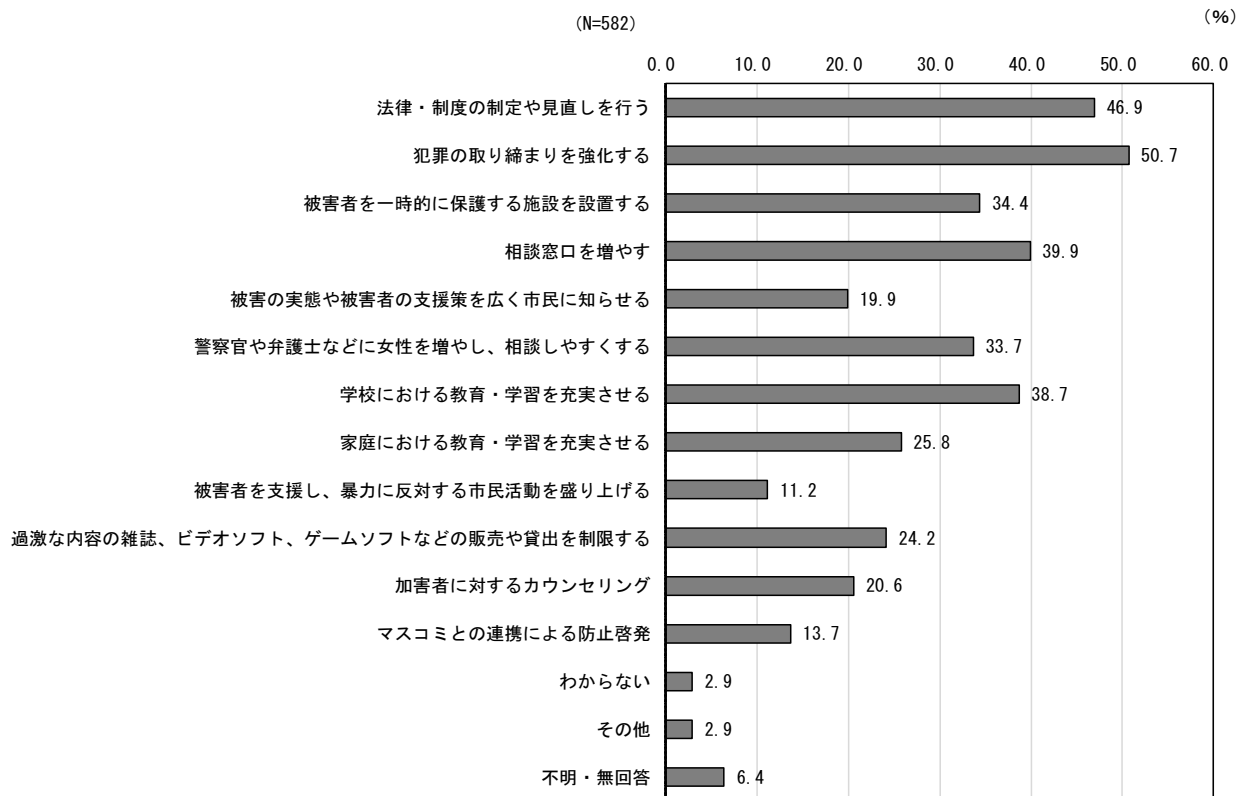
性別で見ると、男性では「相談しても無駄（相手にされない、解決できない）と思ったから」が66.7%と最も多く、次いで「どこ（誰）に相談していいのかわからなかったから」が33.3%、「自分も悪いと思ったから」「それも愛情表現だと思ったから」「人に知られたら恥ずかしいから」「公になったら相手が可哀そうだから」「その他」がそれぞれ16.7%となっています。

女性では「相談しても無駄（相手にされない、解決できない）と思ったから」が69.2%と最も多く、次いで「その他」が23.1%、「自分も悪いと思ったから」「人に知られたら恥ずかしいから」「公になったら相手が可哀そうだから」「相談したことが相手に知られると、もっとひどいことをされそうだったから」がそれぞれ7.7%となっています。



問 31 性犯罪、売買春、ドメスティック・バイオレンス（DV）、セクシュアル・ハラスメント、ストーカーなどをなくすために必要だと思うこと。（MA）

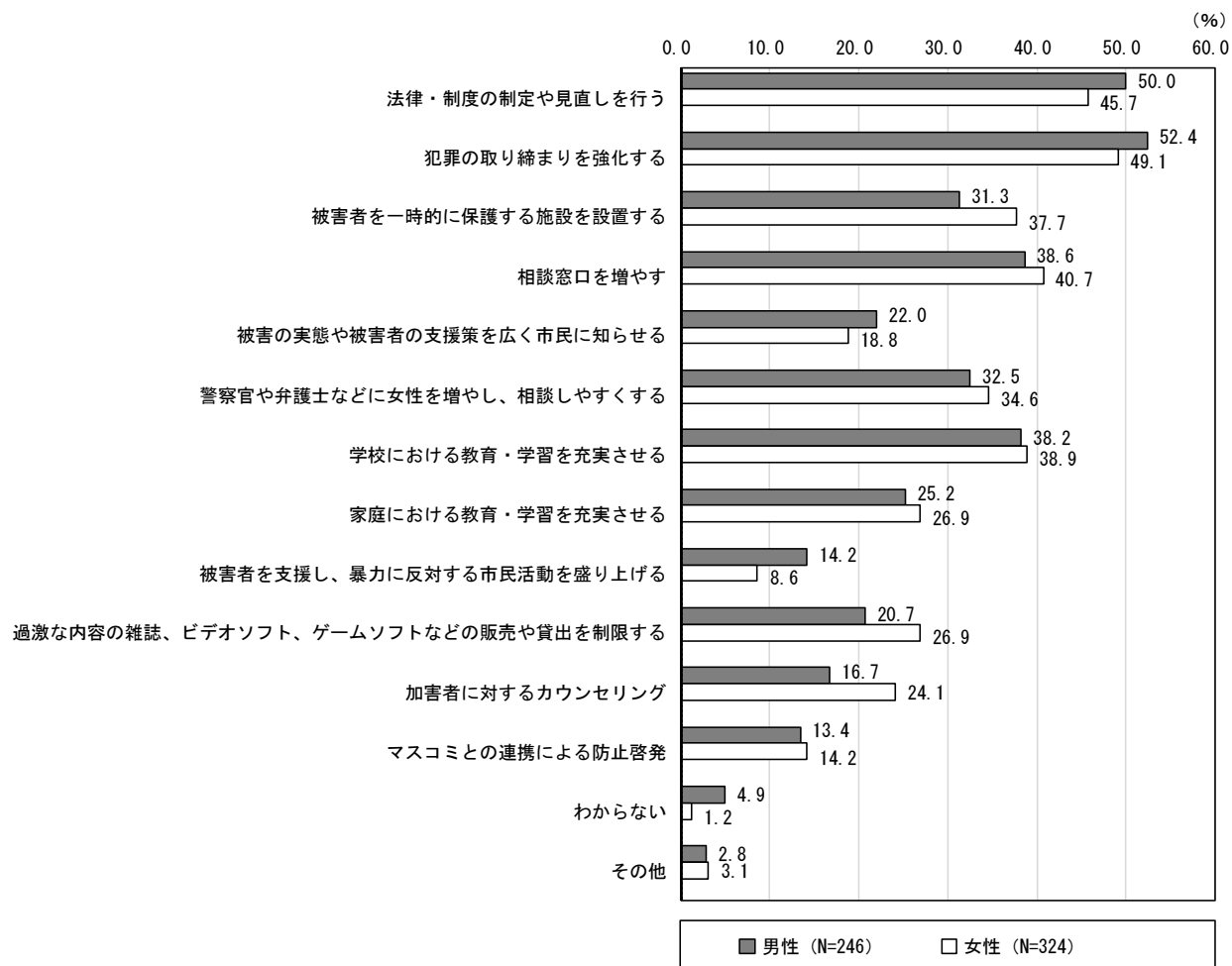
「犯罪の取り締まりを強化する」が50.7%と最も多く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」が46.9%、「相談窓口を増やす」が39.9%となっています。



【性別】

性別で見ると、男性では「犯罪の取り締まりを強化する」が52.4%と最も多く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」が50.0%、「相談窓口を増やす」が38.6%となっています。

女性では「犯罪の取り締まりを強化する」が49.1%と最も多く、次いで「法律・制度の制定や見直しを行う」が45.7%、「相談窓口を増やす」が40.7%となっています。



6. 男女共同参画社会について

問 32 次の①～⑦についての認知度。(S A)

【①男女共同参画社会基本法】

「聞いたことはあるが内容は知らない」が55.0%と最も多く、次いで「聞いたことがないし内容も知らない」が23.0%、「内容を知っている」が16.2%となっています。

【②男女雇用機会均等法】

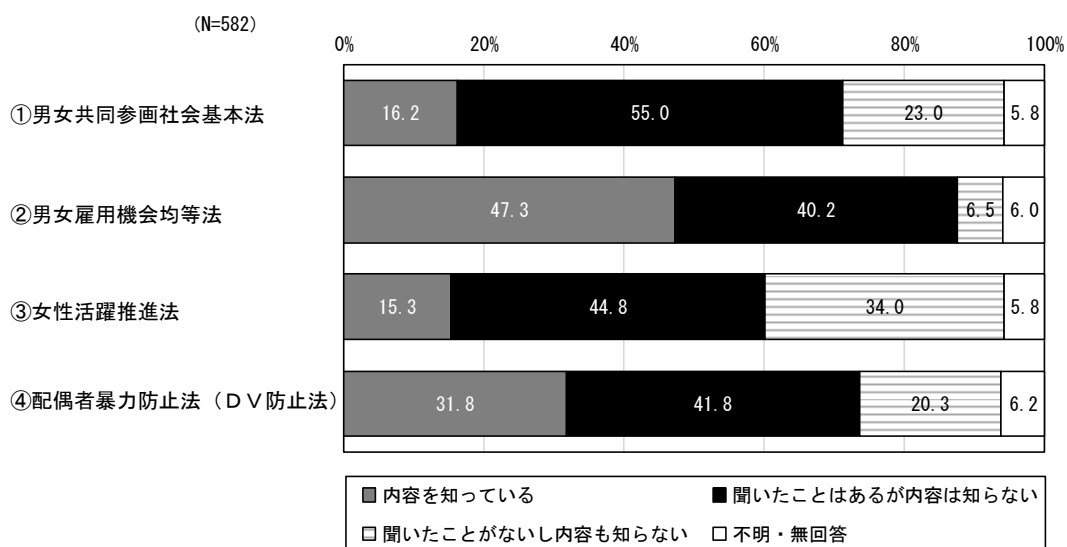
「内容を知っている」が47.3%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が40.2%、「聞いたことがないし内容も知らない」が6.5%となっています。

【③女性活躍推進法】

「聞いたことはあるが内容は知らない」が44.8%と最も多く、次いで「聞いたことがないし内容も知らない」が34.0%、「内容を知っている」が15.3%となっています。

【④配偶者暴力防止法（DV防止法）】

「聞いたことはあるが内容は知らない」が41.8%と最も多く、次いで「内容を知っている」が31.8%、「聞いたことがないし内容も知らない」20.3%となっています。



【⑤栗東市男女共同参画都市宣言】

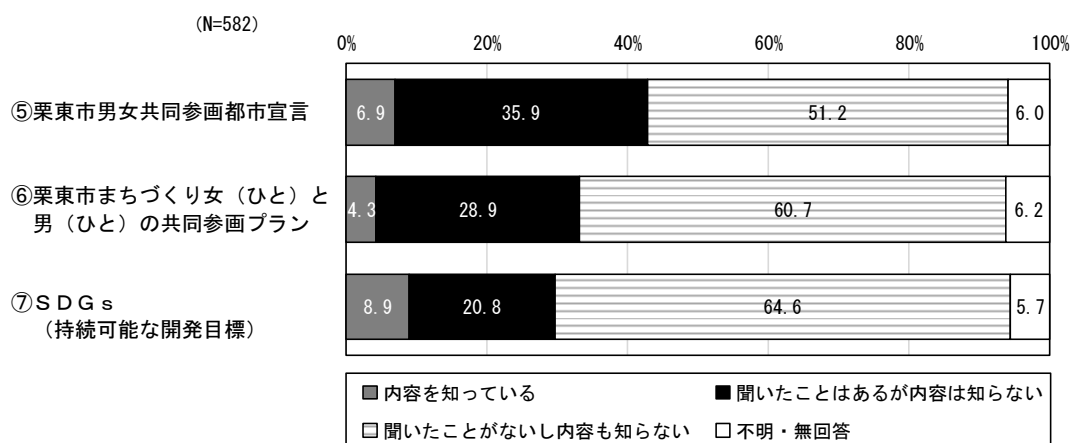
「聞いたことがないし内容も知らない」が51.2%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が35.9%、「内容を知っている」が6.9%となっています。

【⑥栗東市まちづくり女（ひと）と男（ひと）の共同参画プラン】

「聞いたことがないし内容も知らない」が60.7%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が28.9%、「内容を知っている」が4.3%となっています。

【⑦SDGs】

「聞いたことがないし内容も知らない」が64.6%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が20.8%、「内容を知っている」が8.9%となっています。



①～⑦の中で、「内容を知っている」が最も多かったのは、「②男女雇用機会均等法」となっています。

「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多かったのは、「⑦SDGs」となっています。

【性年代別】

性年代別でみると、「①男女共同参画社会基本法」において、男性では20～29歳を除くすべての年代で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。20～29歳では「内容を知っている」が最も多くなっています。

女性ではすべての年代で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	19.1	53.7	22.0	5.3
20～29歳 (N=17)	47.1	35.3	17.6	0.0
30～39歳 (N=31)	19.4	54.8	16.1	9.7
40～49歳 (N=43)	11.6	48.8	39.5	0.0
50～59歳 (N=45)	28.9	42.2	24.4	4.4
60～69歳 (N=52)	15.4	63.5	17.3	3.8
70歳以上 (N=58)	12.1	62.1	15.5	10.3

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	13.9	56.5	24.1	5.6
20～29歳 (N=26)	23.1	61.5	15.4	0.0
30～39歳 (N=49)	8.2	59.2	30.6	2.0
40～49歳 (N=65)	10.8	63.1	26.2	0.0
50～59歳 (N=59)	11.9	52.5	30.5	5.1
60～69歳 (N=51)	11.8	60.8	23.5	3.9
70歳以上 (N=73)	20.5	46.6	16.4	16.4

「②男女雇用機会均等法」において、男性では30～39歳を除くすべての年代で「内容を知っている」が最も多くなっています。30～39歳では「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

女性では20～50歳代で「内容を知っている」が最も多く、60歳代以上で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	52.4	37.4	5.3	4.9
20～29歳 (N=17)	47.1	41.2	11.8	0.0
30～39歳 (N=31)	38.7	48.4	6.5	6.5
40～49歳 (N=43)	51.2	41.9	7.0	0.0
50～59歳 (N=45)	66.7	22.2	4.4	6.7
60～69歳 (N=52)	55.8	32.7	7.7	3.8
70歳以上 (N=58)	48.3	43.1	0.0	8.6

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	44.1	42.9	6.8	6.2
20～29歳 (N=26)	46.2	42.3	11.5	0.0
30～39歳 (N=49)	53.1	34.7	10.2	2.0
40～49歳 (N=65)	55.4	44.6	0.0	0.0
50～59歳 (N=59)	50.8	35.6	8.5	5.1
60～69歳 (N=51)	35.3	52.9	7.8	3.9
70歳以上 (N=73)	28.8	45.2	6.8	19.2

「③女性活躍推進法」において、男性では20～30歳代で「聞いたことはあるが内容は知らない」と「聞いたことがないし内容も知らない」がともに最も多く、40歳代以上で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

女性では20～30歳代、50～59歳で「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多く、40～49歳、60歳代以上で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	20.7	44.3	29.3	5.7
20～29歳 (N=17)	29.4	35.3	35.3	0.0
30～39歳 (N=31)	19.4	35.5	35.5	9.7
40～49歳 (N=43)	16.3	44.2	39.5	0.0
50～59歳 (N=45)	31.1	35.6	26.7	6.7
60～69歳 (N=52)	17.3	55.8	23.1	3.8
70歳以上 (N=58)	17.2	48.3	24.1	10.3

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	11.1	46.3	37.3	5.2
20～29歳 (N=26)	11.5	30.8	57.7	0.0
30～39歳 (N=49)	16.3	34.7	46.9	2.0
40～49歳 (N=65)	12.3	61.5	26.2	0.0
50～59歳 (N=59)	8.5	40.7	45.8	5.1
60～69歳 (N=51)	5.9	52.9	37.3	3.9
70歳以上 (N=73)	12.3	45.2	27.4	15.1

「④配偶者暴力防止法」において、男性では20～29歳で「聞いたことがないし内容も知らない」が、30～40歳代、60歳代以上で「聞いたことはあるが内容は知らない」が、50歳代で「内容を知っている」が最も多くなっています。

女性では50～59歳を除くすべての世代で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。50～59歳では「内容を知っている」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	33.7	41.5	19.1	5.7
20～29歳 (N=17)	29.4	23.5	47.1	0.0
30～39歳 (N=31)	22.6	51.6	16.1	9.7
40～49歳 (N=43)	27.9	51.2	20.9	0.0
50～59歳 (N=45)	53.3	22.2	20.0	4.4
60～69歳 (N=52)	32.7	40.4	21.2	5.8
70歳以上 (N=58)	31.0	50.0	8.6	10.3

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	30.6	42.6	21.0	5.9
20～29歳 (N=26)	26.9	42.3	30.8	0.0
30～39歳 (N=49)	30.6	40.8	26.5	2.0
40～49歳 (N=65)	27.7	55.4	15.4	1.5
50～59歳 (N=59)	37.3	33.9	23.7	5.1
60～69歳 (N=51)	31.4	45.1	19.6	3.9
70歳以上 (N=73)	28.8	37.0	17.8	16.4

「⑤栗東市男女共同参画都市宣言」において、男性では70歳以上を除くすべての年代で「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多くなっています。70歳以上では「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

女性では20～50歳代で「聞いたことがないし内容も知らない」が、60歳代以上で「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	7.7	33.7	53.3	5.3
20～29歳 (N=17)	5.9	29.4	64.7	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	35.5	54.8	9.7
40～49歳 (N=43)	4.7	23.3	72.1	0.0
50～59歳 (N=45)	15.6	33.3	46.7	4.4
60～69歳 (N=52)	7.7	30.8	57.7	3.8
70歳以上 (N=58)	8.6	44.8	36.2	10.3

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	5.9	37.7	50.6	5.9
20～29歳 (N=26)	0.0	19.2	80.8	0.0
30～39歳 (N=49)	2.0	32.7	63.3	2.0
40～49歳 (N=65)	3.1	38.5	58.5	0.0
50～59歳 (N=59)	0.0	32.2	62.7	5.1
60～69歳 (N=51)	13.7	41.2	39.2	5.9
70歳以上 (N=73)	12.3	47.9	23.3	16.4

「⑥栗東市まちづくり女(ひと)と男(ひと)の共同参画プラン」において、男性ではすべての年代で「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多くなっています。

女性では70歳以上を除くすべての年代で「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多くなっています。70歳以上では「聞いたことはあるが内容は知らない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	5.7	26.8	61.8	5.7
20～29歳 (N=17)	5.9	17.6	76.5	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	19.4	71.0	9.7
40～49歳 (N=43)	2.3	9.3	88.4	0.0
50～59歳 (N=45)	11.1	28.9	55.6	4.4
60～69歳 (N=52)	3.8	32.7	57.7	5.8
70歳以上 (N=58)	8.6	39.7	41.4	10.3

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	3.4	29.9	60.8	5.9
20～29歳 (N=26)	0.0	11.5	88.5	0.0
30～39歳 (N=49)	2.0	14.3	81.6	2.0
40～49歳 (N=65)	1.5	26.2	72.3	0.0
50～59歳 (N=59)	0.0	23.7	71.2	5.1
60～69歳 (N=51)	5.9	41.2	49.0	3.9
70歳以上 (N=73)	8.2	46.6	27.4	17.8

「⑦SDGs」において、男女ともすべての年代で「聞いたことがないし内容も知らない」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	12.6	22.8	59.8	4.9
20～29歳 (N=17)	17.6	17.6	64.7	0.0
30～39歳 (N=31)	16.1	25.8	51.6	6.5
40～49歳 (N=43)	14.0	20.9	65.1	0.0
50～59歳 (N=45)	20.0	20.0	55.6	4.4
60～69歳 (N=52)	11.5	13.5	71.2	3.8
70歳以上 (N=58)	3.4	34.5	51.7	10.3

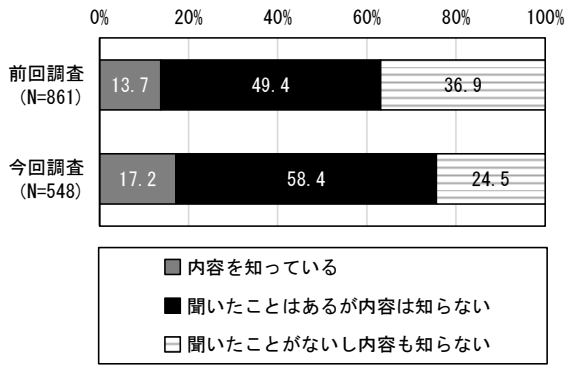
(%)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	聞いたことがないし内容も知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	6.5	19.1	68.8	5.6
20～29歳 (N=26)	3.8	19.2	76.9	0.0
30～39歳 (N=49)	12.2	8.2	77.6	2.0
40～49歳 (N=65)	9.2	18.5	72.3	0.0
50～59歳 (N=59)	3.4	16.9	74.6	5.1
60～69歳 (N=51)	5.9	21.6	68.6	3.9
70歳以上 (N=73)	4.1	26.0	53.4	16.4

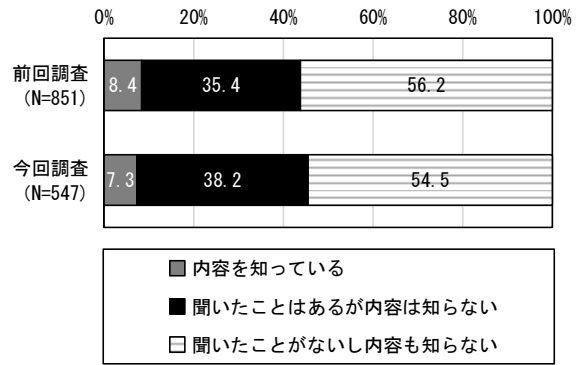
【経年比較】（今回から新設の項目を除く）

前回調査（平成26年実施）との比較でみると、「男女共同参画社会基本法」で「内容を知っている」が3.5ポイント増加しています。「栗東市男女共同参画都市宣言」で1.1ポイント、「栗東市まちづくり女（ひと）と男（ひと）の共同参画プラン」で1.5ポイント、「内容を知っている」がそれぞれ減少しています。

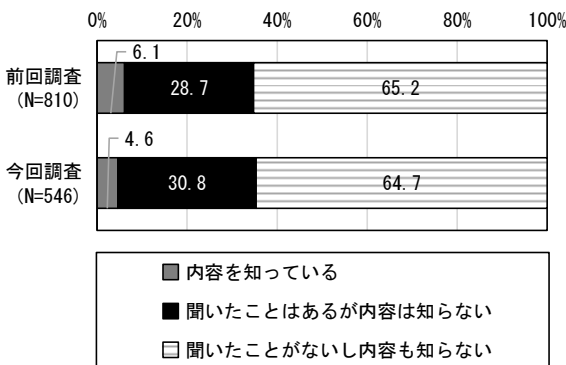
《男女共同参画社会基本法》



《栗東市男女共同参画都市宣言》



《栗東市まちづくり女と男の共同参画プラン》



前回調査の選択肢

1. 知っている
2. 聞いたことはある
3. 知らない

問 33 次の①～③の男女共同参画に関する事業への参加経験（SA）

【①きらめきRitto】

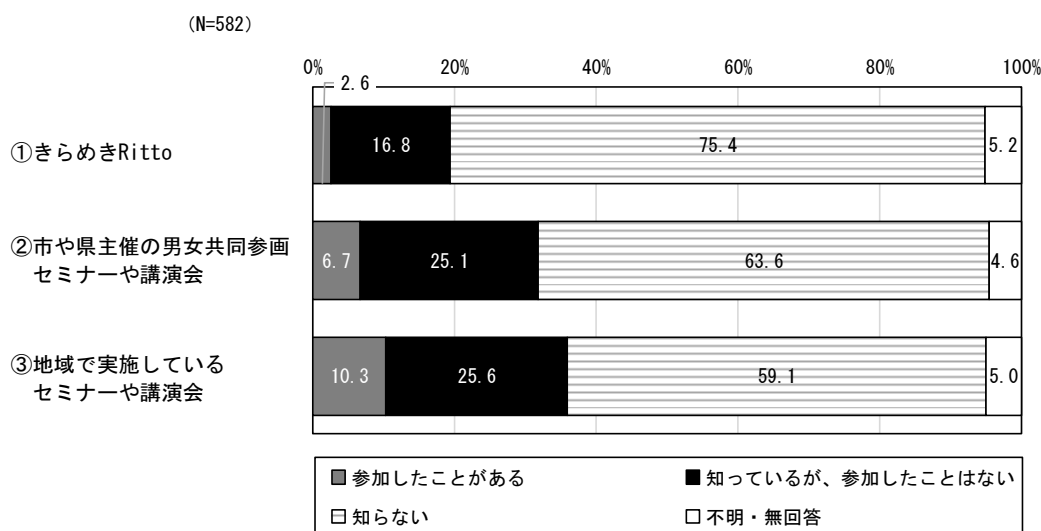
「知らない」が 75.4%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことはない」が 16.8%、「参加したことがある」が 2.6%となっています。

【②市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会】

「知らない」が 63.6%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことはない」が 25.1%、「参加したことがある」が 6.7%となっています。

【③地域で実施しているセミナーや講演会】

「知らない」が 59.1%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことはない」が 25.6%、「参加したことがある」が 10.3%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、「①きらめき Ritto」において、男女ともすべての年代で「知らない」が最も多くなっています。

《男性》

《女性》

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	2.0	16.7	77.2	4.1
20～29歳 (N=17)	0.0	11.8	88.2	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	6.5	93.5	0.0
40～49歳 (N=43)	2.3	4.7	93.0	0.0
50～59歳 (N=45)	2.2	22.2	71.1	4.4
60～69歳 (N=52)	0.0	23.1	73.1	3.8
70歳以上 (N=58)	5.2	22.4	62.1	10.3

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	3.1	17.0	74.7	5.2
20～29歳 (N=26)	0.0	3.8	96.2	0.0
30～39歳 (N=49)	0.0	4.1	91.8	4.1
40～49歳 (N=65)	0.0	12.3	87.7	0.0
50～59歳 (N=59)	1.7	11.9	81.4	5.1
60～69歳 (N=51)	11.8	23.5	60.8	3.9
70歳以上 (N=73)	4.1	34.2	47.9	13.7

「②市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会」において、男女ともすべての年代で「知らない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	5.3	27.2	63.8	3.7
20～29歳 (N=17)	5.9	17.6	76.5	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	16.1	83.9	0.0
40～49歳 (N=43)	2.3	16.3	81.4	0.0
50～59歳 (N=45)	6.7	33.3	55.6	4.4
60～69歳 (N=52)	7.7	28.8	59.6	3.8
70歳以上 (N=58)	6.9	37.9	46.6	8.6

《女性》

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	8.0	23.5	63.9	4.6
20～29歳 (N=26)	0.0	7.7	92.3	0.0
30～39歳 (N=49)	4.1	16.3	77.6	2.0
40～49歳 (N=65)	4.6	21.5	73.8	0.0
50～59歳 (N=59)	10.2	10.2	72.9	6.8
60～69歳 (N=51)	9.8	37.3	49.0	3.9
70歳以上 (N=73)	13.7	37.0	38.4	11.0

「③地域で実施しているセミナーや講演会」において、男性ではすべての年代で「知らない」が最も多くなっています。

女性では60～69歳を除くすべての年代で「知らない」が最も多くなっています。60～69歳では「知っているが、参加したことはない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=246)	8.1	25.6	62.2	4.1
20～29歳 (N=17)	5.9	17.6	76.5	0.0
30～39歳 (N=31)	3.2	12.9	83.9	0.0
40～49歳 (N=43)	7.0	16.3	76.7	0.0
50～59歳 (N=45)	13.3	28.9	53.3	4.4
60～69歳 (N=52)	5.8	28.8	61.5	3.8
70歳以上 (N=58)	10.3	36.2	43.1	10.3

《女性》

(%)

	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
全体 (N=324)	12.3	25.3	57.4	4.9
20～29歳 (N=26)	0.0	15.4	84.6	0.0
30～39歳 (N=49)	8.2	10.2	77.6	4.1
40～49歳 (N=65)	13.8	23.1	63.1	0.0
50～59歳 (N=59)	6.8	20.3	66.1	6.8
60～69歳 (N=51)	17.6	41.2	37.3	3.9
70歳以上 (N=73)	19.2	34.2	35.6	11.0

【地区別】

地区別でみると、「①きらめきRitto」、「②市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会」、「③地域で実施しているセミナーや講演会」の各項目において、すべての地区で「知らない」が最も多くなっています。

人口密集地と人口閑散地との比較では、①～③の各項目において、両地域とも「知らない」が最も多くなっています。

《①きらめきRitto》

(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
金勝 (N=68)	2.9	11.8	76.5	8.8
葉山 (N=62)	3.2	14.5	77.4	4.8
葉山東 (N=64)	1.6	10.9	82.8	4.7
治田 (N=73)	1.4	11.0	82.2	5.5
治田東 (N=53)	1.9	20.8	69.8	7.5
治田西 (N=83)	2.4	25.3	69.9	2.4
大宝 (N=83)	2.4	19.3	73.5	4.8
大宝東 (N=37)	5.4	18.9	73.0	2.7
大宝西 (N=47)	4.3	17.0	78.7	0.0

《②市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会》

(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
金勝 (N=68)	5.9	20.6	67.6	5.9
葉山 (N=62)	3.2	33.9	58.1	4.8
葉山東 (N=64)	7.8	23.4	64.1	4.7
治田 (N=73)	8.2	20.5	67.1	4.1
治田東 (N=53)	5.7	28.3	58.5	7.5
治田西 (N=83)	7.2	25.3	65.1	2.4
大宝 (N=83)	7.2	26.5	61.4	4.8
大宝東 (N=37)	10.8	21.6	64.9	2.7
大宝西 (N=47)	6.4	27.7	66.0	0.0

(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	2.7	18.9	74.5	4.0
人口閑散地 (N=194)	2.6	12.4	78.9	6.2

(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	7.4	25.0	63.8	3.7
人口閑散地 (N=194)	5.7	25.8	63.4	5.2

《③地域で実施しているセミナーや講演会》

(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
金勝 (N=68)	14.7	23.5	52.9	8.8
葉山 (N=62)	8.1	30.6	56.5	4.8
葉山東 (N=64)	6.3	21.9	67.2	4.7
治田 (N=73)	6.8	24.7	64.4	4.1
治田東 (N=53)	7.5	28.3	54.7	9.4
治田西 (N=83)	13.3	28.9	55.4	2.4
大宝 (N=83)	7.2	28.9	59.0	4.8
大宝東 (N=37)	21.6	13.5	62.2	2.7
大宝西 (N=47)	14.9	21.3	63.8	0.0

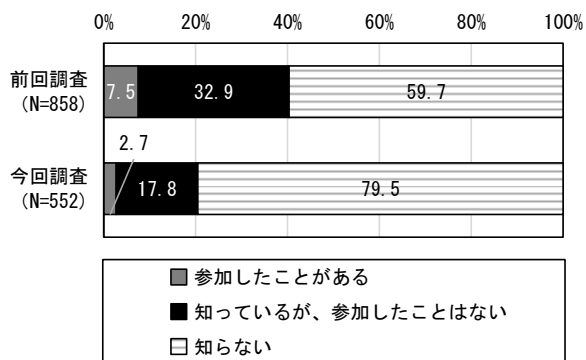
(%)

小学校区	参加したことがある	知っているが、参加したことはない	知らない	不明・無回答
人口密集地 (N=370)	10.9	25.5	59.6	4.0
人口閑散地 (N=194)	9.8	25.3	58.8	6.2

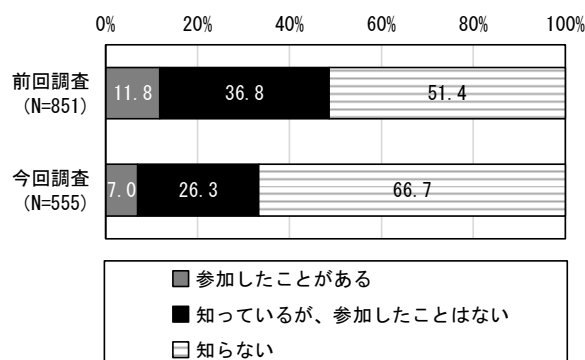
【経年比較】

前回調査（平成 26 年実施）との比較でみると、「きらめき Ritto」で 4.8 ポイント、「市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会」で 4.8 ポイント、「地域で実施しているセミナーや講演会」で 3.8 ポイント、「参加したことがある」がそれぞれ減少しています。

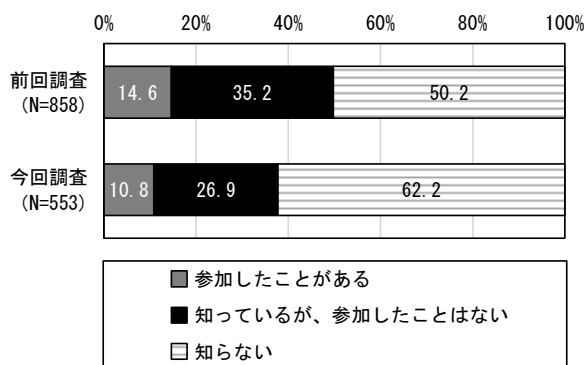
《きらめき Ritto》



《市や県主催の男女共同参画セミナーや講演会》

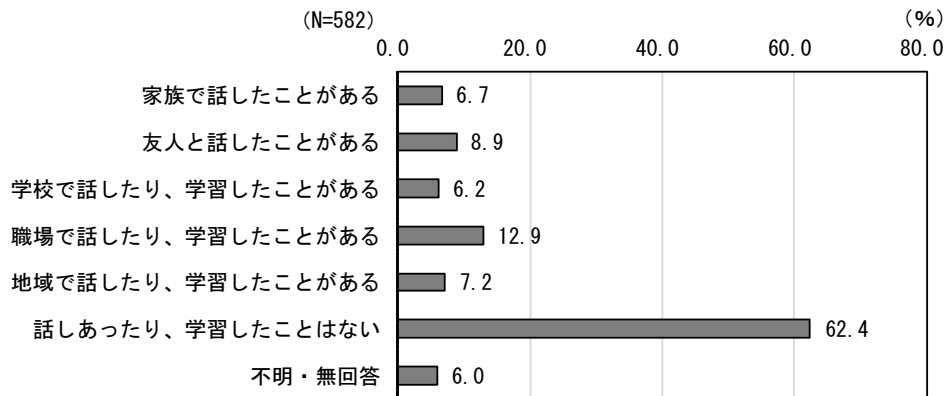


《地域で実施しているセミナーや講演会》



問 34 男女共同参画について話しあったり、学習したりしたことがあるか。(MA)

「話しあったり、学習したことはない」が62.4%と最も多く、次いで「職場で話したり、学習したことがある」が12.9%、「友人と話したことがある」が8.9%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男性では20～29歳で「学校で話したり、学習したことがある」が、30歳代以上で「話し合ったり、学習したことはない」が最も多くなっています。

女性ではすべての年代で「話し合ったり、学習したことはない」が最も多くなっています。

《男性》

	家族で話したことがある	友人と話したことがある	学校で話したり、学習したことがある	職場で話したり、学習したことがある	地域で話したり、学習したことがある	話しあったり、学習したことはない	不明・無回答
全体 (N=246)	5.7	5.3	6.5	16.3	8.1	62.2	5.3
20～29歳 (N=17)	5.9	0.0	52.9	11.8	5.9	29.4	5.9
30～39歳 (N=31)	3.2	0.0	12.9	22.6	0.0	64.5	0.0
40～49歳 (N=43)	7.0	0.0	4.7	23.3	4.7	67.4	2.3
50～59歳 (N=45)	2.2	2.2	0.0	22.2	13.3	60.0	4.4
60～69歳 (N=52)	7.7	9.6	1.9	17.3	3.8	69.2	5.8
70歳以上 (N=58)	6.9	12.1	0.0	3.4	15.5	62.1	10.3

《女性》

	家族で話したことがある	友人と話したことがある	学校で話したり、学習したことがある	職場で話したり、学習したことがある	地域で話したり、学習したことがある	話しあったり、学習したことはない	不明・無回答
全体 (N=324)	7.4	11.4	5.9	10.5	6.5	63.0	5.9
20～29歳 (N=26)	3.8	3.8	42.3	3.8	0.0	50.0	0.0
30～39歳 (N=49)	4.1	12.2	8.2	14.3	0.0	67.3	4.1
40～49歳 (N=65)	10.8	7.7	6.2	15.4	6.2	66.2	1.5
50～59歳 (N=59)	10.2	6.8	0.0	13.6	5.1	64.4	8.5
60～69歳 (N=51)	7.8	5.9	0.0	9.8	7.8	74.5	3.9
70歳以上 (N=73)	5.5	23.3	0.0	4.1	13.7	53.4	12.3

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「話し合ったり、学習したことはない」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	家族で話したことがある	友人と話したことがある	学校で話したり、学習したことがある	職場で話したり、学習したことがある	地域で話したり、学習したことがある	話しあったり、学習したことはない	不明・無回答
金勝 (N=68)	4.4	8.8	4.4	14.7	8.8	64.7	10.3
葉山 (N=62)	4.8	1.6	4.8	12.9	11.3	66.1	6.5
葉山東 (N=64)	4.7	12.5	10.9	15.6	9.4	53.1	4.7
治田 (N=73)	6.8	5.5	6.8	6.8	4.1	75.3	5.5
治田東 (N=53)	7.5	7.5	3.8	15.1	5.7	58.5	7.5
治田西 (N=83)	6.0	3.6	9.6	9.6	6.0	62.7	4.8
大宝 (N=83)	7.2	10.8	3.6	16.9	4.8	61.4	4.8
大宝東 (N=37)	8.1	10.8	5.4	13.5	10.8	59.5	5.4
大宝西 (N=47)	12.8	23.4	4.3	10.6	6.4	57.4	2.1

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも「話し合ったり、学習したことはない」が最も多くなっています。

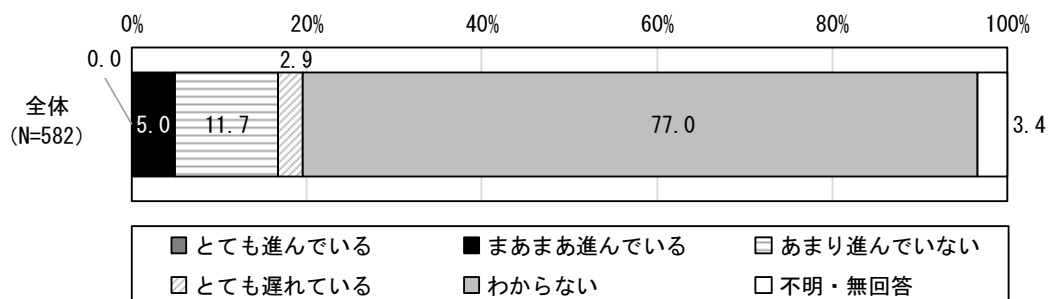
(%)

	家族で話したことがある	友人と話したことがある	学校で話したり、学習したことがある	職場で話したり、学習したことがある	地域で話したり、学習したことがある	話しあったり、学習したことはない	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	7.7	9.3	5.9	12.0	5.9	63.3	5.1
人口閑散地 (N=194)	4.6	7.7	6.7	14.4	9.8	61.3	7.2

問 35 栗東市の男女共同参画の進展について、どのように感じているか。(SA)

そう思う理由は。(記述式)

「わからない」が77.0%と最も多く、次いで「あまり進んでいない」が11.7%、「まあまあ進んでいる」が5.0%となっています。



問 35 での選択内容	そう思う理由 (記述内容) の主なもの
まあまあ進んでいる	女性の管理職が讃えられる。役職が均等に与えられていると思う／市会議員・農業委員に女性がある程度いること／活動が多く、市内の方と話す機会がある／地域活動に男女平等に参加している／関心のない人はまだ少なくない／市の部署で、女性の管理職が少数ではあるが任命されているから
あまり進んでいない	理想と現実の乖離がまだある／女性市会議員や自治会長が少ない／男女の役割感が強い／栗東市で男女共同参画社会という言葉に触れる機会が少ない／啓発・講演・研修では進展しない。制度を作るべき／市長は男性ばかり／社会、職場、地域での研修はあるけど実際は？／内容が浅く、深められていない／他市のほうが活発に活動している／実感がない／中小企業内で環境づくり、意識改善が進んでいない／男女共同参画社会について推進していることを、住民に徹底しないといけない／地域活動が男性主義だから／一部の人にしか伝わっていないと思う
とても遅れている	何も聞いたことないし取組みについて知らない／周知されていないと思うから／よくわかっていないし、聞いたこともない／市民への理解が浸透していない

【性年代別】

性年代別でみると、男女とも「わからない」が最も多くなっています。

「わからない」を除いてみると、男性では20～29歳で「まあまあ進んでいる」と「あまり進んでいない」が、30～39歳、50歳代以上では「あまり進んでいない」が、40～49歳では「まあまあ進んでいる」が最も多くなっています。

女性では20～29歳、40～50歳代、70歳以上で「あまり進んでいない」が、30～39歳で「あまり進んでいない」と「とても遅れている」が、60～69歳で「まあまあ進んでいる」と「あまり進んでいない」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	とても進んでいる	まあまあ進んでいる	あまり進んでいない	とても遅れている	わからない	不明・無回答
全体 (N=246)	0.0	4.5	11.8	2.4	79.3	2.0
20～29歳 (N=17)	0.0	5.9	5.9	0.0	88.2	0.0
30～39歳 (N=31)	0.0	0.0	6.5	3.2	83.9	6.5
40～49歳 (N=43)	0.0	7.0	2.3	7.0	83.7	0.0
50～59歳 (N=45)	0.0	2.2	17.8	2.2	77.8	0.0
60～69歳 (N=52)	0.0	3.8	13.5	0.0	82.7	0.0
70歳以上 (N=58)	0.0	6.9	17.2	1.7	69.0	5.2

《女性》

(%)

	とても進んでいる	まあまあ進んでいる	あまり進んでいない	とても遅れている	わからない	不明・無回答
全体 (N=324)	0.0	5.2	11.7	3.1	75.6	4.3
20～29歳 (N=26)	0.0	0.0	11.5	0.0	88.5	0.0
30～39歳 (N=49)	0.0	0.0	8.2	8.2	83.7	0.0
40～49歳 (N=65)	0.0	6.2	18.5	4.6	70.8	0.0
50～59歳 (N=59)	0.0	3.4	8.5	3.4	79.7	5.1
60～69歳 (N=51)	0.0	9.8	9.8	0.0	78.4	2.0
70歳以上 (N=73)	0.0	8.2	11.0	1.4	65.8	13.7

【地区別】

地区別でみると、すべての地区で「わからない」が最も多くなっています。

「わからない」を除いてみると、すべての地区で「あまり進んでいない」が最も多くなっています。

(%)

小学校区	とても 進んでいる	まあまあ 進んでいる	あまり 進んでいない	とても 遅れている	わからない	不明・無回答
金勝 (N=68)	0.0	7.4	13.2	8.8	66.2	4.4
葉山 (N=62)	0.0	4.8	14.5	1.6	75.8	3.2
葉山東 (N=64)	0.0	4.7	10.9	3.1	81.3	0.0
治田 (N=73)	0.0	4.1	8.2	1.4	80.8	5.5
治田東 (N=53)	0.0	7.5	11.3	1.9	75.5	3.8
治田西 (N=83)	0.0	1.2	10.8	3.6	79.5	4.8
大宝 (N=83)	0.0	3.6	8.4	2.4	79.5	6.0
大宝東 (N=37)	0.0	5.4	16.2	0.0	78.4	0.0
大宝西 (N=47)	0.0	8.5	14.9	2.1	74.5	0.0

人口密集地と人口閑散地との比較でみると、両地域とも「わからない」が最も多くなっています。

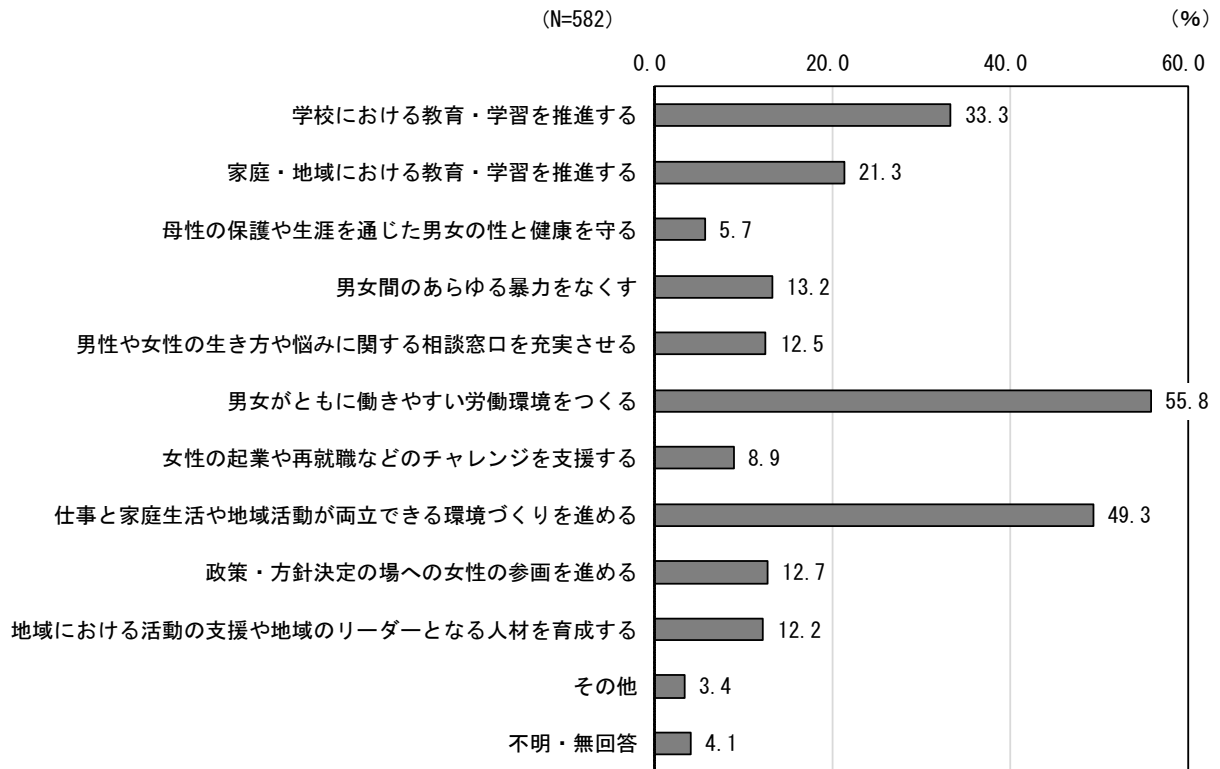
「わからない」を除いてみると、両地域とも「あまり進んでいない」が最も多くなっています。

(%)

	とても 進んでいる	まあまあ 進んでいる	あまり 進んでいない	とても 遅れている	わからない	不明・無回答
人口密集地 (N=376)	0.0	4.5	10.9	2.1	78.5	4.0
人口閑散地 (N=194)	0.0	5.7	12.9	4.6	74.2	2.6

問 36 男女共同参画社会の実現のために、栗東市が今後特に注力すべきだと思うもの。(MA)

「男女がともに働きやすい労働環境をつくる」が 55.8%と最も多く、次いで「仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める」が 49.3%、「学校における教育・学習を推進する」が 33.3%となっています。



【性年代別】

性年代別でみると、男女とも70歳以上を除くすべての年代で「男女がともに働きやすい労働環境をつくる」が、70歳以上では「仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める」が最も多くなっています。

《男性》

(%)

	学校における教育・学習を推進する	家庭・地域における教育・学習を推進する	母性の保護や生涯を通じた男女の性と健康を守る	男女間のあらゆる暴力をなくす	男性や女性の生き方や悩みに関する相談窓口を充実させる	男女がともに働きやすい労働環境をつくる	女性の起業や再就職などのチャレンジを支援する	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める	政策・方針決定の場への女性の参画を進める	地域における活動の支援や地域のリーダーとなる人材を育成する	その他	不明・無回答
全体 (N=246)	32.5	26.0	6.9	12.2	15.9	50.0	8.9	39.4	13.8	15.0	5.3	4.5
20～29歳 (N=17)	41.2	23.5	0.0	17.6	5.9	64.7	5.9	29.4	17.6	11.8	0.0	5.9
30～39歳 (N=31)	29.0	29.0	6.5	9.7	12.9	71.0	19.4	35.5	9.7	16.1	3.2	0.0
40～49歳 (N=43)	32.6	18.6	9.3	23.3	14.0	41.9	7.0	34.9	11.6	7.0	9.3	7.0
50～59歳 (N=45)	33.3	15.6	8.9	6.7	17.8	44.4	6.7	40.0	20.0	13.3	8.9	2.2
60～69歳 (N=52)	28.8	30.8	5.8	11.5	17.3	51.9	5.8	40.4	19.2	17.3	5.8	3.8
70歳以上 (N=58)	34.5	34.5	6.9	8.6	19.0	43.1	10.3	46.6	6.9	20.7	1.7	6.9

《女性》

(%)

	学校における教育・学習を推進する	家庭・地域における教育・学習を推進する	母性の保護や生涯を通じた男女の性と健康を守る	男女間のあらゆる暴力をなくす	男性や女性の生き方や悩みに関する相談窓口を充実させる	男女がともに働きやすい労働環境をつくる	女性の起業や再就職などのチャレンジを支援する	仕事と家庭生活や地域活動が両立できる環境づくりを進める	政策・方針決定の場への女性の参画を進める	地域における活動の支援や地域のリーダーとなる人材を育成する	その他	不明・無回答
全体 (N=324)	34.6	17.3	4.3	13.9	10.2	60.5	9.0	56.2	12.3	9.3	2.2	3.7
20～29歳 (N=26)	26.9	11.5	7.7	3.8	15.4	73.1	3.8	46.2	3.8	0.0	3.8	7.7
30～39歳 (N=49)	36.7	6.1	2.0	14.3	2.0	67.3	12.2	69.4	14.3	8.2	0.0	0.0
40～49歳 (N=65)	32.3	10.8	7.7	7.7	10.8	73.8	9.2	66.2	12.3	6.2	3.1	0.0
50～59歳 (N=59)	35.6	16.9	1.7	20.3	11.9	62.7	8.5	50.8	10.2	6.8	0.0	5.1
60～69歳 (N=51)	39.2	21.6	3.9	17.6	9.8	60.8	7.8	58.8	9.8	11.8	5.9	2.0
70歳以上 (N=73)	34.2	30.1	4.1	15.1	12.3	38.4	9.6	45.2	17.8	15.1	1.4	8.2

7. 自由回答

アンケートの自由回答の中から、主なものを分野ごとに整理して記載します。
原則として原文のままですが、一部、表記を調整している場合があります。

家庭での役割分担について

- 共働きは女性の負担が増えるばかり。見えない家事の多さを男性も実感すべき。
- 女性は家事ができないと恥ずかしいと言われた。固定概念をなくす働きかけをしてほしい。
- 長期休暇に夫の実家に帰るのが当たり前という風習がしんどい。
- 女性だから育児と家事は当たり前との認識があり、仕事を長時間しにくい。
- 家事・育児の男女差別は良くないと思う。2人で頑張ればよい。

男女共同参画に関する考え方について

- 少しずつ変わっているのは実感している。女性自身が自立する意識を醸成する必要性を感じる。
- 男性だから荷物を持ったり、女性だから楽しんだり。それでは男女共同参画社会は実現しない。
- 男女を平等に扱うなら、結婚制度や家庭は不要であり、希望すれば個人だけで子どもをもてる世の中ができてから検討すべき。
- 子供のころはわからなかったが、高校から差別があることを知った。
- 住んでる学区は男・女だからという人は少ないが、障がいのある人や外国の人は排除してしまう人が多いと思う。
- 男性同様、女性も自由に働きたい。性差の壁を取り除く教育を学校でしてほしい。
- 若く柔軟な考えができる世代の考えは、受け入れてもらえない。古い考えの人がいる。
- 女性は泣いても怒られないと思い、男性は泣いてはいけないと思ってしまう。
- 配偶者控除のような制度が変わらなければ、女性の社会活躍推進は難しいのではないか。
- 結婚した当初は「嫁だから」という風習があった。昔の風習を変えるのは難しいが、新しい考えの市民が声を出さないといけないと思う。
- 「男女共同参画社会」と漢字ばかりでは、難しそうと思う。やわらかい表現があればよい。
- 「女性だからPTAの会議に出て資料を作って」と言われた。男性がやってもよいのに。
- 息子が希望して髪の毛を伸ばしていると、「男なのに女みたい」と不快そうに言われた。
- 女性の制服からスカートをなくすなど、見えるところから動いてはどうか。
- 男女平等とは特性を認め合い、差別したり根拠のない押し付けをしたりしないこと。
- 今は家庭や子供のことを男性も一緒に参加するなど、変化がみられてよいと思う。

仕事と生活について

- 休みやすい環境を作るべき。残業が当たり前の社会もおかしい。
- 互いの仕事内容を理解し助け合う必要がある。保育園に入りやすくして女性の負担を減少させる努力も必要。
- 家庭と仕事の両立が難しく退職した。夫が育児してくれたらやめなくて済んだのに。子供が病気になれば母親が看病するという考えはなぜなんだと思う。
- パートは社員より仕事ができても、賃金は安くボーナスも少ない。
- 子供が熱を出して迎えに行くのはいつも母親。男性も早退しやすい社会になってほしい。
- 学校教育や、企業での働き方改革を向上・充実させる必要がある。
- 保育園の充実がないと、仕事と育児の両立は難しい。短時間勤務だと認可保育園に入れない。
- 保育士の労働条件をよくしてほしい。
- 女性だから結婚（出産）したら仕事をやめるのではないかと思われ、長期にわたる仕事は回ってこない。また、仕事を続けやすいような制度がない。

防災など、地域活動について

- お茶出しや自治会の清掃などは女性が当たり前。変えていくには教育が大事だ。
- パートナーが社会活動に参加して、内容を聞いている。積極的に参加しようと努力している。
- 安全安心な生活ができるよう、みんなの努力が基本になるのではないか。
- 地域活動の中で、男女共同参画社会について学習する機会をつくれればよい。

男女間の迷惑行為について

- ダイエットの話をしていたら、通りすがりの男性に「生理が来なくなる」と言われた。
- 会社で男性にののしられ、手をあげられそうになって嫌だった。
- 独身の時、「早く結婚して子供を産め」と言われて嫌だった。

男女共同参画社会について

- 男女共同参画の意味を理解していない人が多い。アンケートを活用してほしい。
- 性別に関わらず生活しやすい栗東市になればいいと思う。
- 家族を養える女性になるため、本人の意識を変える教育をしてほしい。
- 出産は女性にしかできないが、育児は男性でもできる。体の本来の機能を活かすべき。
- 男・女だからより先に、長男・長女だからと悩んでいる人がいる。介護や結婚など苦しんでいる人がいる。

行政について

- 女性の能力を社会で発揮させるには、子育てを補助するシステムの拡充が必要だ。
- 個々が笑顔でいたいことに取り組める社会について、意見を出し合うとよい。
- 辛い思いをしている人が思いを伝えやすい空気をつくってほしい。福祉にもっとお金を使ってほしい。
- 性別にこだわらない社会として、個々の特性を活かせる仕組みが必要。
- 栗東市は転入者が多い。市民全体が意識を高めるように広報で宣伝してほしい。
- 栗東市に定住するためには、子育て施策を充実させるべき。8050 対策も必要。
- 男女関係なく子供を産み育てて、人口増加を望む。

アンケートについて

- アンケートで取組みを初めて知った。関心をもって余裕のある生活をしたい。
- このアンケートによって「男・女だから」という言葉がなくなるよう願う。
- アンケートの内容がすでに女性を優先している。無意味。
- 次回のアンケート調査では、男性が仕事をやめること・男性が主夫をすること、この二点についての考えを聞いてもよいのではないか。
- アンケートの質問が難しい。長い（多い）。答えを選ぶのが難しい。

栗東市 男女共同参画社会づくりに関する市民アンケート調査
結果報告書

令和2年3月
栗東市

〒520-3088 滋賀県栗東市安養寺一丁目13番33号
TEL : 077-551-0290 FAX : 077-551-0432
